令和6年度 文京区アカデミー推進計画の 点検・評価

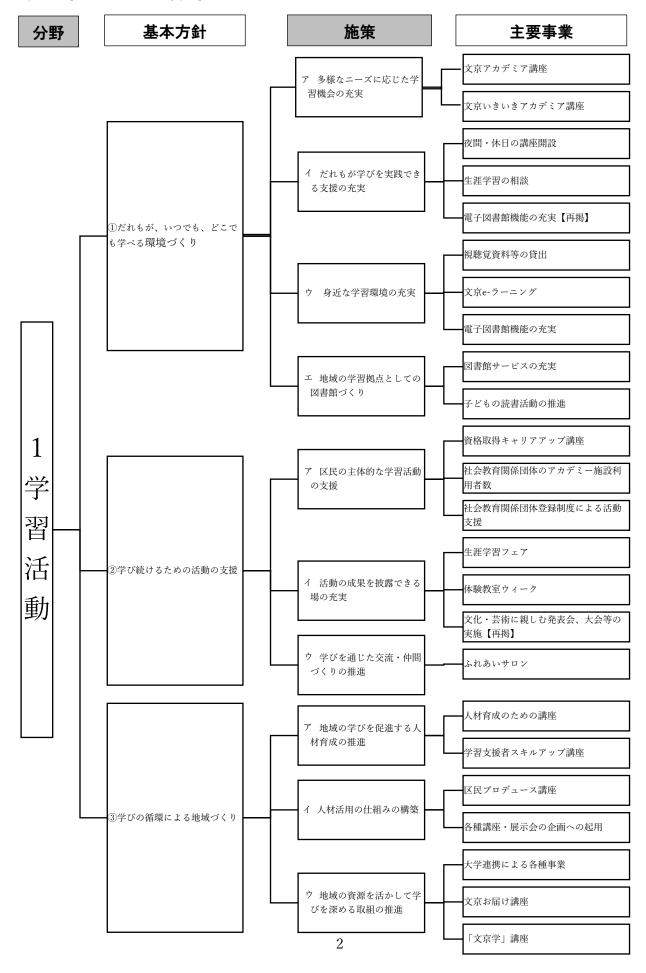
(案)

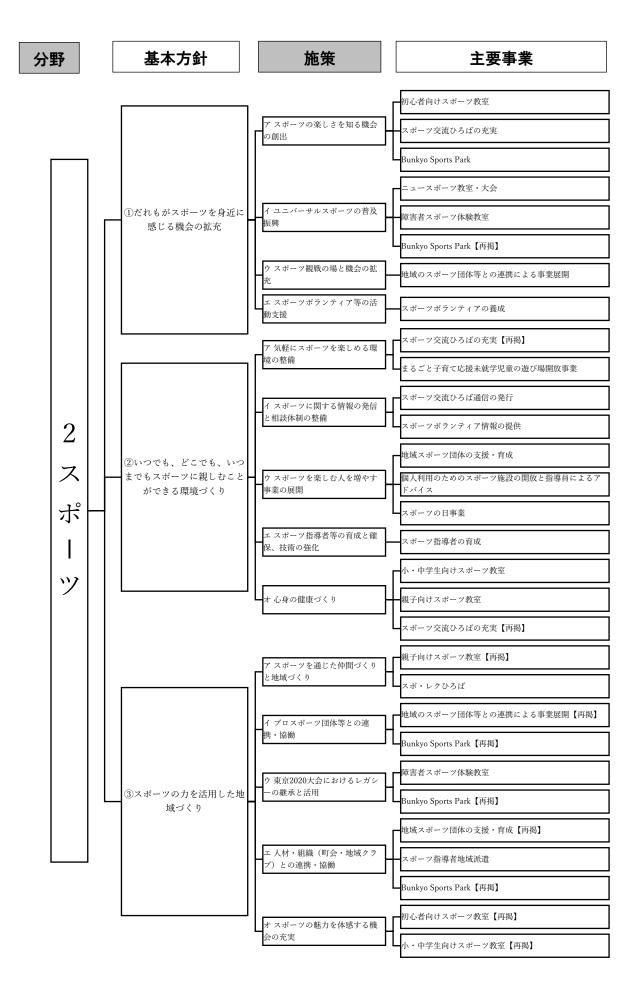
令和 年 月

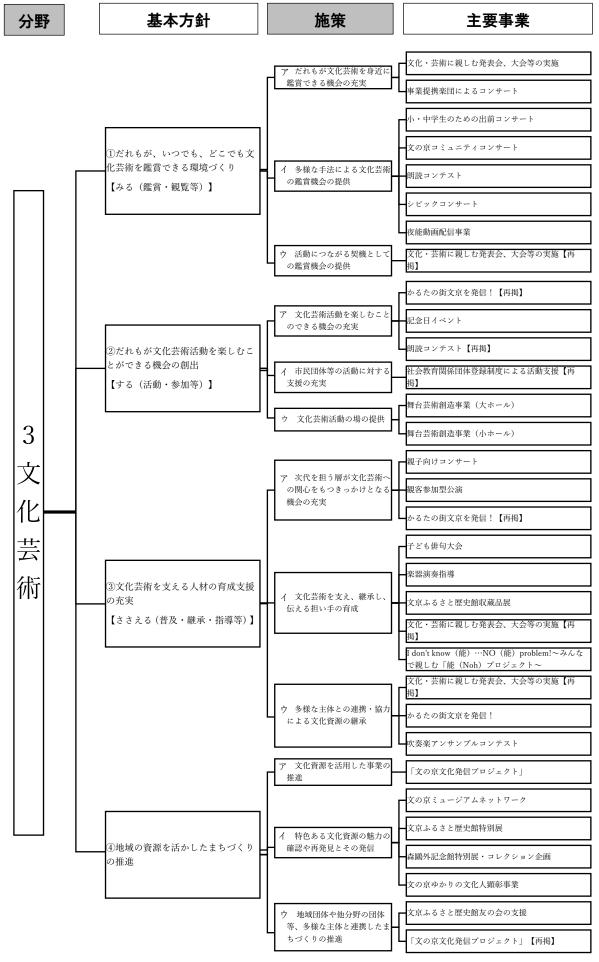
目 次

第1章	計画の体系	2
第2章	事業の点検・評価の考え方	7
1.	概要	7
2.	体制と手法	8
3.	新型コロナウイルス感染症の影響について	10
第3章	学習活動分野の点検・評価	11
1.	学習活動分野の評価	11
2.	主要事業一覧	12
3.	分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況	13
4.	主要事業の成果に対する評価	16
第4章	スポーツ分野の点検・評価	36
1.	スポーツ分野の評価	36
2.	主要事業一覧	37
3.	分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況	39
4.	主要事業の成果に対する評価	42
第5章	文化芸術分野の点検・評価	60
	文化芸術分野の評価	
2.	主要事業一覧	61
3.	分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況	63
4.	主要事業の成果に対する評価	67
第6章	観光分野の点検・評価	99
1.	観光分野の評価	99
2.	主要事業一覧	100
3.	分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況	101
4.	主要事業の成果に対する評価	105
第7章	国内・国際交流分野の点検・評価	117
1.	国内·国際交流分野の評価	117
2.	主要事業一覧	118
3.	分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況	119
4.	主要事業の成果に対する評価	122
第8章	事業実施状況調査の調査結果(別冊)	

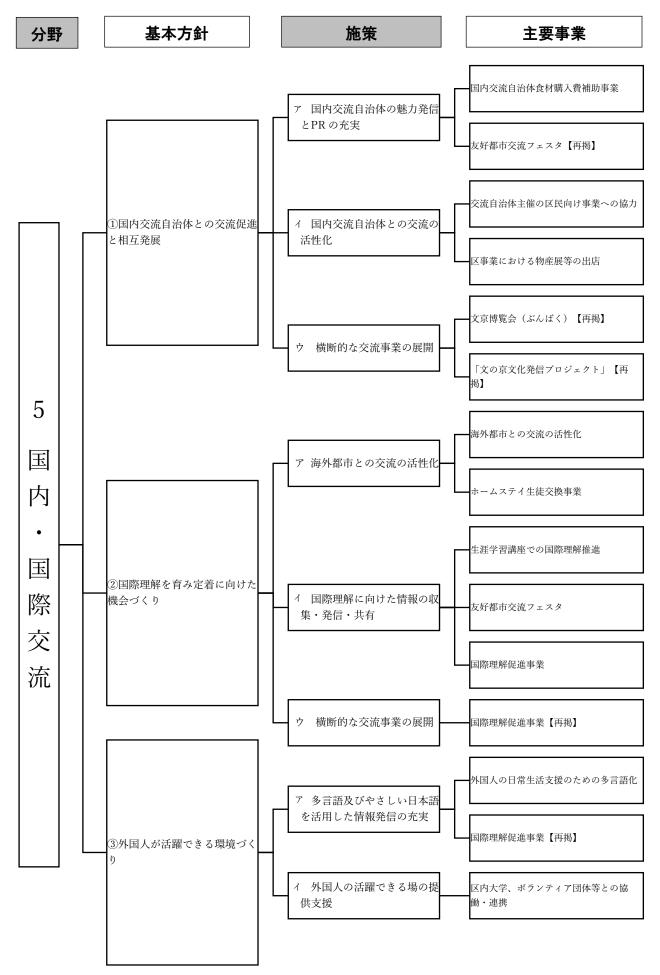
第1章 計画の体系







基本方針 施策 主要事業 分野 観光写真コンクール ア 観光資源の磨き上げと新たな 魅力の創出 花の五大まつり等助成 ①区内まるごと周遊の促進 イ マイクロツーリズムの推進に 観光ガイド事業 よる周遊性の向上 観光インフォメーション ア 観光情報の収集・発信力の充 実と共有促進 観光ガイドマップ、グルメマップ の作成・多言語化【再掲】 ②いつでも、どこでも世界をつな ぐ観光情報・魅力の収集・発信・ 共有 観光インフォメーション【再掲】 イ 情報発信環境の整備 観光ガイドマップ、グルメマップ 4 の作成・多言語化 観 文の京ミュージアムネットワーク 【再揭】 ア 他分野 (スポーツ、文化芸術 光 等) との融合 文京博覧会(ぶんぱく)【再掲】 ③つながりから生まれる観光の推 友好都市交流フェスタ【再掲】 イ 国内外の協定等締結自治体や 近隣自治体等との連携・協力 文京博覧会(ぶんぱく)【再掲】 観光ガイドマップ、グルメマップ の作成・多言語化【再掲】 ア 観光客の受入基盤整備 文の京ミュージアムネットワーク ④何度でも訪れたくなるおもてな 【再揭】 しの環境整備 観光ガイド事業【再掲】 多様な人材の育成・活用



第2章 事業の点検・評価の考え方

1. 概要

評価の枠組み

令和3年度に策定したアカデミー推進計画の点検・評価は、策定時に構築した以下のロジックモデルを踏まえて、毎年度行う評価と、計画の見直し時に行う評価とを組み合わせて実施する。毎年度行う評価は、あらかじめ各分野の事業の中から選定しておいた主要事業の実施結果を取りまとめ、施策ごとに評価を行うものとする。計画の見直し時に行う評価は、毎年度行う評価に加えて、基本方針ごとに掲げた指標に基づいて評価を行い、分野としての総合評価を行うものとする。

事業
事業
事業
事業
事業
事業
事業
事業
事業

アウトプット

アウトカム

アカデミー推進計画の評価フレーム

(用語解説)

インプット

主要事業......施策を評価する上でより重要度の高い事業、所管課が任意で選定

(分野別基本方針を支える主な事業、各施策の主な取り組みに基づく)

インプット......予算、人員など行政活動を実施するために投入する資源

活動モノ、サービスを提供するために行う行政活動

アウトプット......行政活動の結果、産み出されたモノ、サービス

(例)アカデミア講座の実施回数

活動

アウトカム.....政策(施策、事業)が目指す成果(初期、中期、長期と段階あり)

(例)アカデミア講座の参加者数(初期)、

1年間に学習活動を行った人の割合(中期)、基本理念の実現(長期)

2. 体制と手法

(1)点検・評価の体制

点検・評価は、学識経験者、関係団体及び区民等で構成する協議会にて実施した。

■令和7年度 文京区アカデミー推進協議会経過

	_			
会議名	開催日	主な検討内容		
第1回アカデミー推進協議会	令和7年 6月9日	アカデミー推進計画の実態調査及び点検・評価について		
第2回アカデミー推進協議会	令和7年 8月26日	アカデミー推進計画の実態調査の調査項目及び点検・評		
		価について		
第1回分科会(文化芸術)	令和7年 11月13日	文化芸術分野の実態調査及び点検・評価について		
第1回分科会(スポーツ)	令和7年 11月17日	スポーツ分野の実態調査及び点検・評価について		
第1回分科会(観光)	令和7年 11月21日	観光分野の実態調査及び点検・評価について		
第1回分科会(学習活動)	令和7年 11月25日	学習活動分野の実態調査及び点検・評価について		
第1回分科会(国内·国際交流)	令和7年 11月28日	国内・国際交流分野の実態調査及び点検・評価について		
第3回アカデミー推進協議会	令和8年 1月20日	アカデミー推進計画の実態調査及び点検・評価について		
		(まとめ)		

(2)点検・評価手法

協議会に5つの分科会を設置し、各分野別基本方針ごとに点検・評価を行った。

評価は、令和6年度実施した主要事業(分野別基本方針を支える主な事業、各施策の主な取り組みに基づく)の実績調査結果及び事務局が作成した点検・評価を資料配付し、主要事業の成果に対する評価について意見を聴取した。

分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況については、分科会での協議内容を踏まえ、各分 科会の座長が総括して点検・評価を行った。

各分科会の委員から出された意見・要望及び座長の意見等について、第3回協議会で報告し、審議を行った後、令和6年度事業の点検・評価とした。

(3)主要な事業の選定と指標・目標の設定について

5分野における主要事業の選定と指標・目標の設定は以下により行った。

また、社会情勢の変化に応じた区民ニーズに柔軟に対応するため、主要事業の選定と指標・目標の設定は、毎年度確認・見直しを行いながら進めることとする。

①指標の設定と毎年度の目標・実績を把握できる事業

分野ごとに評価・点検を行うには、基本方針毎に設定した指標の現状を把握することが重要であるが、 アンケート調査に拠らなくては確認できない指標もある。しかし、アンケート調査は、計画策定に向けて 実施してきた経緯があり、毎年度実施することは現実的ではない。そこで現状評価の基礎となる事業とし て、指標を設定し、年度ごとの目標と実績を確認できる事業を選定することが望ましい。一方で短期的な 数値の変動で評価することが馴染まない事業や、天候等により変動の大きい事業があることも考慮する 必要がある。

②定量的目標を設定できる事業

目標の設定にあたっては、客観的に評価しやすい定量的な方法を採用できる事業が望ましい。事業の性質により、定性的な目標を掲げる場合には、評価主体により評価内容に大きな差が生じないように、目標として掲げる状態を具体的にすることが重要である。

③基本方針、施策の実現に向けた重要性が高い事業

基本方針や施策に掲げた事項の充実が計画の推進おいて重要な事項である。事業の選定にあたっては、基本方針、施策の実現に向けた重要性が高い指標・目標を設定できるものであることを考慮するものとする。

④計画の推進にあたって重視する3つの視点

計画の推進にあたって「人」「環境づくり」「資源活用」の3つの視点を重視しているため、これらの視点を加味して指標を設定することが望ましい。

⑤継続的に実績を評価できる事業

目標は過去から未来への実績を踏まえ、継続的に評価することで、信頼性や妥当性を確保することができる。一方で、新規事業や社会情勢の変化に等により、評価の優先順位が経年により変化する可能性にも留意する必要がある。

(4)事業の目標数値の考え方について

各事業の目標数値は、計画期間中に10%増を達成することを基準とする。(10%は「文の京」総合戦略(令和2年度~令和5年度)における将来人口推計による令和6年度までの直近5年の人口増加率9.2%を上回るもの)なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、実際の人口の増加は推計を下回っていることに留意する必要がある。

また、事業の性質や目標の設定方法により、現状の維持継続が望ましい事業や、さらに高度な目標設定が望ましい事業も想定できる。

3. 新型コロナウイルス感染症の影響について

全世界的に人々の生活や社会経済活動に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症は、日本国内では令和2年4月以降「緊急事態宣言」の発出や「まん延等重点措置」の適用が度々行われましたが、令和5年5月に感染症法上の位置付けが5類へと移行されると、様々な分野の事業が再開されました。

コロナ禍において軒並み中止、延期、規模縮小を余儀なくされた文化芸術・観光・交流・スポーツ関連のイベントは、制約等のある一方で、生活様式の変化により、文化芸術・学習面においてリモートコンサートやオンライン講座など、デジタル・トランスフォーメーションが急速に進みました。

しかし、現在も変異株の流行等による事業中止や縮小等の可能性が、完全に払拭されたわけではありません。今後は、本アカデミー推進計画を着実に前へと進められるよう、普段から迅速かつ的確な対応に努め、感染症等で事業に影響が出た場合でも、これまでの経験を踏まえ、可能な範囲で事業を継続し、その際には、本計画における適切な点検・評価方法を検討していきます。

そして、これからも文京区では、文化芸術・スポーツ等を楽しむ機会を通じ、暮らしの中に安心と豊かさを 感じることができるような様々な施策を推進してまいります。

第3章 学習活動分野の点検・評価

1. 学習活動分野の評価

文京区アカデミー推進協議会委員(学識経験者)
学習活動分科会座長 荻野 亮吾

2. 主要事業一覧

分野別	基本方針①だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくり	アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア多	様なニーズに応じた学習機会の充実			
1	文京アカデミア講座	0		
2	文京いきいきアカデミア講座	0		
イだ	れもが学びを実践できる支援の充実			
3	夜間・休日の講座開設	0		
4	生涯学習の相談	0		
5	電子図書館機能の充実【再掲】	0	0	
ウ身	近な学習環境の充実			
6	視聴覚資料等の貸出	0		
7	文京e-ラーニング	0		
8	電子図書館機能の充実	0	0	
工 地				
9	図書館サービスの充実	0		
10	子どもの読書活動の推進	0		
分野別		アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア区				
11	資格取得キャリアアップ講座	0		
12	社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数			
13	社会教育関係団体登録制度による活動支援	0		
イ活	 動の成果を披露できる場の充実			
14	生涯学習フェア	0		
15	体験教室ウィーク			
16	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】	0	0	
	びを通じた交流・仲間づくり			
17	ふれあいサロン	0	0	
	基本方針③学びの循環による地域づくり	アカデミー推進計画	総合戦略	重点
	域の学びを促進する人材育成の推進			
18	人材育成のための講座	0		
19	学習支援者スキルアップ講座	0		
	材活用の仕組みの構築			
20	区民プロデュース講座	0		
21	各種講座・展示会の企画への起用	0		
	域の資源を活かして学びを深める取組の推進	\sim		
22	大学連携による各種事業	0		
23	文京お届け講座	0		
24	「文京学」講座	0		

[※]総合戦略の欄は、「文の京」総合戦略(令和6年度~令和9年度)に掲載されている事業。

[※]重点の欄は、令和6年度に文京区の重点施策として選定された事業。

3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況

(1)分野別基本方針① だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくり

指標	現料	目標値	
1年間に学習活動を行った人の割合	67.2%	76.3%	70.0%
	(令和元年度調査)	(令和7年度調査)	, •

【分野別基本方針①だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくりの状況】

多様なニーズに応じた学習機会の充実では、文京アカデミア講座において、これまでに囚われることなく、幅広いメニューを用意した中でも、概ね定員を超える申し込みにつながり、高い評価を得ました。引き続き、関連自治体との協力講座や区にゆかりのある人物、事象に関する講座等、オリジナリティを活かした幅広い講座の提供に努めます。

だれもが学びを実践できる支援の充実では、全20講座を夜間や休日に開講したほか、特別公開講座も休日に開講したことで、新たな参加者層の確保とニーズの把握に繋がりました。また、文の京生涯学習司による生涯学習相談を通年で実施し、広く相談を受け付けたほか、区内の生涯学習サークルの活動や情報を紹介する「生涯学習フェア」も通常開催しました。今後もニーズに合った周知と人員配置による開設により、区民の学びのきっかけづくりや継続の一助となるように努めます。

身近な学習環境の充実では、電子図書館機能の充実において、前年度に引き続き10月を「電子図書館周知強化月間」として、ポスターの掲示や利用者案内の作成と配布を行ったほか、電子図書館の体験会を実施し、更なる利用の拡大を図りました。魅力ある書籍の充実に引き続き取り組み、更なる貸出等の向上を図るとともに、児童図書に閲覧制限のない読み放題パックを導入し、児童の電子書籍の利用を推進してまいります。

地域の学習拠点としての図書館づくりでは、区立図書館の「学びの拠点」としての機能向上を図るため、 真砂中央図書館と水道端図書館に電源付き閲覧席の増設を行いました。また、区ゆかりの文学者に関 する事業に取り組み、熊本県玉名市との協定締結5周年に伴い、夏目漱石に関する展示や講演会を実 施したほか、吉本隆明生誕100周年を記念して氏とご家族の作品展示などを行いました。引き続き、図 書館資料の充実を進め、利用促進と区民の読書活動の推進にを図るとともに、図書館システムを更新 し、全館でICタグを活用したセルフ貸出機や返却機を導入する等、更なる図書館利用の利便性の向上 を図ります。

これらの取組を進めることにより、様々な状況に応じた学習を実践できるよう、ICTの特性を有効に活用し、だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくりを推進します。

- 0
- (0)
- 0

(2)分野別基本方針② 学び続けるための活動の支援

指標	現状値	目標値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値
社会教育関係団体のアカデミー	161,731人	167,000	102,057	113,394	140,807
施設利用者数	(令和元年度)	人	人	人	人

【分野別基本方針② 学び続けるための活動の支援の状況】

区民の主体的な学習活動の支援では、学び続けるための活動支援の指標である社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数が、前年度比約27,000人増で令和6年度目標値の9割強まで回復しました。多くの社会教育関係団体によるアカデミー施設の利用は、様々な活動を通じた交流の場の提供につながり、区民の自主的な活動の支援となることから、今後も社会教育関係団体の活動に触れる機会を設けることで、参加を促していきます。

活動成果を披露できる場の充実では、今年度はサークル展示や活動紹介が従前どおり行うことができ、参加団体・来場者ともに増加し、その場で各種講座等を紹介したことで、学習意欲の向上と学習活動へ一歩踏み出す契機の提供に繋がりました。引き続き、活動意欲の向上と新たな取り組みに繋がるよう、長期的に区内生涯学習団体への周知に対応し、参加団体の増加に努めます。

学びを通じた交流・仲間づくりの推進では、地域活動センターにおけるふれあいサロン事業において、 今年度は昨年度と同数の講座を実施し、また、社会福祉協議会と連携し、地域住民との交流を深める 講座を行うことができました。今後も事業内容について検討を重ね、各種団体と連携しながら人材発掘に つながる講座を充実していくとともに、様々な世代の参加を促進していきます。

学習活動を継続するには、仲間づくりや成果を披露する場が重要であり、学びによる効果的な気づきの場でもあります。自らの学習を振り返り、やりがいと達成感を得ることのできる、継続的な学習活動への取組を支援します。

7 — — ·		+# >#	ユナカニギンノ	≷の意見】
I P 771-		— 11+ -1±	T/1 =示 仁	^/// 금 ㅂ 1
L / /J .	/ ~	111111111	17171 D TTV. 2	マレノが、ガル

- 0
- 0
- 0

(3)分野別基本方針③ 学びの循環による地域づくり

指標	現状値		目標値
これまでに学んだ内容を他人や地域のた	19.1%	20.1%	25.0%
めに活かした人の割合	(令和元年度)	(令和7年度)	25.0%

【分野別基本方針③ 学びの循環による地域づくりの状況】

地域の学びを促進する人材育成の推進では、区内大学との協働により、「文の京生涯学習司養成講座」を実施し、新たに土曜日も設定するなど、幅広い年代の受講が叶うよう努めました。定員には至りませんでしたが、15名の受講者全員が新たに認定されました。また、文京アカデミアサポーターの会の協力を得て「サポーター養成講座」を実施し、受講を修了した8名が新規会員となり、アカデミア講座に従事しました。次年度は文の京地域文化インタープリター養成講座の実施年であることから、安定した講座運営と合わせ、文京アカデミアサポーター養成講座も実情に合わせた講座メニューとするとともに、生涯学習支援者を対象としたスキルアップ講座を実施し、より多角的な活動を行うことで幅広い年代による生涯学習の活性化へと繋げます。

人材活用の仕組みの構築では、アカデミア講座の提案、特別公開講座の企画や運営など、幅広い領域で連携を図ったことで、区民ニーズを大切にした生涯学習の提供へと繋がりました。今後は、財団と各団体の役割を明確にし、長所を生かしながら講座の充実と各団体の主体的に活動に繋げます。

地域の資源を活かして学びを深める取組の推進では、区内大学と連携し、アカデミア講座、学長講演会、資格取得キャリアアップ講座等を継続したほか、意見交換や情報の共有機会を充実させるため、大学担当者との会議スタイルを変更しました。引き続き、新たな講座メニューの提案や夜間・休日開講の実現に向け、課題や認識の共有を図るとともに、双方の長所を活かし、一層充実した企画提案が叶う体制と環境の醸成に努めます。また、「文京学」講座では、これまでと同様、区の歴史や魅力などに特化した講座を実施したほか、いきいきアカデミアでもミューズネット構成館による講義を実施しました。これからも、区民の生涯学習活動の振興と、区政への理解が深まるよう努めます。

学習活動で得た知識やスキルをその区民が担い手となり様々な地域活動を行い、地域がつながっていく仕組みの構築により、地域コミュニティの活性化につなげていきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

- 0
- 0
- \bigcirc

1.学習活動 (No.1~24)

4. 主要事業の成果に対する評価

(1)分野別基本方針① だれもが、いつでも、どこでも学べる環境づくりア 多様なニーズに応じた学習機会の充実

1-①-ア 文京アカデミア講座

事業概要

区民の学習を支援するため、地域、文学、歴史・社会、自然科学、芸術、くらし、語学、健康・スポーツ など、バラエティに富んだ講座を提供します。

	指標:受講者数(人)							
	→ 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度							
	目標(P)	1,802	2,000	2,250	2,500	2,500		
	実績(D)	1,646	1,998	1,918				
	Fi.)	次年度	とに向けた取組	等(A)		
	年間を通じ、幅	晶広い分野の講座(の提供が叶ったほ	一部、定員に満	またない講座もあ [、]	ったことから、講		
	か、文京アカデミ	か、文京アカデミアサポーターの協力により、充実 座内容や周知方法の工夫により、受講者の増加を図						
R4	した講座運営に繋	繋がりました。── [▽]	ちで定員割れの講	ります。				
K4	座については、設定時期や時間の関係、或いはコロ							
	ナ禍による影響もあったものと思われます。							
	生涯学習支援者	皆等による企画提昇	案のほか、大学か	これまでのメニ	ニューを継続しつ	つ、新たな主体と		
R5	らの新たな提案も	あり、幅広い分野	野かつ、アンケー	- の協働にも注力し、講座メニューの充実を図りま				
	トによる満足度の高い講座を提供しました。			す。				
	これまでに囚オ	つれることなく、‡	畐広く多彩なメ	関連自治体との)協力講座や文京[区にゆかりのある		
DC	ニューを用意し、	概ね、定員を超っ	える申し込みにつ	○ 人物、事象に関する講座等、オリジナリティを活か				
R6	ながり、また、フ	アンケートでも高い	,評価を得まし	した幅広い講座の)提供に努めます。	,		
	た。							

1-①-ア 文京いきいきアカデミア講座

事業概要

高齢者を対象とした2年制講座。1年次は教養課程で共通科目を履修し、2年次の専門課程に進みます。 専門課程は、共通科目と選択科目を受講し、所定の受講回数(単位)をもって卒業認定とします。

	指標:受講者数(人)							
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	40	40	60	60	60		
	実績(D)	40	37	60				
	Į.	战果∙評価(D•C	;)	次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	.等(A)		
	第8期の初年原	きとして40名が教	養課程を受講	受講生同士の二	コミュニケーション	ンを密にするほ		
	し、履修により、	広く基礎を学んだ	だ37名が進級し	か、モチベーショ	ョンの維持・向上に	こついて工夫して		
R4	ました。様々な事	事業がある中でも	単位を修得し、進	いきます。				
	級・卒業できる。	ようサポートする 』	必要があります。					
	単 進級した37名☆	が専門課程で学び、	、そのうち必要	教養課程の魅力]ある講座科目の]	工夫により、進級		
R5	単位を取得した3	3名が卒業しまし	た。全体的に出	のサポートとモチ	チベーション維持(こ努めます。		
113	席率が高く、講座	荃科目も好評であ	り、学習のみなら					
	ず、仲間づくりに	こも繋がりました。						
	コロナ禍を経て	て定員を60名に増	員しました。教	ミュージアムネ	マト施設の見学、	アカデミア講座		
De	養課程として、こ	これまでと趣向の	異なるプログラム	受講を中心に、モ	- チベーションを約	維持し全員が卒業		
R6	も用意し、必要単	単位を取得した57:	名が進級しまし	できるよう、丁等	⊠にサポートしま ⁻	す。		
	た。							

イ だれもが学びを実践できる支援の充実

1-①-イ 夜間・休日の講座開設

事業概要

平日の昼間に講座を受講することが困難な方のために、平日夜間や休日にも講座を開設します。

			指標:受講者	首数(人)			
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標(P)	439	500	500	500	500	
	実績(D) 370 405			492			
	万	戊果∙評価(D•C	;)	次年度に向けた取組等(A)			
	文京アカデミア	講座において19講座	を平日の夜間や休	アカデミア講座	区全体のバランス ^を	を考慮しつつ、ア	
R4	日に実施し、アンケートで高い評価を得ることができま			ンケート結果を分析し、ニーズに合わせた講座を検			
111	した。一方で、社会情勢などを的確に捉えた講座選定等			討・企画していきます。			
	を行う必要があり	ます。					
	アカデミア講座	をにおいて全16講点	座を夜間・休日	大学構内におり	ける休日・夜間開記	講について検討す	
R5	に開講したほか、メセナ講演会、特別公開講座につるほか、幅広い年代の受講となるよう、より					よう、より学びや	
KO	いても休日に開講したことで、新たな参加者層の確			すい学習環境の提	是供について検討	していきます。	
	保とニーズの把握	屋に繋がりました。					
	アカデミア講座	座において全20講点	座を夜間・休日	大学での実施権	食討を継続するほ?	か、アカデミー文	
De	に開講したほか、	特別公開講座につ	ついても休日に開	京においても人員	員配置の勘案やア:	カデミア講座サ	
R6	講したことで、翁	ffたな参加者層のG	寉保とニーズの把	ポーターとの調整について、より学びやすい学習環			
	握に繋がりました			境の提供について	て検討していきま ^っ	す。	

1一①一イ 生涯学習の相談

事業概要

区	区民がそれぞれのニーズや目的に応じて生涯学習に取組めるよう総合的に紹介等を行います。							
			指標:相談件	-数(件)				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
目標(P) 180 180			190	200	200			
	実績(D)	171	140	165				
	Fi.	成果∙評価(D•C	;)	次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	等(A)		
	原則、週3回、	文の京生涯学習司に	よる「生涯学習相	令和5年度より	り週2回に変更と	なりましたが、現		
	談」を通年で実施	し、広く相談を受け	付けたほか、区内	在の体系を維持す	るとともに、よ	り本事業の周知に		
	の生涯学習サークルの活動や情報も紹介しました。ま			注力し、事業周知の範囲とアプローチの手法につい				
R4	た、コロナ禍で外出を自粛したことと合わせ、生涯学習			ても検討していき	きます。			
		ったものと推測され						
	ロデュースに関しては多くの相談があり、魅力ある講座							
	が提案されました。							
		回となった期間もあ			本体制を継続しつつ、一層充実した企画提案が叶			
R5		談を受けられる体制	- 11.11.4	う体制・環境の顔	嬢成について、支持	援者団体等と課題		
		環境を再構築したう	えで継続しまし	や情報共有にも努めます。				
	た。	タヨル・トッ 「井)年)	当羽4P=W <i>t</i> \名左	担象のタム性サ				
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	習司による「生涯 [‡]	, 11,11,20,13			に合わせた窓口開		
R6				設や人員の増と併				
		舌動や情報を紹介で	する 生涯字習	,		け作りや継続の一		
	フェア」も通常閉	催しました。		助となるよう努めます。				

1-①-イ 電子図書館機能の充実【再掲】

事業概要

電子書籍やオーディオブックといった電子媒体資料や、デジタル化した地域資料を提供することにより、 図書館に来館することが困難な方も含め、様々な利用者の読書活動を推進します。

		指	標:電子書籍の	貸出数(点)		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標(P)	28,120	28,500	29,000	29,500	30,000
	実績(D)	28,120	33,991	39,318		
	万	战果∙評価(D•C	(;)	次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	等(A)
	電子書籍につい	ヽては、資料の特別	生や利用動向を考	電子書籍等にて	ついては、魅力あ	る蔵書とするた
	慮した選定を行い	い、提供しました。	文の京デジタル	め、計画的に選択	€・収集するとと	もに、特集を組む
R4	文庫に、大正期の	ひ小石川植物園の[図版、人口統計資	など周知を強化し	ノ、一層の利用促進	進を図ります。ま
	料など、郷土資料	斗及び行政資料を3	追加しました。	た、地域資料のラ	^デ ジタル化を進め、	広報に努めま
				す。		
	計画的な購入に	こより、蔵書数を与	曽やすとともに、	更なる貸出数や	う予約数の増加を[図るため、令和5
	8月を「電子図書	書館周知強化月間_	とし、ポスター	年度に行った取組	且内容に加え、周昇	印活動の強化や魅
R5	掲示、利用案内の	D作成・配布、「位	建康」「料理」等	力ある書籍の選定等を行うとともに、読書バリアフ		
Κΰ	ジャンルごとのQ)Rコードを印字し	たカードの作	リー化に取り組みます。		
	成・配布等に取り	J組んだ結果、貸b	出数の増加につな			
	がりました。					
	前年度に引き網	売き、10月に「電·	子図書館周知強	魅力ある書籍の)充実に引き続き	取り組み、更なる
	化月間」として、	ポスターの掲示	及び利用案内の作	貸出数や予約数の)向上を図るとと:	もに、児童図書に
R6	成・配布を行った	たほか、電子図書館	館の体験会を実施	閲覧制限のない説	売み放題パックの打	広充を図り、児童
Ro	し、更なる利用の	D拡大を図りました	t-o	の電子書籍の利用	目を推進していきる	ます。
	また、オーディ	ィオブックの普及	を図るため、朗読			
	と音楽を融合した	こイベントを実施	しました。			

ウ 身近な学習環境の充実

1-①-ウ 視聴覚資料等の貸出

事業概要

学習や地域活動に必要な視聴覚学習資料を地域の幼稚園、小・中学校、社会教育登録団体、個人等に貸出 しを行います。

	指標:貸出件数(件)							
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	160	160	160	160	160		
	実績(D)	200	180	160				
	万	t果∙評価(D•C	;)	次年度	とに向けた取組	等(A)		
	各団体等に対し	ノ、広く貸出に対応	芯したほか、ニー	18ミリをはじぬ	か、フィルムの適	正な保存環境の		
	ズに合わせて新規	見に資料を購入し	ました。また、視	整備と映写技術者	省の確保・育成に [*]	ついて、検討を進		
	聴覚ライブラリー	- 目録の改訂版を勢	発行しました。個	めます。				
R4	人利用が増加したこととともに、町内会組織等によ							
	る利用については	る利用については、コロナの一定の収束に伴い、活						
	動が再開されたことに起因するものと推測されま							
	す。							
	各団体等に対す	トる貸出を継続し7	たほか、支援者団	より広い貸出と	立並行して、貴重7	な資料であるフィ		
DE	体の意見も取り入れた新規資料を購入をしました。ルムの現況確認と適正な保存環境の整備について、							
R5	また、適正な保管環境整備のため、除湿器を設置し検討を継続します。							
	ました。							
	各団体等に対す	よる貸出を継続した	たほか、支援者団	より広い貸出と	4並行して、貴重を	な資料であるフィ		
R6	体の意見も取り <i>7</i>	しれた新規資料を 見	構入をしました。	ルムの現況確認に関する人員配置や適正な保存環境				
RO	また、フィルムタ	装の掃除など、;	適正な保管に努め	の整備について、	検討を継続しまっ	す。		
	ました。							

1-①-ウ 文京e-ラーニング

事業概要

外出困難な人や時間に制約のある人などを対象に、時間や場所に関係なく各種講座等を受講できるように、インターネットを活用した講座を配信します。

. `								
	指標:アクセス数(件)							
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	7,000	8,000	9,000	10,000	10,000		
	実績(D)	6,649	2,563	2,117				
	Fi.	战果∙評価(D•C	;)	次年度	をに向けた取組	.等(A)		
	新たに、特別な	公開講座を含めて2	?7番組収録・配	配信する主体や	ウ講座内容の拡充。	と並行し、イン		
	信したほか、これ	ιまでに実施した訳	構座も継続して配	ターネット配信に	「適した講座につい	ハて検討します。		
	信し、ライフスタ	マイルに応じた視り	恵環境の提供につ	また、アカデミア	7講座「十八の町物	物語」をアーカイ		
R4	なげました。した	いし、掲載してい7	とメニューが著作	ブ化し公開するこ	ことで、新たな視り	徳者層の獲得に努		
	権の承認期間の総	圣過により、公開?	を終了したこと	めます。				
	が、目標値に達し	しなかった大きな§	要因の一つと思わ					
	れます。							
	新たに学長講演	寅会、特別公開講	座の2番組を掲載	スマートフォン	/やタブレットな	どのIT機器が普及		
		I T リテラシーや ^ឆ ਼		している中、e-ラ	ーニングの重要	生を強く認識して		
		曷載メニュー減少の		いることから、S				
R5			時間と場所を選	間知とあわせ、大学講座のオンライン・オンデマン				
	ばない学習機会を	を提供しました。		ド配信等の協力を求めるなど、番組数の増とコンテ				
				ンツの充実を図ることにより視聴数増と視聴者層拡				
				充を図ります。				
		及び大学学長講》				うず、新たに掲載		
		〒のITリテラシ-						
		て掲載メニュー減り				おいても事業周知		
		応離がありますが、 		により、受講者層	層の拡大に努めま ⁻	す。		
R6		り提供に努めまし7	-					
		5最先端生命科学記						
		込みがあり、講師。						
	大限可能な人数 <i>を</i> 	を受け入れました。						

1-①-ウ 電子図書館機能の充実

事業概要

電子書籍やオーディオブックといった電子媒体資料や、デジタル化した地域資料を提供することにより、 図書館に来館することが困難な方も含め、様々な利用者の読書活動を推進します。

	指標:電子書籍の貸出数(点)							
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	28,120	28,500	29,000	29,500	30,000		
	実績(D)	28,120	33,991	39,318				
	月	t果·評価(D·C	;)	次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	等(A)		
	電子書籍につい	ヽては、資料の特別	生や利用動向を考	電子書籍等につ	ついては、魅力あ	る蔵書とするた		
	慮した選定を行い	、提供しました。	文の京デジタル	め、計画的に選定	€・収集するとと	もに、特集を組む		
R4	文庫に、大正期の)小石川植物園の[図版、人口統計資	など周知を強化し	、 一層の利用促送	進を図ります。ま		
	料など、郷土資料		追加しました。	た、地域資料のデジタル化を進め、広報に努めま				
				す。				
	-11/1 0#		M. N. I. I. I. I.	^ · · ·	- , - (-) - (-	u		
	_	こより、蔵書数を与		令和5年度に行った取組内容を踏まえ、更なる貸				
		書館周知強化月間 ₋	•	出数や予約数の増加を図るため、周知活動の強化や				
R5		つ作成・配布、「作						
1.0)Rコードを印字し		フリー化に取り約	且みます。			
		J組んだ結果、貸¦	出数の増加につな					
	がりました。							
	前年度に引き線	たき、10月に「電·	子図書館周知強	魅力ある書籍の)充実に引き続き]	取り組み、更なる		
R6	化月間」として、	ポスターの掲示	及び利用案内の作	貸出数や予約数の)向上を図るとと:	もに、児童図書に		
ΚŪ	成・配布を行った	たほか、電子図書館	館の体験会を実施	閲覧制限のない説	売み放題パックを ³	尊入し、児童の電		
	し、更なる利用の	ン拡大を図りました	t	子書籍の利用を推	進進していきます。			

エ 地域の学習拠点としての図書館づくり

1-①-エ 図書館サービスの充実

事業概要

図書館資料やレファレンスサービス等の充実を図るほか、各種行事や資料の特集展示などを行い、図書館の利用促進と区民の読書活動の推進を図ります。

マン介リア	の利用促進と区氏の説音/11期の推進を図ります。						
			指標:総貸出数	枚(冊・点)			
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標(P)	3,846,252	3,911,000	3,977,000	4,045,000	4,114,000	
	実績(D)	3,846,252	3,723,216	3,558,422			
	月	伐果・評価(D・C	;)	次年度	Eに向けた取組 かっぱん こうがっこう しょうかん しょうかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん	.等(A)	
	図書館資料の充	を実を図るとともに	こ、時節に応じた	図書館資料の充	まを進め、利用	者の興味関心を引	
	特集展示を区立図	図書館全体で年間1	.,200回実施しま	き出す様々なテー	-マの行事や特集原	展示を実施するほ	
R4	した。また、森甌	鳥外没後100年、樋	鱼口一葉生誕150	か、令和5年度に	おいては「藩校	サミット」関連事	
K4	年記念事業を含む様々な行事にも取り組み、区民の			業などにも取り組	lむことにより、[区民の身近な学習	
	読書活動の推進を図りました。			拠点として多様な	:ニーズに対応し7	た資料提供と情報	
					発信を図ります。		
	区民の読書活動の推進を図るため、図書館資料の			引き続き、図書	書館資料の充実や、	利用者の興味関	
	充実を図るととも	に、全館で「藩林	交サミット」「関	心を引き出す様々	なテーマの行事	や特集展示を実施	
DE	東大震災100年」等、区の事業に関連した取組を実			します。また、令	☆和6年度において	ては石川県金沢市	
R5	施したほか、各館が様々な行事や時節に応じた特集			及び熊本県玉名市	うとの協定締結5馬]年に関する事業	
	展示を実施しました。			等に取り組むほか、区民の身近な学習拠点として、			
				閲覧環境の整備を	り組むほか、区民の身近な学習拠点として、 竟の整備を図ります。		
	区立図書館の	「学びの拠点」とし	しての機能向上を	引き続き、図書	『館資料の充実を》	進め、図書館の利	
	図るため、真砂中	中央図書館及び水道	道端図書館におい	用促進及び区民の	う読書活動の推進を	を図るとともに、	
	て、電源付き閲覧	富席の増設を行いる	ました。	図書館システムを	を更新し、全館でI	Cタグを活用した	
D0	また、文京区は	かりの文学者に関	関する事業に取り	セルフ貸出機・過	。 起却機の導入を行 [・]	う等、更なる図書	
R6	組み、熊本県玉名	名市との協定締結!	5周年に伴い夏目	館利用の利便性の)向上を図っている	きます。	
	漱石に関する展示	ミや講演会を実施!	したほか、吉本隆				
	明氏生誕100年を	記念して氏とその	家族の作品展示				
	などを行いました	-0					

1-①-エ 子どもの読書活動の推進

事業概要

	子どもたちが生涯にわたり読書習慣を身につけられるよう、発達段階に応じた行事や読書支援を行いま す。また、保護者への啓発や地域団体等との連携により、子どもの読書環境の整備に取り組みます。						
		#	旨標∶児童図書	貸出数(冊)			
_		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
		1,252,301	1,273,000	1,295,000	1,317,000	1,339,000	
	実績(D)	1,252,301	1,215,183	1,165,835	, ,		
	万	t果∙評価(D•C	;)	次年度	まに向けた取組	等(A)	
	「子ども読書活	舌動推進計画」に	基づく読書環境の	引き続き、「ヨ	子ども読書活動推議	進計画」に掲げる	
	整備と読書活動の)充実を図るため、	ブックリストの	37の事業について	て、関係機関との	連携のもと、着	
	作成や、図書の充	作成や、図書の充実、保護者や子どもへの啓発を行			図書館において	は、子どもの発達	
	い、区立図書館の利用促進を図りました。読み聞か			段階に応じたブッ	クリストの作成	・紹介や各種行事	
R4	せやおはなし会な	よどの行事を実施	し、親子や子ども	を実施し、子ども	ったちに多くの読	書機会を提供する	
	が本に親しむ機会	戻を提供しました。		とともに保護者向	可け講演会等を行い	い、啓発を行いま	
				す。さらに、地域	域の保育園、幼稚[園、小・中学校へ	
				の図書の貸出や出	出張おはなし会等	を実施し、地域の	
				読書活動を支援し	します。		
	「子ども読書活	5動推進計画」に	基づく読書環境の	引き続き、「ヨ	子ども読書活動推議	進計画」に掲げる	
	整備と読書活動の)充実を図るため、	ブックリストの	37事業について、	関係機関との連	携のもと、着実	
	作成や、図書の充	を実、保護者や子の	どもへの啓発を行	に実施します。図	図書館においては、	、子どもの発達段	
	い、区立図書館の)利用促進を図り	ました。読み聞か	階に応じたブック	フリストの作成・統	紹介や各種行事を	
	せやおはなし会な	ょどの行事を実施	し、親子や子ども	実施し、子どもた	こちに多くの読書	幾会を提供すると	
R5	が本に親しむ機会	€を提供しました。	令和5年度より	ともに保護者向に	け講演会等を行い、	、啓発を行いま	
	保健サービスセン	/ターからの依頼(こ基づき、「あつ	す。さらに、地域	域の保育園、幼稚[園、小・中学校へ	
		_				を実施し、地域の	
	かせをする取り組	且みを新たに始め、	一層の子どもの			過ごしやすい図書	
	読書環境の整備に	こ取り組みました。			員一人ひとりのス:	キルアップを目指	
				します。			
			基づく読書環境の			進計画」に掲げる	
			発達段階に応じ				
						子どもの発達段	
						紹介や各種行事を	
						書機会を提供する	
R6						い、啓発を行いま	
						園、小・中学校へ	
						を実施し、地域の	
		7. 売売の一僧ので	ル詮測に取り組み			過ごしやすい図書	
	ました。			貼、木貼したくる	よる凶舌貼を日拍	し職員一人ひとり	

が創意工夫していきます。

(2)分野別基本方針② 学び続けるための活動の支援ア 区民の主体的な学習活動の支援

1-②-ア 資格取得キャリアアップ講座

事業概要

区民の資格取得やキャリアアップを支援するため、区内大学と連携し、大学で開講する講座を区民が受講 する際に一部補助を行い、区民の資格取得やキャリアアップを支援します。

	指標:受講者数(人)							
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	70	70	70	70	70		
	実績(D)	31	33	31				
	月	戊果∙評価(D•C	;)	次年度に向けた取組等(A)				
	平時から連携し	している区内大学(こよる資格取得に	ラインナップの)充実と合わせ、[内容や日時のほ		
D4	直結した講座によ	より、能力の習熟(こ繋がりました。	か、タイトルや導	算入文にも工夫を	重ねるなど、広報		
R4	しかし、定員に満	満たない講座があ <i>・</i>	ったことから、受	にも工夫し受講者	音の増加につなげ	ます。		
	講者数を増やすた	講者数を増やすための取組が必要です。						
	区内大学との協	協働により、主と	してオンデマンド	時事に即した。	〈ニューや、技術	・技能等のスキル		
	により5講座を第	により5講座を実施しました。学習時間の確保やモ 向上に関する専門的、実践的な講座提案について依						
	チベーション維持	寺にも課題がある。	と思われ、定員に	頼するとともに、	区報やSNSも	活用するなど、一		
R5	は達しませんでし	したが、一人ひと	りのライフスタイ	層の事業周知に勢	子めます。			
	ルに応じたキャリア選択や、新たなステージで求め							
	られるスキルアッ	ップに繋がりました	t-。					
	これまで同様、	資格取得に直結	した5講座につい	資格取得以外に	こも、語学や、メニ	ンタルヘルス等、		
	て、様々な環境や	>ライススタイル(こ合わせた学習機	時事に即したメニ	ニューやいくつに	なっても学び直し		
	会の提供となるよ	にう、オンデマン	ド視聴やe-ラーニ	ができるメニュー	-の提案について値	衣頼するととも		
R6	ング形式により実	ミ施しました。		に、アカデミア調	構座等においても	事業周知に努めま		
	定員には達して	ていませんが、必要	要なタイミングで	す。				
	の学び直しと、仁	上事に役立つスキ	ル習得に繋がりま					
	した。							

1-2-ア 社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数

事業概要

区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、その団体の施設利用を支援します。

指標:社会教育関係団体のアカデミー施設利用者数(人)								
	Ŧ	旨標∶社会教育	関係団体のアブ	ファミー施設利力	用者致(人)			
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	102,057	135,000	150,000	160,000	167,000		
実績(D) 102,057 113,394			140,807					
	Fi.	t果·評価(D·C	;)	次年度	まに向けた取組	.等(A)		
	多くの社会教育	関係団体によるアカ	デミー施設の利用	新型コロナ感染料	定の影響で活動を 控	②える団体が多かっ		
R4	があり、学習活動を通じて交流できる場を提供すること			たですが、令和8年度の167,000人の利用を目標に、引				
Π4	で、区民の主体的	な活動を支援するこ	とができました。	続き社会教育関係[団体登録制度と並行	して、活動の場を		
				提供します。				
	令和5年度は感	染症による制限が全	面的に撤廃された	区民に活動の場	易を提供するとと	もに、社会教育関		
R5	結果、多くの施設利用があり、区民の自主的なサーク			係団体への参加も促していきます。				
	ル・団体活動を支援することができました。							
	多くの社会教育	関係団体によるアカ	デミー施設の利用	引続き、区民に	こ活動の場を提供 ⁻	するとともに、社		
R6	があり、文化・ス	ポーツ・学習活動を	通じて交流できる	会教育関係団体の	D活動に参加する	幾会を設けること		
No	場を提供すること	で、区民の主体的な	活動を支援するこ	で、参加を促して	ていきます。			
	とができました。							

1-2-ア 社会教育関係団体登録制度による活動支援

事業概要

区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体 として登録し、施設の優先利用や利用料金の減額などを行い、その活動を支援します。

令和8年度に向けた目標(P)

登録団体の活動内容を正確に把握し、広く区民に周知することで、団体活動の活性化と区民に各種活動への参加機会を提供し、区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を支援します。

	成果·評価(D·C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	登録団体名簿の関連施設への配架及びホームページへの掲載により、登録団体を広く周知し、区民の自主的な活動の促進につながりました。 また、3年に一度の更新を実施し、活動している団体をより正確に把握することができました。	引続き、区民の自主的な活動促進のため、登録団体名簿を更新し、関連施設へ配架の上、ホームページへ掲載します。登録団体の活動内容を正確に把握し、区民へ活動実績の周知を図ります。
R5	関連施設への登録団体名簿の配架やホームページの更新により、正確な情報を周知することで、区民へ活動への参加を促すことができました。 また、実績報告書の提出を求めることで、団体の活動内容を把握をすることができました。	登録団体名簿やホームページの更新に加え、登録 団体からの実績報告書の提出により、活動内容を正確に把握していきます。その上で、引き続き、区民の自主的な活動促進を図ります。
R6	登録団体からの実績報告書の提出により、活動内容を正確に把握し、登録団体名簿やホームページの更新を行ったことで、区民の自主的な活動を促すことができました。	を正確に把握、周知することで、区民の自主的な活

イ 活動の成果を披露できる場の充実

1-2-イ 生涯学習フェア

事業概要

文京アカデミア講座や区内大学生涯学習センターの紹介、講座受講相談を実施し、区民に対し生涯学習活動への参加を促す機会をつくるとともに、区内サークルの活動紹介や体験コーナー、ステージでの活動発表等を行うことにより、学習成果披露の場や区民同士の交流の機会を提供します。

寺で1] プロロにより、子自成木奴路の場で区民門上の文派の懐云で提供しまり。						
指標:来場者数(人)						
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標(P)	590	1,100	1,200	1,300	1,400
	実績(D)	590	500	730		
	万	t果∙評価(D•C	;)	次年度	とに向けた取組	等(A)
	アカデミア講座	Eや区内大学生涯 ^は	学習センター、区	引き続き、学習	習成果の発表機会排	是供と団体間の交
	内で活動する生涯	王学習サークルの え	舌動紹介のほか、	流を図るとともに	こ、活動意欲向上、	及び新たな一歩
R4	ステージ発表等に	こより、区民の学び	びを表現する場を	を踏み出す契機に繋がるよう、団体との連携や広報		
	設けることで、学	学習意欲の向上を[図りました。	に工夫をします。		
	シビックセンタ	マー改修工事に伴い	ハ、サークルの展	通常の2会場開	開催となる予定でる	あることから、参
	示や活動紹介の会	会場が、例年と異れ	なりアートサロン	加サークルの増殖	食と区内大学の直持	妾的な参加につい
	1会場のみでの実	≷施となりました。	展示団体や展示	て能動的に誘起す	トるほか、各種講原	座等での開催周知
	作品数が大きく洞	載少したことに伴い	ハ来場者も減少し	を図ります。		
R5	ましたが、アカテ	デミア講座や区内	大学が実施する生			
	涯学習講座とあ れ	つせ、小ホールでに	は舞台発表によ			
	り、学習意欲の向	可上と学習活動へ-	−歩踏み出す契機			
	の提供に繋がりま	ました。				
	サークルの展示	 こや活動紹介が従る	前通りの開催とな	活動意欲向上、	及び新たな一歩	を踏み出す契機に
				繋がるよう、区内		
R6			-	期的に対応し、参		
110		「かく加りる工程 意欲の向上と学習》			> 25 E E LT - > - E 21 € C 2	,, -, 5, 7, 6
	す契機の提供に繋					
) /CI/X V/ J/E //T VC A	K11 / A U/Co				

1-2-イ 体験教室ウィーク

事業概要

地域におけるコミュニティの育成と生涯学習活動の支援を目的として、各地域アカデミーで活動する生涯 学習団体を区民に紹介するとともに、生涯学習団体の活動に区民が参加する機会を創出し、団体活動を支援 します。

指標:参加団体数(団体)								
_		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P) 47 49			50	51	52		
実績(D) 47 62			68					
	月	t果∙評価(D•C	;)	次年度に向けた取組等(A)				
	年2回開催する	6体験教室ウィー:	クについては、コ	(公財)文京フ	プカデミーのホー.	ムページや広報紙		
	ロナ禍による参加	ロ団体の低減が予想	想された中、想定	による周知に加え、各館において、各団体への案内				
R4	以上の団体の参加	口がありました。		を積極的に行うことで、参加団体の増加に努めま				
	なお、アカデミ	三一湯島の1回目に	は、開催期間が改	す。				
	修工事と重なり、	止む無く中止しる	ました。					
	新型コロナウイルス感染症の行動制限がなくな			従来の広報や名	予館での積極的な			
R5	り、参加団体数もコロナ禍以前の数を上回る結果と			涯学習フェア等、他事業との連携を深め、参加団体				
	なりました。			の増加に努めます。				
	アカデミー千石	は、空調工事の7	ため1回目の事業	広報や各館での)積極的な声掛け	等により既存参加		
R6	を実施できません	しでしたが、全体*	では、年間参加団	団体の継続参加を促すと共に、新規参入団体の増加				
	体数が過去最高と	こなりました。		に努めます。				

1-2-イ 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】

事業概要

文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞 道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊)、企画展等の展示や能楽及びかるた関係事業等を実施します。

	THE PROPERTY OF THE PROPERTY O								
		指標	票:事業参加者	数の合計(人)					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	目標(P)	14,340	19,120	23,900	23,900	25,000			
	実績(D)	29,680	20,556	19,383					
	万	^{找果・} 評価(D・C	;)	次年度	をに向けた取組	l等(A)			
	各事業の参加者	音数の合計を成果!	指標としていま	令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の水準					
	す。コロナ禍で耳	再開できない事業?	もありましたが、	に戻すことを目標とします。全国藩校サミットや文					
	コロナ禍前の2年	F間(平成30年、	令和元年)の平	の京ミューズネット加入施設周遊デジタルスタンプ					
R4	均値23,900人の 6	5割の14,340人を	目標としまし	ラリーなどの新規	見事業に取り組み、	、周知活動にも力			
K4	た。			を入れ、文化事業	美への参加者を増	やします。			
	令和4年度単年	F度事業「文の京:	ミューズネット施						
	設入館料助成」を	とのべ16,398人が表	利用したことも						
	あり、目標を大き	きく超える実績とフ	なりました。						
	各事業の参加者	音数合計を成果指標	票としています。	定例事業である	な化祭や伝統芸術	能の発表会を開催			
	令和5年度は参加	口者数をコロナ禍間	前の8割の水準に	するとともに、かるた関係の展示や体験イベントを					
	戻すことを目標と	こし、達成できまり	した。	開催して区の文化	と資源であるかる?	たの区民への定着			
	単年度事業の	「全国藩校サミッ	ト文京大会」や企	及び若年層の文化	ど事業への参加を付	促します。障害者			
R5	画展等各種記念事	事業では、区民に済	エ戸時代の文化や	の芸術活動発表の	り場である「Bunk	kyo Brut」も開催			
	教育にふれる機会	会を提供し、多くの	の参加者がありま	3年目を迎え、ク	ブッズの販売等内容	容をさらに充実さ			
	した。区内障害者	音施設で制作され7	た絵画等を展示し	せていきます。					
	た「Bunkyo Brut」には昨年開催時(462人)の約								
	2倍となる959人	の観覧者が訪れま	こした。						
	各事業の参加者	る数合計を成果指	票としています	令和7年度は、	謎解きとかるたれ	を組み合わせた体			
	が、令和6年度に	は目標を超えるこ。	とができませんで	験イベントの実施	も、児童館等への:	かるた講師派遣を			
	した。			行い、若年層の認	図知度向上を図り:	ます。			
	「文京区×ちに	はやふるの世界展」	を開催し、区内	また、障害者に	よる文化芸術活動	動のさらなる活性			
D0	外に区の文化資源	原であるかるたを!	身近に感じられる	化を目指すため、有識者が厳選した作品の展示及び					
R6	よう競技かるため	本験等の機会を提供	共し、延べ2,129	ギャラリートーク(作品解説)を行い、観覧を楽し					
	人が来場しました			みながら作品や障害者に対する理解を深める展示を					
	また、障害者の	D芸術活動発表の均	易である	行います。					
	「Bunkyo Brut」	には、前年と同程	屋皮の観覧者が訪						
	れました。								

ウ 学びを通じた交流・仲間づくりの推進

1-2-ウ ふれあいサロン

事業概要

地域活動センターにおいて、幅広い年代の区民が参加する各種イベントや様々な教室を開催し、生きがいづくりや区民間の交流の支援、地域のさらなる活性化を目指します。

令和8年度に向けた目標(P)

各地域の特色を生かしながら、住民の相互交流を促進し、地域活動を担う人材発掘につながる講座を実施 していきます。

	成果·評価(D·C)	次年度に向けた取組等(A)
	新型コロナウイルス感染拡大以降、実施回数を縮	アフターコロナを見据え、実施回数をさらに増や
R4	減していましたが、令和4年度は感染対策を徹底し	すとともに、時事に即した事業を実施し、幅広い層
Π4	ながら昨年度実績の2倍を上回る講座を実施し、区	の参加を促進していきます。
	民間の交流を進めることができました。	
	令和5年度は昨年度実績を上回る講座を実施する	事業内容について検討を行い、地域活動を担う人
R5	ことができました。また、社会福祉協議会と連携	材発掘につながる講座を充実していくとともに、
110	し、新たな内容の講座を行うことができました。	様々な世代の参加を促進していきます。
	令和6年度は昨年度と同数の講座を実施すること	事業内容について検討を重ね、社会福祉協議会等
R6	ができました。また、社会福祉協議会と連携し、地	と連携しながら人材発掘につながる講座を充実して
Ro	域住民との交流を深める講座を行うことができまし	いくとともに、様々な世代の参加を促進していきま
	た。	す。

(3)分野別基本方針③ 学びの循環による地域づくり 地域の学びを促進する人材育成の推進

1-3-ア 人材育成のための講座

事業概要

区や(公益)文京アカデミー等と協働して事業を行う人材を育成するため、「文の京生涯学習司」、「文 の京地域文化インタープリター」「文京アカデミアサポーター」の3つの養成講座を実施します。

の泉地域文化インダーノリダー」								
指標:受講者数(人)								
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	39	45	45	45	45		
	実績(D)	41	28	25				
	瓦	t果·評価(D·C	;)	次年度	まに向けた取組 かんかん こうかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん	l等(A)		
	区内大学及び文	て京アカデミアサ	ポーターの会の協	講座の継続のほ	まか、生涯学習団	体等と積極的な情		
	力を得て、「文の)京生涯学習司養原	 成講座(隔年)」	報交換を行い、丿	材の育成・確保	に努めます。		
	「サポーター養成	戈講座」を実施し、	地域人材の掘り					
R4	起こしと新たな認	忍定者の確保に繋っ	がりました。ま					
111	た、講座運営には	は一定の人数を確信	保する必要があ					
			者も想定し、かつ					
	講座運営が可能な	よ人数の受講とした	たため、実績が目					
	標を上回りました							
		協働により「文の?				施にあたり、魅力		
	タープリター養成講座」について、幅広い年代の受的かつ実践的なメニュー等を協議・選定することに							
	講を見込み午前中の開催へと変更し実施しました。┃より、幅広い年代の地域人材の掘り起こしと、新							
			な認定者による生	E涯学習の活性に	繋げます。			
R5	全員の12名が新力							
		ナポーターの会の						
		区」を実施し、受調						
		ょり、アカデミア	講座に従事いただ					
	きました。							
	区内大学との協	協働により「文のす	京生涯学習司養成	「文の京地域文	て化インタープリ	ター養成講座」の		
	講座」を実施しま	ミした。新たに土曜	曜日にも設定する	実施年であること	こから、安定した	講座運営と併せ、		
			う努めました。定	「文京アカデミブ	プサポーター養成	講座」についても		
		しでしたが、受講	者全員の15名が			るなど、幅広い年		
R6	新たに認定されま			代のによる生涯学	や習の活性化に繋	げます。		
			- の会の協力を得					
		を成講座」を実施 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
		員となり、アカデ	ミア講座に従事し					
	ました。							

1-3-ア 学習支援者スキルアップ講座

事業概要

(公財)文京アカデミーと協働して事業を行う「文京アカデミアサポーター」「文の京生涯学習司」「文の京地域文化インタープリター」などの生涯学習支援者を対象としたスキルアップ講座を実施し、より多角的な活動が行える技能等を学習する機会を提供します。

印な旧動が日代の民間できず日する協立と呼びします。									
	指標:受講者数(人)								
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	目標(P)	50	70	70	70	70			
	実績(D)	46	48	50					
	万	成果∙評価(D•C	;)	次年度に向けた取組等(A)					
	より生涯学習す	支援活動に欠かせ を	なくなりつつある	活動に必要なる	スキルを学ぶほか、	関心の高い事象			
R4	パソコン講座など	ご、支援者のニース	ズを踏まえた講座	に関して情報共有	頁を図ることで、E	充実した学習機会			
Κ4	や、支援者の企画	画運営する講座を	実施し、効果的な	を提供します。					
	スキルアップに繋	はました。							
	情報モラルとっ	インターネットの	安全な使い方、傾	新たな主体との協働にも注力し、講座内容の充実					
	聴やコミニケーシ	/ョンスキル向上	を図ることで、清	を図ることで、潜在的な企画提案希望者の掘り起こ					
R5	を実施し、ICTを使用した情報収集、知見の蓄積 しや、モチベーションの向上を図ります。								
	の支援、幅広い金	上画提案力向上に	繋げました。						
	生涯学習活動は	はもとより、幅広	く人生が豊かにな	区内企業との協	協働や講師の掘り	起こしにも注力			
	るよう、情報収算	集・処理能力の向_	上を目的とした	し、先駆的な生涯学習機会の充実と、新たな企画提					
	「ChatGPT講座」	、アカデミア講	座に拘ることな	案希望者の掘り起こしに努めます。					
R6	く、地域等でもさ	さまざまなイベン	トの企画提案能力						
Ro	や実行力の向上に	こ資するよう「講』	座企画提案」に関						
	する講座を実施し	ノ、ICTを使用	した情報収集、知						
	見の蓄積の支援、	幅広い企画提案	力向上に繋げまし						
	た。								

イ 人材活用の仕組みの構築

1-3-イ 区民プロデュース講座

事業概要

区民の学習成果を活かし、地域に根差した生涯学習を推進するため、個人・NPO等の団体が企画する講座を公募して実施します。

指標:受講者数(人)								
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	202	300	300	300	300		
実績(D) 186 230			310					
	万	戊果∙評価(D•C	;)	次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	.等(A)		
	文の京生涯学習	司によるきめ細かい	相談体制により、	相談体制を継続	売するとともに、新	新たな提案の創出		
R4		く提案され、特色あ		に向けて、周知を行う範囲とアプローチの手法につ				
114		一方で、コロナ禍か	ら目標・実績とも	いて検討していきます。				
	に影響を受ける結果	果となりました。						
	生涯学習相談にて、事前相談や申込書の書き方レ 区や区民の持つポテンシャルを活かした講座や、							
R5	クチャーを継続したとともに、企画選定委員会にお 継続性のある学習活動の入口となる講座の実施とな							
110	いては、社会のト	トレンドも意識し7	た講座を選定しま					
	した。			らのコーディネートに取り組みます。				
	年間を通して実	≷施している「生ネ	王学習相談」にお	相談体制を継続するとともに、文京アカデミア生				
R6	いて、相談者の茅	と 庁時期を考慮し	開設時間帯の変更	[涯学習推進委員会とも連携を図り、区民の目線から				
KO	を行うなど、いっ	つでも提案・相談を	を受けられるよう	一層多彩なメニューの選定と、新たな人材の掘り起				
	環境を整備しまし	した。		こしに努めます。				

1-3-イ 各種講座・展示会の企画への起用

事業概要

文の京地域文化インタープリターや文の京生涯学習司等の活躍を支援し、区の文化事業に活かしていく事業 業(企画展等)を展開していきます。

	指標:生涯学習支援者企画講座開催数(件)									
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
目標(P) 30 30				30	30	30				
実績(D) 30 37			28							
	Į.	成果∙評価(D•C	;)	次年度に向けた取組等(A)						
	アカデミア講座	座の選定のほか、 🥕	イベント・公開講	生涯学習支援者	音との連携を密に	した積極的な意見				
R4	座の開催等、生涯	王学習支援者の協 え	力を得て、多様な	交換により、活動の活性と講座の充実に向け、継続						
Κ4	ニーズに対し区目	民目線から質の高い	ハ学習機会を提供	的に支援していきます。						
	できました。									
	アカデミア講座の提案、特別公開講座の企画、受 各種人材養成講座を継続し、新たな認定者を確保									
R5	託による実施など、幅広い領域のコーディネートに するとともに、区民					こつながるよう、				
Ro	より、区民と生涯	重学習を結びつける	る大きな要素とな	各団体の主体性を	と尊重しつつ、その	の専門的な知見を				
	りました。			活かした活動機会	まを提供していき ま	ます。				
	アカデミア講座	座の提案、特別公開	開講座の企画・運	財団と各団体と	この役割を明確に	し、長所を活かし				
R6	営など、幅広い翁	頁域で連携を図っ7	たことで、区民	ながら講座の充実	ミと各団体の主体的	的な活動に繋げま				
	ニーズを大切にし	した生涯学習の提信 ないまた生涯学習の提信	共に繋がりまし	す。						
	た。									

ウ 地域の資源を活かして学びを深める取組の推進

1-3-ウ 大学連携による各種事業

事業概要

区民のニーズにあった生涯学習機会を提供するため、大学と連携した事業を展開します。

	指標:受講者数(人)									
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	目標(P)	1,231	1,300	1,400	1,500	1,500				
	実績(D)	974	1,059	1,250						
	月	t果·評価(D·C	;)	次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	.等(A)				
	高度かつ専門的	りな学習機会提供の	のため、アカデミ	多くの方へ学習	引機会の提供が叶 [・]	うよう、大学と連				
	ア講座、学長講演	寅会、資格取得キー	ャリアアップ講座	携した広報や、担	3当者とのコミュニ	ニケーションに努				
	等、人材、キャンパスを活用した講座を実施しましめます。									
R4	た。また、オンラ	, , , , , , , , , , , , , , , , ,	ンドにより実施も							
	しましたが、定員	員に満たなかった。	ことが多かったた							
	め、継続的に内容	『や日時のほか、	タイトルや導入文							
	にも工夫を重ねま	きす。								
	アカデミア講座	区、学長講演会、資	資格取得キャリア	大学の主体性を	と尊重しつつ、課題	題や認識の共有を				
R5	アップ講座等を網	継続したほか、大≒	学との意見交換や	図るとともに、双方の長所を活かし、一層充実した						
Κΰ	情報の共有を通し	ノ、新たな講座メ <i>ニ</i>	ニューの提供に繋	企画提案が叶う体制・環境の醸成に努めます。						
	がりました。									
	アカデミア講座	区、学長講演会、資	資格取得キャリア	新たなメニューの提案や夜間・休日開講の実現に						
R6	アップ講座等を糾	迷続したほか、意見	見交換や情報の共	向け、課題や認識の共有を図るとともに、双方の長						
KO	有機会を充実させ	せるため、大学担	当者との会議スタ	所を活かし、一層充実した企画提案が叶う体制・環						
	イルを変更しまし	た。		境の醸成に努めます。						

1-3-ウ 文京お届け講座

事業概要

区民の自主的な学習活動を支援するとともに、区の職員が地域の団体の要望に応じて講師として職務に関する話をすることで、職員の意識改革と住民との協働関係の醸成を図ります。

指標:実施講座数(件)							
	令和4年度 令和5年度			令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標(P)	18	19	19	20	20	
	実績(D)	18	24	20			
	万	^{找果・} 評価(D・C	;)	次年度に向けた取組等(A)			
	一年を通して1	8件の講座申込が。	あり、計455名の	新型コロナウィ	(ルス感染症の影響	響で、対面での講	
R4	方が参加しました	こ。これにより、[区民の自主的な学	座を控える団体も	多く、いくつかの	の講座はZoomで	
R4	習活動を支援し、区の施策等に対する理解を深める			実施しました。引き続き、区民の要望を正確に捉			
	ことができました。			え、学習活動の支援を行います。			
	令和5年度は2	4件の講座申込が。	あり、計693名の	引き続き、区国	R要望に応えつつ、	自主的な学習活	
R5	方がお届け講座を	ど受講しました。ま	また、オリジナル	動を支援していく	、とともに、申込る	みの簡略化に向	
KJ	講座の申込が多れ	いったことからも、	区民の要望に応	け、申込方法の電	電子化に取り組んで	でいきます。	
	えることができました。						
	令和6年度は2	0件の講座を実施	し、計464名の方	フォームでの申	■し込みについて∫	周知を行い、活用	
R6	がお届け講座を受	受講しました。ま7	た、電子での申し	していきます。ま	ミた、引続き区民(の要望を正確に捉	
	込みを開始し、申	=請の簡略化を図り	りました。	え、学習活動の支	で援を行います。		

1-③-ウ「文京学」講座

事業概要

文京アカデミア講座、文京いきいきアカデミア講座の中で地域に関する講座を実施し 、文京区の歴史・文 化・自然を学び、地域文化を考えるための学習機会を提供します。

	指標:受講者数(人)							
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	120	120	120	120	120		
	実績(D)	110	149	102				
	万	t果・評価(D・C	;)	次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	.等(A)		
	生涯学習支援者	音等の協力を得て、	幅広い分野の人	地域に関する情	青報や人材の深掘	りにより、新たな		
R4	材による、地域に関する講座を提供しました。引き			切り口からの講座	Eが実施できるよ [、]	う、文の京生涯学		
K4	続き、講座内容の)充実を図ってい	く必要がありま	習司等との連携を	とより強めます。			
	す。							
	前年度に引き線	たき、文京区の歴9	史や魅力など、文	アカデミア講座	≧、いきいきアカ≒	デミア講座共に、		
R5	の京に特化した講	構座を実施したほ?	か、いきいきアカ	区政全般から生活	舌に密着した区のだ	施策に関する講座		
No	デミアにおいても	5区ゆかりの人物の	の紹介や区内博物	の実施により、▷	区民の生涯学習活動	動の振興と、区政		
	館等の見学を実施	色しました。		への理解が深まる	らよう努めます。			
	これまで同様、	文京区の歴史や射	魅力など、文の京	区ゆかりの人物	のや事象、協定締結	洁自治体等、区政		
R6	に特化した講座を	と実施したほか、い	ハきいきアカデミ	全般から文京区に	関する講座実施に	こより、区民の生		
No	アにおいてもミ <i>=</i>	ューズネット構成的	棺による講義を実	涯学習活動の振興	具と、区政への理解	解が深まるよう努		
	施しました。			めます。				

第4章 スポーツ分野の点検・評価

1. スポーツ分野の評価

文京区アカデミー推進協議会委員(学識経験者)
スポーツ分科会座長 青木 和浩

2. 主要事業一覧

分野兒	別基本方針①だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充	アカデミー推進計画	総合戦略	重点
アス	ポーツの楽しさを知る機会の創出			
25	初心者向けスポーツ教室	0		
26	スポーツ交流ひろばの充実	0		
27	Bunkyo Sports Park		0	0
イユ	ニバーサルスポーツの普及振興			
28	ニュースポーツ教室・大会	0		
29	障害者スポーツ体験教室	0	0	
30	Bunkyo Sports Park【再掲】		0	0
ウス	ポーツ観戦の場と機会の拡充			
31	地域のスポーツ団体等との連携による事業展開	0	0	
エス	ポーツボランティア等の活動支援			
32	スポーツボランティアの養成	0	0	
分野兒	- 訓基本方針②いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができ			
	きづくり	アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア気	軽にスポーツを楽しめる環境の整備			
33	スポーツ交流ひろばの充実【再掲】	0		
34	まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開放事業	0		
イス	ポーツに関する情報の発信と相談体制の整備			
35	スポーツ交流ひろば通信の発行	0		
36	スポーツボランティア情報の提供	0	0	
ウス	ポーツを楽しむ人を増やす事業の展開			
37	地域スポーツ団体の支援・育成	0	0	
38	個人利用のためのスポーツ施設の開放と指導員によるアドバイス	0		
39	スポーツの日事業	0		
エス	ポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化			
40	スポーツ指導者の育成	0		
才 心	身の健康づくり			
41	小・中学生向けスポーツ教室	0		
42	親子向けスポーツ教室	0		
43	スポーツ交流ひろばの充実【再掲】	0		
分野兒	別基本方針③スポーツの力を活用した地域づくり	アカデミー推進計画	総合戦略	重点
アス	ポーツを通じた仲間づくりと地域づくり			
44	親子向けスポーツ教室【再掲】	0		
45	スポ・レクひろば	0		
イプ	ロスポーツ団体等との連携・協働			
46	地域のスポーツ団体等との連携による事業展開【再掲】	0	0	
47	Bunkyo Sports Park【再掲】		0	0

ウ東	京2020大会におけるレガシーの継承と活用				
48	障害者スポーツ体験教室	0	0		
49	Bunkyo Sports Park【再掲】		0	0	
エ人	材・組織(町会・地域クラブ)との連携・協働				
50	地域スポーツ団体の支援・育成【再掲】	0	0		
51	スポーツ指導者地域派遣	0			
52	Bunkyo Sports Park【再掲】		0	0	
オ スポーツの魅力を体感する機会の充実					
53	初心者向けスポーツ教室【再掲】	0			
54	小・中学生向けスポーツ教室【再掲】	0			

[※]総合戦略の欄は、「文の京」総合戦略(令和6年度~令和9年度)に掲載されている事業。

[※]重点の欄は、令和6年度に文京区の重点施策として選定された事業。

3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況

(1)分野別基本方針① だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充

指標	現物	 犬値	目標値
スポーツ実施率(週1日以上)【スポーツをする】	54.9%	58.0%	60.0%
スポーク美胞率(週十日以上)【スポークをする】	-ツ実施率(週1日以上)【スポーツをする】 54.9% (令和元年度) (令和7年度) (令和7年度) -ツ観戦率【スポーツを見る】 (直接観戦) (令和元年度) (令和7年度)	(令和7年度)	60.0%
スポーツ実施率 (週1日以上)【スポーツをする】 54.9% (令和元年度) (令和7年度) 23.7% 24.5% (直接観戦) (令和元年度) (令和7年度) 10.7% 12.2%	23.7%	24.5%	
	(直接観戦)	(直接観戦)	30.0%
フナ ツギニンニ (コの参加表 【フナ ツケナラフ】	10.7%	12.2%	00.00/
スルーツルフラティアの参加率【スルーツを支える】 	(令和元年度)	(令和7年度)	20.0%

【分野別基本方針①だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充の状況】

だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充では、スポーツの楽しさを知る機会の創出のため、初心者向けスポーツ教室や区立小・中学校を活用したスポーツ交流ひろば事業を実施しました。初心者向けスポーツ教室は432人(前年比31人増)、スポーツ交流ひろばは26,869人(前年比1,949人増)の参加がありました。また、年齢、性別、体力等に関わらず、多種多様なスポーツを体験することのできるスポーツイベント「Bunkyo Sports Park」では、野球やサッカー、ラグビーといったメジャースポーツだけでなく、パルクールやBMXといったアーバンスポーツ、デフ陸上やパラバドミントン等のパラスポーツを体験することができるブースの設置、チアダンスや手話ダンス、ろう空手道のステージパフォーマンス等、延べ11,253人(前年比2,859人増)の来場がありました。

ユニバーサルスポーツの普及振興を図るため、「みんなで楽しくボッチャ大会」の開催、車いすバスケットボールや競技用義足などを体験することができる「パラスポーツ体験会」等を実施し、認知度を高めました。

区内に拠点を持つ読売巨人軍やアルバルク東京との協働により、ホームゲーム観戦イベントを実施すると共に、パリ2024オリンピックでは、バスケットボール男子日本代表戦のパブリックビューイングを開催しました。

これらの事業の実施に際しては、区に登録している多くのスポーツボランティアが活躍し、スポーツを支える人材の養成を図っています。令和6年度は年間で32件(前年比9件増)の事業にスポーツボランティアが参加しました。今後、スポーツボランティアについて広く案内し、さらなる啓発に努めます。

これらの取組により、多くの区民にスポーツを「する」「見る」「支える」機会を提供しました。今後、さらなる事業周知に努め、だれもがスポーツを身近に感じることができる機会を拡充していきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

- 0
- 0
- 0

(2)分野別基本方針② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり

指標	現状	建	目標値
「スポーツ活動を支える環境を整備す	36.3%	51.0%	45.00/
ること」への満足度(※)	(令和元年度)	(令和7年度)	45.0%

指標	現状値	目標値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値
スポーツ指導者(スポーツ推進委員・	120 件	135 件	85 件	84 件	114件
スポーツリーダー)派遣の実績件数	(令和元年度)	133 1	65 H	04 1+	1141+

【分野別基本方針② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりの状況】

いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりでは、気軽にスポーツを楽しめる環境を整備するため、六義公園運動場などの屋外スポーツ施設を活用し、未就学児を対象に外遊びの機会を提供し、令和6年度は6,060人(前年比1,720人増)が参加しました。

スポーツを楽しむ人を増やす事業の展開のため、インクルーシブスポーツ推進事業等を行う団体に対し、経費の一部補助を行いました。令和6年度は、9団体17事業で補助制度が活用され、地域スポーツ団体の支援および育成を図りました。また、スポーツセンター、総合体育館、江戸川橋体育館において、指導員を配置し、卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボールなど、様々な種目の個人向け一般開放を行っています。令和6年度は23,648人(前年比1,965人増)の利用があり、多くの区民にスポーツをする機会を提供することができました。

スポーツ指導者の育成と確保、技術の強化では、スポーツ推進委員、スポーツリーダー、体育協会加盟団体員、スポーツ交流ひろば指導員などのスポーツ指導者を対象に、普通救命講習やウォーミングアップ、クールダウン等についての講習会を開催し、指導者の知識と技術向上を図りました。

心身の健康づくりでは、小・中学生を対象としたスポーツ教室を開催しました。ジュニアローラー教室やジュニアサッカー教室を開催し、令和6年度は156人(前年比39人増)が参加しました。また、読売巨人軍やアルバルク東京、ヨネックスなどとの協働事業として、小学生ボール投げ&走り方教室やバスケットボール教室、テニピン体験会等の親子向けスポーツ教室に令和6年度1,188人(前年比473人増)が参加し、事後の参加者アンケートでも高い評価をいただきました。

事業内容のさらなる工夫等、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりを 継続的に展開していきます。

		ア	゚カテ	<u>"</u> ミ–	−推進	協議	会の	意見】	
--	--	---	-----	-------------	-----	----	----	-----	--

- \bigcirc
- \bigcirc
- \bigcirc
- \odot

(3)分野別基本方針③ スポーツの力を活用した地域づくり

指標	現状値	目標値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値
スポーツ団体等との連携	20 件	O2 #±	10 件	15 件	16 件
事業数	(令和元年度)	23 件	10 17	15 1	10 14
関係団体(パラスポーツ団	5 件	7 / 	- #	- #	0 #
体含む)との連携事業数	(令和元年度)	7件 	5 件	5 件	8 件

指標	現状	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	目標値
事業参加者の満足度	- (令和元年度)	100.0% (令和7年度)	80%

【分野別基本方針③ スポーツの力を活用した地域づくりの状況】

スポーツの力を活用した地域づくりでは、スポーツを通じた仲間づくりと地域づくりとして、親子向けスポーツ教室を開催するとともに、知的障害のある方を主な対象に楽しみながら体を動かす機会を提供している「スポ・レクひろば」を通年で実施しました。スポ・レクひろばには、区に登録しているスポーツボランティアだけでなく、区内専門学校の学生もボランティアとして参加し、多様な人々の交流を促進することができました。

東京2020大会におけるレガシーの継承と活用としては、区内のまつり会場でのボッチャブースの設置を継続し、どなたでもパラスポーツを体験できる機会を提供しました。また、アルバルク東京、トヨタ自動車との連携によりパラアスリートを講師に迎え、競技用義足や車いすバスケットボール等を体験する「パラスポーツ体験会」、日本ブラインドサッカー協会の協力による区立小・中学校でのブラインドサッカー出前授業等、年齢や障害の有無等に関わらず、誰もが共にスポーツを楽しむことができる機会の提供を推進しました。

今後も、これらの事業内容を充実させながら取り組みを継続し、スポーツの力を活用した地域づくりを 進めていきます。

ı	【マカデミー	-推准協議会の音見	٦
ı	1 / //	-/E]H]H=H=H=(// H	

- 0
- 0
- 0
- 0

2.スポーツ (No.25~49)

4. 主要事業の成果に対する評価

(1)分野別基本方針① だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充 ア スポーツの楽しさを知る機会の創出

2-①-ア 初心者向けスポーツ教室

事業概要

区民の健康の維持・増進及びスポーツを続けるきっかけづくりの機会として、区民が気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催します。

			指標:参加者	数(人)		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標(P)	371	380	390	400	408
実績(D) 371 401			432			
成果·評価(D·C)				次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	l等(A)
	個人で簡単に如	台めることができれ	ないスポーツにつ	初心者向けスポ	ポーツ教室を受講	した後も、引き続
R4	いて、初心者でも気軽に体験できる機会を作ること			きスポーツを継続	売できるよう、実涯	施団体等と継続方
114	ができました。			法等について協議します。		
	種目:アーチェリ	リー、合気道、弓流	直			
	初めての競技に	こ挑戦するきっかり	けづくりとして、	始めたスポーツを定着させる取り組みの展開、新		
	一人では中々始め	かることができない	ハ3種目について	しいスポーツを始める機会の提供に引き続き取り組		
R5	初心者向け教室を	を実施し、たくさん	んの方のお申込	んでまいります。		
	み、ご参加をいた	こだくことができ	ました。			
	種目:アーチェリ	リー、合気道、弓泊	首			
	これまで開催し	していた3種目に	テニスを加え、初	参加人数を増や	ウす方法を検討す _・	るとともに、新し
	めての競技に挑戦	戦するきっかけづ.	くりとして、一人	いスポーツを始める機会の提供と、スポーツを継続		
R6	では中々始めるこ	ことができない4種	重目について初心	できる取り組みを引き続き行ってまいります。		
	者向け教室を実施	もしました。				
	種目:アーチェリ	Jー、合気道、弓à	道、テニス			

2-①-ア スポーツ交流ひろばの充実

事業概要

区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。

			指標:参加者	ó数(人)			
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標(P)	23,878	24,474	25,070	25,666	26,265	
実績(D) 23,878 24,920		26,869					
	成果·評価(D·C)			次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	.等(A)	
	区立小・中学校	交18校にて実施し	ました。参加者	スポーツ交流で)ろばに加えて、:	コロナ禍で中止と	
R4	数については、徐々にですが、コロナ禍前の水準に			していたプール-	-般開放の再開に1	ついて、関係機関	
	戻りつつあります	t.		と検討していきま	きす。		
	スポーツ交流ひろばは、区立小・中学校18校で			スポーツ交流ひろばの競技によっては、参加者数			
	実施しました。延べ参加者数は、徐々に増えてきて			が減少しているところもあり、参加者増に向けた広			
	います。			報活動等が必要と	′考えます。		
R5	プール一般開放	牧は、4年振りの∓	再開となり、区立	プール一般開放については、実施校数、実施日数			
	中学校1校で4日	日間実施しました。	特に土日に利用	の増に向けて運営方法の検討が必要です。			
	者が多く、混雑回	回避のため、入場に	制限を行いまし				
	た。						
	スポーツ交流で	いろばは、区立小	・中学校18校で	スポーツ交流で	♪ろばは、参加者 勢	数が減少している	
	実施しました。延	延べ参加者数は、行	余々に増えてきて	種目もあり、効果的な広報活動について検討してい			
R6	います。			きます。			
110	プール一般開放は、区立中学校1校で4日間開催			プール一般開放については、実施校数、実施日数			
	しました。より多	安定した事業実施(のため、運営方法	を増やす取り組みを検討します。			
	を変更しました。						

2-①-ア Bunkyo Sports Park

事業概要

メジャーなスポーツに加えパラスポーツやアーバンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース、ステージイベントを実施します。

ツ体験ブース、ステージイベントを実施します。							
指標:参加者延べ人数(人)							
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
目標(P)			8,674	8,954	9,233		
実績(D) 8,394			11,253				
	万	t果·評価(D·C	;)	次年度	まに向けた取組	l等(A)	
	地域のスポーツ団体や大学等と協力してブース運			誰もが安心して	てスポーツに触れる	ることができる要	
	営やステージイク	ヾントを行い、新熱	見事業でありなが	素を取り入れ、ス	スポーツ分野におり	けるSDGs及びイ	
R5	ら、延べ8,000人	以上の来場があり	ました。事前申	ンクルーシブ概念を普及するほか、デジタル技術を			
Ro	込不要、対象者を	と「どなたでも」。	とすることで、よ	活用した競技体駅	倹等によるスポー `	ソ分野でのDXの	
	りインクルーシブ要素のあるイベントにすることが 推進等を図っていきます。						
	できました。						
	地域のスポーツ	/団体等と連携し、	野球やサッカー	引き続き地域の	Dスポーツ団体等。	と連携を図り、ス	
	といった定番スポ	ポーツから、ボッ	チャ、ブレイキン	ポーツ分野におけ	けるSDGs及びイン	クルーシブ概念	
	等のパラスポーツ	等のパラスポーツ、アーバンスポーツといった多様を普及していくとともに、次年度は世界陸上及び					
R6	なスポーツを体懸	食できる機会を提信	共するとともに、	フリンピックが東京で開催されるため、それらに因			
	スポーツ分野にお	sけるSDGsの概念	を普及しまし	んだ各種競技体験等の機会を提供することで、大会			
	た。来場者は、『	作年度を大幅に超;	える延べ11,253	のレガシー継承や気運醸成を図っていきます。			
	人でした。						

イ ユニバーサルスポーツの普及振興

2-①-イ ニュースポーツ教室・大会

事業概要

障害の有無や年齢に関わらず一緒に楽しむことができるドッヂビーやボッチャ等の各種ニュースポーツ教室や大会を実施します。

			指標∶参加者	首数(人)			
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標(P)	243	249	255	261	267	
実績(D) 243 227		331					
成果·評価(D·C)			次年度	をに向けた取組	[等(A)		
	コロナ禍でも、	スポーツ推進委員	員を中心に区内大	パラスポーツの)ボッチャを一つ(のきっかけとし	
_,	学・専門学校の生	上徒やスポーツボ [†]	ランティアといっ	て、可能性があれ	ιば他にも新たなホ	種目による教室事	
R4	た地域の資源と協	協力し、感染拡大層	防止対策を講じた	業等を実施し、区	区民に広くニュース	スポーツに触れる	
	上で、規模を縮小しながら実施しました。			機会を提供していきます。			
	スポーツ推進勢	委員を中心に区内 に	大学・専門学校の	ボッチャ以外の	 D種目についても	検討し、令和6年	
	生徒やスポーツが	ドランティアとい-	った地域の資源と	度中に、区民に加	なくニュースポー	ソに触れる機会を	
R5	協力し、コロナ社	B以前の規模で実施	施しました。当初	提供していきます。			
	の参加者は目標値	直を超えていまし7	たが、当日の参加				
	率が低い結果とな	なりました。					
		ソ大会では幅広いな				開催やスポーツ推	
	し、ボッチャで競	競い合いました。 🤅	また、地域への指	進委員等の地域派遣によるボッチャやドッヂビーを			
R6	導者派遣によりト	ドッヂビー等の指導	尊を行い、ニュー	楽しめる機会を挑	是供していきます。	,その他新しい種	
	スポーツの普及を	を図りました。		目を模索しニュースポーツの魅力を発信していきま			
				す。			

2-①-イ 障害者スポーツ体験教室

事業概要

障害のある方が気軽にスポーツ活動に参加できる機会とし、様々な障害者スポーツの種目を体験できる教室を開催します。

			指標:参加者	首数(人)			
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標(P)	1,069	1,100	1,120	1,150	1,175	
実績(D) 1,069 2,332			2,342				
	厄	戊果∙評価(D•C	;)	次年度	次年度に向けた取組等(A)		
	東京2020大会の	の終了後も、ボッ	チャやブライン	まつり等の場で	で継続的にパラス	ポーツに触れ、楽	
	ドサッカー等パラ	ラスポーツを知る	教室事業や体験会	しいと思える機会	会を区民に提供す	ることにより、パ	
R4	を行い、広く区国	民に参加いただき	ました。	。 ラスポーツの認知度を高めます。			
174	また、障害のある方でも気軽に参加できるよう内			年齢、性別、体力、障害の有無に左右されること			
	容を工夫した上で、区民誰もが安心して一緒に参加			なく、誰でも参加	『できるインクル・	ーシブ要素を取り	
	できるイベントを実施しました。			入れたスポーツ事	事業を、今後展開	します。	
	ユニバーサルフ	スポーツフェスタ	や、花の五大まつ	障害のある方で	でも安心して応募	・参加してもらえ	
	りでのボッチャク	▲験ブースの設置領	等により、より多	るよう、手話通訳者などの協力を得て分かりやすい			
R5	くのパラスポーツを体験できる機会を提供し、パラ			運営方法を工夫します。			
	スポーツの認知度	スポーツの認知度を高めることができました。			また、誰もが参加できる参加者目線でのインク		
				ルーシブスポーツ	/事業を実施しま	す。	
	パラスポーツを	本験会やニュース ₹	ポーツ大会などに	区内のまつり会	会場でのボッチャ1	体験ブースの設置	
	おいて、年齢や性	生別、障害の有無質	等に関わらず誰も	等を行い、多くの区民がパラスポーツに触れること			
R6	がスポーツを体懸	倹できる機会を提 値	共し、パラスポー	のできる機会を扱	是供します。あわ ⁻	せて障害がある人	
	ツの認知度を高ぬ	かました。		が安心して事業に	こ参加できるよう	手話通訳者の手配	
				について積極的に	案内します。		

2-①ーイ Bunkyo Sports Park

人でした。

事業概要

メジャーなスポーツに加えパラスポーツやアーバンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場 の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポー ツ体験ブース、ステージイベントを実施します。

指標:参加者延べ人数(人)								
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)			8,674	8,954	9,233		
実績(D) 8,394			11,253					
成果·評価(D·C)			次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	.等(A)			
	地域のスポーツ	ツ団体や大学等とは	協力してブース運	誰もが安心して	てスポーツに触れる	ることができる要		
	営やステージイ~	ベントを行い、新規	見事業でありなが	素を取り入れ、ス	スポーツ分野におり	けるSDGs及びイ		
DE	ら、延べ8,000人	以上の来場があり	ました。事前申	ンクルーシブ概念を普及するほか、デジタル技術を				
R5	込不要、対象者を「どなたでも」とすることで、よお用した競技体験等によるスポーツ分野でのDXの					ソ分野でのDXの		
	りインクルーシブ要素のあるイベントにすることが 推進等を図っていきます。							
	できました。							
	地域のスポーツ	ソ団体等と連携し、	野球やサッカー	引き続き地域の)スポーツ団体等。	と連携を図り、ス		
	といった定番スポ	ポーツから、ボッラ	チャ、ブレイキン	ポーツ分野におけるSDGs及びインクルーシブ概念				
	等のパラスポーツ	ツ、アーバンスポ-	-ツといった多様	を普及していくとともに、次年度は世界陸上及びデ				
R6	なスポーツを体懸	倹できる機会を提 係	共するとともに、	フリンピックが東京で開催されるため、それらに因				
	スポーツ分野にお	おけるSDGsの概念	を普及しまし	んだ各種競技体験等の機会を提供することで、大会				
	た。来場者は、『	作年度を大幅に超え	える延べ11,253	のレガシー継承や	う気運醸成を図って	ていきます。		

ウ スポーツ観戦の場と機会の拡充

2-①一ウ 地域のスポーツ団体等との連携による事業展開

事業概要

区内に拠点をもつスポーツ団体等との協力・連携により、スポーツ体験教室や大会等を実施します。

			指標:連携事	業数(件)		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標(P)	10	15	18	21	23
	実績(D)	10	15	16		
成果·評価(D·C)				次年度に向けた取組等(A)		
	サッカーW杯でり	はJFAと共同でパブ	リックビューイン	関係団体との協	協働を広く発信し、	連携を強化しな
		丸となって大会を盛		がら事業を実施し	.、区民にとって§	魅力的で参加しや
R4	の他、読売巨人軍やアルバルク東京、東京ユナイテット			すいスポーツ事業	美を計画・実施し [.]	ていきます。
	FCといった関係団 民に参加いただき	体との協働事業も9 * <i>*</i> -	ミ施し、多くの区			
	20. 2	3. 2. 20	レコカヴェルブ	間ば四件 いまれ	<i>+ +</i> 3 <i>+</i> √ 1 , 1 , <i>+</i> √ 1 , 2 , 3	も数 t 中 板 l
	ラグビーW杯及びFIBAW杯ではトヨタヴェルブ			1 3111 - 1022	3 - 3-110 - 0111	事業を実施し、事
	リッツやアルバルク東京との協力・連携によりパブ 業の発信力を高め、より多くの区民に参加してもら リックビューイングを主催し、区一丸となって大会 えるスポーツ事業を計画・実施していきます。					
R5	ラックとユーインクを主催し、区一丸となって入去 えるスホーク事業を計画・美施していきます。 を盛り上げました。その他、読売巨人軍や東京ユナ					
		った関係団体との = きねい <i>たが</i> きまり				
		こ参加いただきまし		コ セ /± セ L + /	> → - ° WEI4/5	
		ンピックでは、ア	, ,,,,,, –	31 - 1,50 - 3 51		と協力・連携を図
		アットボール男子[
De		ノグを実施し、区-			r計画・美施して!	ハさよす。
Ro	代表を応援しまし					
		- ツ教室等を実施し				
	万にスボーツ体駒 	倹の機会を提供し る	ました。			

エ スポーツボランティア等の活動支援

2-①-エ スポーツボランティアの養成

事業概要

地域の生涯スポーツ・レクリエーションの振興を推進するため、「支えるスポーツ」の担い手として、スポーツボランティアを登録・養成・派遣します。

	指標:派遣実績数(単位)								
_		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
目標(P) 18 18			19	19	20				
実績(D) 18 23			32						
	成果·評価(D·C)			次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	.等(A)			
	スポーツボラン	/ティアの登録者数	数が増え、活動回	特別な能力が必	必要なく誰もができ	きるのがスポーツ			
	数も前年度の倍に	こなりました。健常	常者も障害者も一	ボランティアであり、養成するには多様なボラン					
R4	緒に活動できる機	幾会も増やすことを	ができました。	ティアととも従事、交流するOJTが一番です。その					
				ため、1回当たり)の従事者の受け,	入れ数増加を図り			
				ます。					
	健常者も障害者	健常者も障害者も一緒に活動できる機会を増やす			再度、ボランティア登録者数を増やし、受け入れ				
R5	ことができました	た。ただし、活動[回数は増えました	数も増やすために、周知を図ります。					
113	が、応募するボラ	ランティアに偏りフ	がありました。						
	スポーツボラン	/ティアの登録者数	数が増え、活動実	引き続きボラン	/ティア登録者数?	を増やすために周			
R6	績も増加しました	こ。多くのボランデ	ティアが参加した	知を図ります。					
	ことにより、事業	美が活性化しまし7	た。						

(2)分野別基本方針② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくり

ア 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備

2-2-ア スポーツ交流ひろばの充実【再掲】

事業概要

区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。

			指標:参加者	ó数(人)		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標(P)	23,878	24,474	25,070	25,666	26,265
	実績(D) 23,878 24,920		26,869			
	成果·評価(D·C)			次年度	まに向けた取組	[等(A)
	区立小・中学校	交18校にて実施し	ました。参加者	スポーツ交流で)ろばに加えて、:	コロナ禍で中止と
R4	4 数については、徐々にですが、コロナ禍前の水準に			していたプール-	-般開放の再開に	ついて、関係機関
	戻りつつあります	t.		と検討していきます。		
R5	スポーツ交流ひろばは、区立小・中学校18校で実施しました。延べ参加者数は、徐々に増えてきています。プール一般開放は、4年振りの再開となり、区立中学校1校で4日間実施しました。特に土日に利用者が多く、混雑回避のため、入場制限を行いました。			が減少しているところもあり、参加者増に向けた広		
R6	実施しました。 かます。 プールー般開放	定した事業実施の	余々に増えてきて 1 校で4日間開催	種目もあり、効果 きます。 プールー般開放	限的な広報活動に 女については、実	数が減少している ついて検討してい 施校数、実施日数

2-②-ア まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開放事業

事業概要

子どもが外で自由に遊ぶ場所が不足している現状をふまえ、屋外スポーツ施設(六義公園運動場及び後楽公園少年野球場)を活用し、未就学児童を対象に外遊びの機会を提供します。(あおぞらすくすく広場、親子すくすく教室、園児すくすくプログラム)

	() () () ()		指標:参加者	á数(人)		
_		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標(P)	4,561	4,675	4,789	4,903	5,017
	実績(D) 4,561 4,340			6,060		
	成果·評価(D·C)			次年度	に向けた取組	[等(A)
	屋外スポーツ旅	施設について、空間	きの多い時間帯を	引き続き、自由	日に遊ぶ場所が不足	足している未就学
R4	有効活用しながら、未就学児童の外遊びの機会を提			児童を対象に外遊びの機会を提供していきます。		
	供することができ	きました。				
	屋外スポーツ旅	施設 (後楽公園少年	F野球場、六義公	引き続き、未就	大学児童に対する	外遊びの機会の提
R5	園運動場)におい	ヽて、未就学児童⁄	供を行ってまいり	ります。		
Ro	提供、親子向けスポーツ教室を実施しました。					
	屋外スポーツ旅	施設 (後楽公園少年	F野球場、六義公	引き続き、未就	大学児童に対する	外遊びの機会の提
	園運動場)におい	ヽて、未就学児童⁄	〜 外遊びの機会の	供を行ってまいり	ります。	
R6	提供、親子向ける	スポーツ教室を実施	拖しました。特			
110	に、あおぞらすく	くすく広場について	ては、昨年度より			
	大幅に参加人数を	を増やすことができ	きました。			

イ スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備

2-2-イ スポーツ交流ひろば通信の発行

事業概要

スポーツ交流ひろばの指導者に向けて、スポーツ振興に関する情報等を発信します。

		持	≦標:通信の発	行回数(回)		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標(P) 12 12		12	12	12	12	
実績(D) 12 12			12			
	Į.	t果·評価(D·C	()	次年度	まに向けた取組	[等(A)
	「スポーツ交流	たひろば通信」をi	通じて、必要な情	引き続き、地域	域スポーツを普及	・振興するため、
R4	報等を区、区立小	小中学校及び連絡	指導員が共有する	地域スポーツ情幸	服を提供していき	ます。
1 . 1	ことで、円滑な事業運営ができました。					
	「スポーツ交流	たひろば通信」をi	通じて、必要な情	引き続き、地域	域スポーツを普及	・振興するため、
R5	報等を区、区立小	小中学校及び連絡	指導員が共有する	地域スポーツ情幸	服を提供していき	ます。
	ことで、円滑な事	業運営ができま	した。			
	「スポーツ交流	たひろば通信」をi	通じて、必要な情	引き続き、地域	或スポーツを普及	・振興するため、
R6	報等を区、区立小	小中学校及び連絡	指導員が共有する	地域スポーツ情幸	服を提供していき	ます。
	ことで、円滑な事	業運営ができま	した。			

2-②一イ スポーツボランティア情報の提供

事業概要

スポーツボランティア参加イベントの募集や活動状況の報告、参加者の声等、スポーツボランティアに関する情報を広く発信します。

 指標:スポーツボランティア協力事業件数(件)									
		指標:スポ	ーツボランティ	ア協力事業件数	文(件)				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
目標(P) 18 18			19	19	20				
実績(D) 18 23			32						
	瓦	伐果∙評価(D•C	;)	次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	.等(A)			
	ホームページ等	穿の発信にとどま!	うず、各種イベン	定量的な評価の)みならず、ボラ:	ンティア従事内容			
R4	ト等でスポーツボランティアの情報を発信しまし			を充実させたり、	障害のある人も-	-緒に活動できる			
Π4	た。区主催の各種事業に、ボランティアとして多く			機会を増やすなど、定性的な指標も取り組んでいき					
	の方に参加していただくことができました。			ます。					
	区主催の各種事	事業に令和4年度。	よりも多くの方に	ボランティア徒	É事内容は充実し [*]	ていますが、応募			
R5	参加していただくことができました。			者が偏り減少傾向がありますので、情報発信方法を					
Ro				工夫し、登録者数	枚を増やしていき:	ます。			
	様々なスポーツ	/教室等でスポーン	ソボランティアを	さらにボランラ	ティア登録者数を対	増やし、幅広く事			
R6	募集し、多くの参	≽加がありました。	ボランティアが	業に参加いただり	けるよう周知を図	ります。			
KO	参加したことによ	にり、事業が活性(としました。						

ウ スポーツを楽しむ人を増やす事業の展開

2-2-ウ 地域スポーツ団体の支援・育成

事業概要

地域・生涯スポーツの普及・発展のため、各種区民大会や教室事業等の開催を委託し、自主的なスポーツ活動を行う団体を育成します。

指標・インクルー	シブ推進事業補助金申請件数(件)※令和4年度のみ「REスタート補	助金 ι
コロ1示・コン ノノレ	ノノ 1年2年7末 1819 1 业 〒 181 1 7 数 1 1 7 / 2 7 7 14 4 1 2 0 0 7 1 7 1 7 7 7 1 7 1 7	ᄢ피

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	11	20	20	20	20		
	実績(D)	11	10	17				
	Į.	成果・評価(D・C	()	次年度に向けた取組等(A)				
	REスタート補	助金の申請件数が	11件ありまし	補助金の趣旨や	申請方法等、周領	知活動に力を入れ		
R4	た。各スポーツ	事業の再興へ貢献	しました。	目標以上の申請と	こなるよう取り組む	みます。		
114								
	インクルーシス	ブスポーツ推進事業	業等補助金につい	多くの団体が補	動制度を活用で	きるよう、制度の		
	て、10団体からの	の申請があり、14	事業で制度が活	趣旨や申請方法等	等、周知活動に力 [。]	を入れます。		
R5	用されました。st	F齢、性別、障害(の有無を問わず誰					
	もが参加できる~	インクルーシブ要	素を含んだ事業を					
	増やすきっかけて	づくりとなりました	た。					
	インクルーシス	ブスポーツ推進事業	業等補助金の申請	要綱改正により	リ、より活用しや ⁻	すい制度にすると		
R6	団体数は9団体で	でしたが、事業数に	は17事業に増加	ともに、SNSやカ	ホームページなどの	の広報を工夫して		
NO	しました。また、	新たな団体からの	の申請もありまし	周知を図り、実績	責値の増加を目指	します。		
	た。							

2-2-ウ 個人利用のためのスポーツ施設の開放と指導員によるアドバイス

事業概要

卓球、バドミントン、バスケットボール、バレーボール、ビーチボール、合気道、弓道、アーチェリー、 柔道、剣道、ミニテニスなどの種目について、指導員を配置し、個人向けにスポーツ施設を開放します。

指標:3 ⁴	体育館の一般	段開放参:	加者数(人)

令和4年度 令和5年度 令和6年度						令和8年度	
	目標(P) 22,994 23,568			24,142	24,716	25,293	
	実績(D) 22,994 21,683			23,648			
	瓦	t果·評価(D·C	;)	次年度に向けた取組等(A)			
	スポーツセンタ	マー、総合体育館	及び江戸川橋体育	指導員を配置するとともに、地域の身近なスポー			
R4	館で実施し、多く	、の区民等にスポ-	-ツする機会の場	ツ施設として、多	多くの区民に利用	してもらえる機会	
	を提供することだ	ができました。		を創出していきます。			
	スポーツセンタ	マー、総合体育館	及び江戸川橋体育	地域の身近なる	スポーツ施設とし [・]	て、よりたくさん	
R5	館で様々な競技の)一般公開を実施	し、多くの区民の	の区民の方にスポ	ポーツをする機会	を創出していきま	
Ro	方にスポーツする	る機会を提供する。	ことができまし	す。			
	た。						
	スポーツセンタ	z —、総合体育館2	及び江戸川橋体育	引き続き、地域	域の身近なスポー`	ツ施設として、よ	
R6	館で様々な競技の)一般公開を実施	し、スポーツを行	り多くの区民の方	5にスポーツをす	る機会を創出して	
	う機会を提供する	ることができました	<u>-</u>	いきます。			

2-2-ウ スポーツの日事業

事業概要

子どもから高齢者まで幅広い年齢層の区民が、スポーツの楽しさを知り自らの健康の維持・増進を図る きっかけをつくるため、スポーツの日事業を開催します。

		指標:	事業の合計延	べ参加者数(人	.)					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	目標(P)	4,212	4,317	4,422	4,527	4,633				
実績(D) 4,212 2,952										
	月	战果∙評価(D•C	()	次年度に向けた取組等(A)						
	実施日:令和4	4年10月10日(月	・祝)午前9時	より多くの区園	ミに、スポーツを:	身近に感じたり楽				
	から午後5時まで	C		しさを知ってもらうための機会を創出していきま						
R4	会場:区内スポ	ポーツ施設(8か剤	所)	す。						
	令和4年度は雨	雨天の影響もあり、	参加者数に影響							
	が出ました。									
	実施日:令和5	5年10月9日(月	・祝)午前9時	令和5年度まで	では、区立スポー*	ツ施設等の指定管				
	から午後5時まで	Č.		理者による「スポ	パーツの日事業」	として実施してき				
R5	会場:区内スポ	ポーツ施設等(8)	箇所)	ましたが、令和6	6年度以降は、「F	Bunkyo Sports				
110	令和5年度も雨	雨天のため、屋外(の事業が中止と	Park」を実施しる	ます。					
	なった影響が大き	きく、想定していた	た参加者を大きく							
	下回る結果となり	Jました。								

エ スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化

2-②-エ スポーツ指導者の育成

事業概要

スポーツ指導者の資質向上を図るため、スポーツ推進委員、スポーツリーダー、スポーツ交流ひろばの指導員等を対象に各種研修会を実施します。

		指標:各種指導	算者講習会、実	技研修等参加	者数(人)					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	目標(P)	62	64	66	68	69				
	実績(D) 62 60			79						
	月	战果・評価(D・C	;)	次年度に向けた取組等(A)						
	スポーツ推進す	委員の自主性も尊	重しながら普通救	任期の途中から	o委嘱されるスポー	ーツ推進委員もい				
	命講習、ボッチャ	r研修、筑波大学L	山田教授を招いた	るため、すぐに周	引りの委員と同様	な活動ができるよ				
R4	講演会等、各種研	肝修を実施し、ス۶	ポーツ推進委員、	う研修等の充実を	と図る必要があり	ます。				
	スポーツ交流ひる	ろばの指導員等の打	指導・育成スキル							
	の向上に寄与する	ることができました	t-0							
	スポーツ推進す	委員が企画に携わ	り、上級救命講習	指導者講習会は	こついての周知に	力を入れ、参加者				
	やパラスポーツに	こ関する講習会を	実施しました。参	の増加を目指しま	きす。また、スポ-	ーツ推進委員、ボ				
R5	加したボランティ	ィアやスポーツ交流	流ひろばの指導員	ランティア、スポ	ポーツ交流ひろばタ	指導員等の交流を				
	等の知識や障害者	皆理解を深めるこ。	とに繋がりまし	図っていきます。						
	た。									
	スポーツ推進委	&員による企画の :	もと、スポーツ	指導者講習会は	こおいては、指導線	経験に差がある参				
	リーダーや体育協	a会加盟団体員等?	を対象として、普	加者の誰もが、そ	それぞれの担当種	目に活用できるよ				
R6	通救命講習会と排	旨導者講習会を実施	施し、普段のス	うな講習内容を核	食討します。					
	ポーツ指導に役立	立つ知識と技術を習	習得する機会を提							
	供しました。									

オ 心身の健康づくり

2-2-オ 小・中学生向けスポーツ教室

事業概要

子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、ローラースポーツ等をはじめとした各種スポーツ教室を開催します。

	指標:参加者数(人)									
						A				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	目標(P)	158	162	166	170	174				
	実績(D)	158	117	156						
	Į.	t果·評価(D·C	;)	次年度に向けた取組等(A)						
	文京区ローラー	-スポーツ連盟、フ	文京区少年サッ	協働団体と連携	통・相談を密にし、	その他競技のス				
	カー連盟・JFAと	協働でジュニア向]けスポーツ教室	ポーツ教室が実施	歯できないか検討	します。				
R4	を実施しました。	初心者も楽しめる	る教室とし、ス							
	ポーツをはじめる	るきっかけづくり。	となりました。							
	令和 4 年度同様	様、募集人数を上[回る応募がありま	ジュニアローラ	ラースポーツ教室に	は、1日の教室を				
	したが、事業近く	くになり体調不良等	等でのキャンセル	2回開催すること	こにより定員を増っ	やし、より多くの				
R5	により参加者が派	載少しました。初,	心者にも楽しむこ	ニーズに応えられ	いるようにします。	,また、事前キャ				
	とができ、満足原	きの高い教室とな	りました。	ンセルの対応とし	ては、繰り上げ	当選等を検討しま				
				す。						
	ローラースポ-	-ツ教室及びジュニ	ニアサッカー教室	引き続き運営協	協力団体と密に連打	隽を図り、満足度				
R6	ともに、運営協力	力団体と密に連携を	を図り、初心者で	の高いスポーツ教	枚室となるよう実施	施していきます。				
NO	も楽しく体験でき	きるよう教室を実施	施しました。							

2-2-オ 親子向けスポーツ教室

事業概要

親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに 親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子スポーツ教室を開催する。

	指標:参加者数(人)							
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	522	535	548 561 575				
	実績(D) 522 715 1,188							
	瓦	t果·評価(D·C	;)	次年度に向けた取組等(A)				
	ジャイアンツァ	⁷ カデミーやトヨ:	タヴェルブリッツ	新型コロナウィ	イルス感染症に鑑っ	み、参加者を制限		
R4	等、計6の協働団体と親子教室を実施し、参加者ア			した事業もあり、	落選者が多数と	なってしまいまし		
114	ンケートでは9割以上から肯定的な評価をいただけ			た。多くの方が参加できるよう、事業を計画してい				
	ました。			ていきます。				
	ジャイアンツァ	7カデミーやトヨ:	タヴェルブリッツ	コロナ禍前の規	見模で事業を実施	し、多くの方に参		
R5	等、計6の協働団	団体と親子及び家族	疾向け事業を実施	加していただきました。より多くの方が参加できる				
113	し、参加者アング	rートでは 9 割以 ₋	上から肯定的な評	よう企画、計画をしていきます。				
	価をいただけました。							
	地域のスポーツ	/団体等と連携し、	各種親子向けス	より満足度の高	高い教室内容とな	るよう、運営団体		
R6	ポーツ教室を実施	もし、親子でスポー	-ツに親しみを持	と連携を図り、教室の企画・運営を行っていきま				
110	つきっかけづくり)の機会を提供する	ることができまし	す。				
	た。							

2-2-オ スポーツ交流ひろばの充実【再掲】

事業概要

区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放します。

	指標:参加者数(人)							
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	23,878	24,474	25,070	25,666	26,265		
	実績(D)	23,878	24,920	26,869				
	瓦	以果・評価(D・C	()	次年度に向けた取組等(A)				
	区立小・中学校	₹18校にて実施し	ました。参加者	スポーツ交流で)ろばに加えて、	コロナ禍で中止と		
R4	数については、後	食々にですが、コ	ロナ禍前の水準に	していたプール-	-般開放の再開に	ついて、関係機関		
Π4	戻りつつあります	-		と検討していきま	きす。			
	スポーツ交流で	トろばは、区立小	・中学校18校で	スポーツ交流で) ろばの競技によ	っては、参加者数		
	実施しました。延べ参加者数は、徐々に増えてきて			が減少しているところもあり、参加者増に向けた広				
	います。			報活動等が必要と考えます。				
R5	プール一般開放	女は、4年振りの	再開となり、区立	プール一般開放については、実施校数、実施日数				
	中学校1校で4日	日間実施しました。	,特に土日に利用	の増に向けて運営方法の検討が必要です。				
	者が多く、混雑回	回避のため、入場	制限を行いまし					
	た。							
	スポーツ交流で	トろばは、区立小	・中学校18校で	スポーツ交流で)ろばは、参加者	数が減少している		
	実施しました。延	Eべ参加者数は、1	涂々に増えてきて	種目もあり、効果	具的な広報活動に [.]	ついて検討してい		
R6	います。			きます。				
No	プール一般開放	女は、区立中学校	1 校で4日間開催	プール一般開放	女については、実活	施校数、実施日数		
	しました。より多	で定した事業実施の	のため、運営方法	を増やす取り組み	みを検討します。			
	を変更しました。							

(3)分野別基本方針③ スポーツの力を活用した地域づくり

ア スポーツを通じた仲間づくりと地域づくり

2-3-ア 親子向けスポーツ教室【再掲】

事業概要

親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに 親しみをもつきっかけづくりの機会とするため、親子スポーツ教室を開催する。

	指標:参加者数(人)							
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	522	535	548 561 575				
実績(D)		522	715	1,188				
	瓦	t果·評価(D·C	;)	次年度に向けた取組等(A) 新型コロナウイルス感染症に鑑み、参加者を制限				
	ジャイアンツァ	7カデミーやトヨ:	タヴェルブリッツ	新型コロナウィ	「ルス感染症に鑑っ	み、参加者を制限		
R4	等、計6の協働団	団体と親子教室を記	実施し、参加者ア	した事業もあり、	落選者が多数と	なってしまいまし		
114	ンケートでは9害	別以上から肯定的な	な評価をいただけ	た。多くの方が参加できるよう、事業を計画してい				
	ました。			きます。				
	ジャイアンツフ	7カデミーやトヨ:	タヴェルブリッツ	コロナ禍前の規	見模で事業を実施	し、多くの方に参		
R5	等、計6の協働団	団体と親子及び家族	灰向け事業を実施	加していただきました。より多くの方が参加できる				
110	し、参加者アング	rートでは9割以 ₋	上から肯定的な評	よう企画、計画をしていきます。				
	価をいただけまし	<i>、た</i> 。						
	地域のスポーツ	/団体等と連携し、	各種親子向けス	より満足度の高	高い教室内容とな.	るよう、運営団体		
R6	ポーツ教室を実施	もし、親子でスポ-	-ツに親しみを持	と連携を図り、教室の企画・運営を行っていきま				
110	つきっかけづくり)の機会を提供する	ることができまし	す。				
	た。							

2-3-ア スポ・レクひろば

事業概要

知的障害のある方を主な対象に各種スポーツ・レクリエーション活動を行い、楽しみながら体を動かすことを通じて、仲間づくりの機会とスポーツへのきっかけづくりの場を提供します。

			指標:参加者	首数(人)				
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	245	251	257	263	270		
	実績(D)	245	395	238				
	万	t果∙評価(D∙C	()	次年度に向けた取組等(A)				
	令和3年度は4	1回の開催であった	たが、令和4年度	令和4年度は4	1区合同レクリエ	ーションがリモー		
	は一度も中止する	ることがなく全12	回実施できまし	ト形式での交流で	ごとどまりました。	,今後は対面での		
R4	た。また、リゾー	-ト&スポーツ専[門学校の学生がボ	交流を図り、参加	口者が様々な人と?	交流できる機会を		
	ランティアとして	て運営に加わり、	参加者と交流を深	設けていきます。				
	めました。							
	スタッフやボラ	ランティアの学生	及び他区の参加者	対象者の拡大を	と図るとともに、	令和4年度から継		
	との交流により、	参加者の積極的	な社会参画に繋げ	続での参加者につ	ついては、安心し [・]	て参加してもらえ		
R5	ることができまし	した。また、ボラ [†]	ンティアの学生の	るよう、環境の変	変化を十分に考慮	した運営を心がけ		
	知見が広がること	こで、障害者スポ・	-ツを支える人材	ます。				
	育成に寄与するご	ことができました。	,					
	令和6年度から		運営を担うことと	引き続き運営事	事業者と密に連携:			
	なり、これまでと	と異なったプログ [・]	ラムとなりました	り参加者の満足原	と が高い事業内容	となるよう、事業		
R6	が、参加者が楽し	しく参加できるよ	う運営事業者及び	を企画・運営して	ていきます。			
	ボランティアと選	重携を図りながら	事業を実施するこ					
	とができました。							

イ プロスポーツ団体等との連携・協働

2-3-イ 地域のスポーツ団体等との連携による事業展開【再掲】

事業概要

区内に拠点をもつスポーツ団体等との協力・連携により、スポーツ体験教室や大会等を実施します。

			长無 ***	₩ ₩ / / / L \		
			指標:連携事		A	A === ===
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標(P)	10	15	18	21	23
	実績(D)	10	15	16		
	厄	战果∙評価(D•C	;)	次年度に向けた取組等(A)		
	サッカーW杯でに	はJFAと共同でパブ	リックビューイン	関係団体との協	協働を広く発信し、	連携を強化しな
	グを主催し、区一	丸となって大会を盛	り上げました。そ	がら事業を実施し	、区民にとって	魅力的で参加しや
R4	の他、読売巨人軍	やアルバルク東京、	東京ユナイテッド	すいスポーツ事業	美を計画・実施し ⁻	ていきます。
	FCといった関係団		≷施し、多くの区			
	民に参加いただき	ました。				
		びFIBAW杯ではト≡		関係団体と連携	鬢を強化しながら₹	事業を実施し、事
		との協力・連携によ		業の発信力を高ぬ	5、より多くの区]	民に参加してもら
R5		催し、区一丸となっ		えるスポーツ事業	美を計画・実施し ⁻	ていきます。
		読売巨人軍や東京ユ				
		の協働事業も実施し	、多くの区民に参			
	加いただきました。		リバリカ市市ト	コキケキサルボの	マギ ツ田仕笠	レわ ・ 古性 た 図
		ンピックでは、ア				と協力・連携を図
	, ,			りながら、より多		
				だけるよう事業を	計画・実施してい	ハきます。
R6	代表を応援しまし					
	体等と各種スポー	-ツ教室等を実施	し、多くの区民の			
	方にスポーツ体懸	倹の機会を提供し	ました。			

2-③-イ Bunkyo Sports Park

事業概要

メジャーなスポーツに加えパラスポーツやアーバンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース ステージイベントを実施します

ツ体験ブース、ステージイベントを実施します。									
	指標:参加者延べ人数(人)								
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
目標(P)				8,674	8,954	9,233			
実績(D) 8,394			11,253						
成果·評価(D·C)			次年度に向けた取組等(A)						
R5	地域のスポーツ団体や大学等と協力してブース運営やステージイベントを行い、新規事業でありながら、延べ8,000人以上の来場がありました。事前申込不要、対象者を「どなたでも」とすることで、よりインクルーシブ要素のあるイベントにすることができました。			素を取り入れ、スポーツ分野におけるSDGs及びインクルーシブ概念を普及するほか、デジタル技術を					
R6	といった定番スポ 等のパラスポーツ なスポーツを体験 スポーツ分野にお	ソ団体等と連携し、 ポーツから、ボッミ ソ、アーバンスポー 検できる機会を提係 おけるSDGsの概念 作年度を大幅に超え	チャ、ブレイキン ーツといった多様 共するとともに、 なき普及しまし	ポーツ分野におりを普及していくと フリンピックが見 んだ各種競技体	けるSDGs及びイン こともに、次年度に 東京で開催される	は世界陸上及びデ ため、それらに因 することで、大会			

ウ 東京2020大会におけるレガシーの継承と活用

2-3-ウ 障害者スポーツ体験教室

事業概要

障害のある方が気軽にスポーツ活動に参加できる機会とし、様々な障害者スポーツの種目を体験できる教室を開催します。

	指標:参加者数(人)							
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	1,069	1,100	1,120	1,150	1,175		
	実績(D) 1,069 2,332			2,342				
	Fi.	t果·評価(D·C	;)	次年度	をに向けた取組	等(A)		
	東京2020大会の	の終了後も、ボッ	チャやブライン	まつり等の場で	で継続的にパラス	ポーツに触れ、楽		
	ドサッカー等パラ	ラスポーツを知る	教室事業や体験会	しいと思える機会	会を区民に提供す	ることにより、パ		
R4	を行い、多くの②	区民に参加いただる	きました。	ラスポーツの認知	口度を高めます。			
114	また、障害のある方でも気軽に参加できるよう内			年齢、性別、個	本力、障害の有無(に左右されること		
	容を工夫した上で、区民誰もが安心して一緒に参加			なく、誰でも参加できるインクルーシブ要素を取り				
	できるイベントを実施しました。			入れたスポーツ 事業を、今後展開します。				
	ユニバーサルス	スポーツフェスタ	や、花の五大まつ	障害のある方で	でも安心して応募	・参加してもらえ		
	りでのボッチャク	▲験ブースの設置∜	等により、より多					
R5	くのパラスポーツ	ソを体験できる機会	会を提供し、パラ	運営方法を工夫します。				
	スポーツの認知度を高めることができました。			また、誰もが参加できる参加者目線でのインク				
				ルーシブスポーツ	/事業を実施しま ⁻	す。		
	パラスポーツを	本験会やニュース ₹	ポーツ大会などに	区内のまつり会	会場でのボッチャ作	本験ブースの設置		
	おいて、年齢や性	生別、障害の有無質	等に関わらず誰も	等を行い、多くの)区民がパラスポ-	-ツに触れること		
R6	がスポーツを体懸	検できる機会を提f	共し、パラスポー	のできる機会を提供します。あわせて障害がある人				
	ツの認知度を高ぬ	りました。		が安心して事業に	こ参加できるよう	手話通訳者の手配		
				について積極的に	二案内します。			

2-③-ウ Bunkyo Sports Park

事業概要

メジャーなスポーツに加えパラスポーツやアーバンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース ステージイベントを実施します

ツ体層	ツ体験ブース、ステージイベントを実施します。							
	指標:参加者延べ人数(人)							
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	/		8,674	8,954	9,233		
	実績(D)	$\bigg/$	8,394	11,253				
	瓦	t果·評価(D·C	;)	次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	.等(A)		
	地域のスポーツ	/団体や大学等と情	協力してブース運	誰もが安心して	てスポーツに触れる	ることができる要		
	営やステージイへ	ベントを行い、新規	見事業でありなが	素を取り入れ、ス	スポーツ分野におり	けるSDGs及びイ		
R5	ら、延べ8,000人以上の来場がありました。事前申			ンクルーシブ概念を普及するほか、デジタル技術を				
110	込不要、対象者を	と「どなたでも」 る	とすることで、よ	活用した競技体験	倹等によるスポー `	ツ分野でのDXの		
	りインクルーシフ	ず要素のあるイベン	ントにすることが	推進等を図ってし	いきます。			
	できました。							
	地域のスポーツ	/団体等と連携し、	野球やサッカー	引き続き地域の	Dスポーツ団体等。	と連携を図り、ス		
	といった定番スオ	^ペ ーツから、ボッラ	チャ、ブレイキン	ポーツ分野におけ	けるSDGs及びイン	クルーシブ概念		
	等のパラスポーツ	/、アーバンスポ-	-ツといった多様	を普及していくと	こともに、次年度に	は世界陸上及びデ		
R6	なスポーツを体影	食できる機会を提信	共するとともに、	フリンピックがす	東京で開催される?	ため、それらに因		
	スポーツ分野にお	sけるSDGsの概念	を普及しまし	んだ各種競技体験	食等の機会を提供 ⁻	することで、大会		
	た。来場者は、昨	F年度を大幅に超 <i>に</i>	える延べ11,253	のレガシー継承や	う気運醸成を図って	ていきます。		
	人でした。							

エ 人材・組織(町会・地域クラブ)との連携・協働

2-3-エ 地域スポーツ団体の支援・育成【再掲】

事業概要

地域・生涯スポーツの普及・発展のため、各種区民大会や教室事業等の開催を委託し、自主的なスポーツ 活動を行う団体を育成します。

指標・インクルー	シブ推進事業補助金申請件数(件)※令和4年度のみ「REスタート補	助金 ι
コロ1示・コン ノノレ	ノノ 1年2年7末 1819 1 业 〒 181 1 7 数 1 1 7 / 2 7 7 14 4 1 2 0 0 7 1 7 1 7 7 7 1 7 1 7	ᄢ피

_	11 旅・12 776 27 能と子木間の並上語目 数(日)がは神子及のの小にハグー間の並						
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標(P)	11	20	20	20	20	
実績(D) 11 10			10	10			
	成果·評価(D·C)			次年度に向けた取組等(A)			
	REスタート補具	助金の申請件数が	11件ありまし	REスタート補具	助金の反省を踏ま	えて、周知活動	
R4	た。各スポーツ事業の再建へ貢献しました。			に力を入れ目標以上の申請となるよう取り組みま			
				す。			
	インクルーシブスポーツ推進事業等補助金につい			多くの団体が補助制度を活用できるよう、制度の			
	て、10団体からの	の申請があり、14	事業で制度が活	趣旨や申請方法等、周知活動に力を入れます。			
R5	用されました。st	F齢、性別、障害(の有無を問わず誰				
	もが参加できる~	インクルーシブ要	素を含んだ事業を				
	増やすきっかけて	づくりとなりました	t				
	インクルーシス	ブスポーツ推進事業	業等補助金の申請	要綱改正により、より活用しやすい制度にすると			
R6	団体数は9団体で	でしたが、事業数に	は17事業に増加	ともに、SNSやホームページなどの広報を工夫して			
KO	しました。また、	新たな団体からの	の申請もありまし	周知を図り、実績値の増加を目指します。			
	た。						

2-3-エ スポーツ指導者地域派遣

事業概要

区民の自主的なスポーツ・レクリエーション活動を促進するため、区内スポーツ団体や P T A 等の地域に対し、スポーツ指導者を派遣し、支援します。

	指標:派遣者数(人)								
		令和4年度	令和5年度	度 令和6年度 令和7年度 令和8年度					
	目標(P)	85	100	115 125 135					
	実績(D)	85	79	114					
	成果·評価(D·C)			次年度	度に向けた取組	[等(A)			
	コロナウイルス	ス感染症が終息し	つつあり、地域の	申請があった種	重目に偏りがある	ため、その他の種			
R4	クラブが活動を再開し始めました。それに伴い申請			目の申請も増加す	するよう周知に取	り組みます。			
Π4	件数が増加し、クラブ活動の補助を行いました。								
	令和4年度より	令和4年度よりスポーツ指導者の派遣人数は減少			派遣人数については減少しているため、より多く				
R5	していますが、汎	派遣の件数は増加	(令和4年度38	の団体利用があるよう周知に取り組みます。					
Ko	件、令和5年度5	件、令和5年度53件)しており、多くの団体の利							
	用がありました。	用がありました。							
	令和5年度によ	とべ派遣者登録数	及び派遣件数がと	制度をより多く	くの区民に知って	もらうため、区			
R6	もに増加し、区内	内のスポーツ・レ	クリエーション活	ホームページの工夫や事業でのチラシ配布等、周知					
	動の活発化を図る	ることができました	た。	を図ります。					

2-3-I Bunkyo Sports Park

事業概要

メジャーなスポーツに加えパラスポーツやアーバンスポーツなどの様々なスポーツや運動を体験できる場の提供として、区民のスポーツ振興を図るとともに、多様性への理解を促進することを目的に、各種スポーツ体験ブース、ステージイベントを実施します。

	指標:参加者延べ人数(人)						
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標(P)			8,674	8,954	9,233	
実績(D) 8,394			8,394	11,253			
成果·評価(D·C)			3)	次年度	まに向けた取組 かんかん こうかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん	[等(A)	
	地域のスポーツ	ツ団体や大学等と†	劦力してブース運	誰もが安心して	てスポーツに触れ	ることができる要	
	営やステージイへ	ベントを行い、新規	規事業でありなが	素を取り入れ、ス	スポーツ分野にお	けるSDGs及びイ	
-	ら、延べ8,000人以上の来場がありました。事前申			ンクルーシブ概念を普及するほか、デジタル技術を			
R5	込不要、対象者を	を「どなたでも」。	とすることで、よ	活用した競技体験等によるスポーツ分野でのDXの			
	りインクルーシブ要素のあるイベントにすることが 推進等を図っていきます。						
	できました。						
	地域のスポーツ	ソ団体等と連携し、	野球やサッカー	引き続き地域の)スポーツ団体等	と連携を図り、ス	
	といった定番スポ	ぱーツから、ボッ ⁻	チャ、ブレイキン	ポーツ分野におけるSDGs及びインクルーシブ概念			
	等のパラスポーツ	ソ、アーバンスポ-	-ツといった多様	を普及していくとともに、次年度は世界陸上及びデ			
R6	なスポーツを体懸	倹できる機会を提 値	供するとともに、	フリンピックが東京で開催されるため、それらに因			
	スポーツ分野にお	っけるSDGsの概念	を普及しまし	んだ各種競技体験等の機会を提供することで、大会			
	た。来場者は、阝	作年度を大幅に超れ	える延べ11,253	のレガシー継承や気運醸成を図っていきます。			
	人でした。						

オ スポーツの魅力を体感する機会の充実

2-3-オ 初心者向けスポーツ教室【再掲】

事業概要

区民の健康の維持・増進及びスポーツを続けるきっかけづくりの機会として、気軽にスポーツを体験できる各種初心者向けスポーツ教室を開催します。

	指標:参加者数(人)							
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	371	380	390	400	408		
	実績(D)	371	401	432				
	Į.	t果·評価(D·C	;)	次年度	をに向けた取組	等(A)		
	個人で簡単に如	台めることができれ	ないスポーツにつ	初心者向けスポ	ポーツ教室を受講	した後も、引き続		
R4	いて、初心者でも	5気軽に体験でき	る機会を作ること	きスポーツを継続	売できるよう、実症	施団体等と継続方		
114	ができました。			法等について協調	義します。			
	種目:アーチェリー、合気道、弓道							
	初めての競技に挑戦するきっかけづくりとして、			始めたスポーツを定着させる取り組みの展開、新				
	一人では中々始めることができない3種目について			しいスポーツを始める機会の提供に引き続き取り組				
R5	初心者向け教室を	と実施し、たくさん	んの方のお申込	んでまいります。				
	み、ご参加をいた	み、ご参加をいただくことができました。						
	種目:アーチェリ	リー、合気道、弓泊	直					
	これまで開催し	していた3種目にき	テニスを加え、初	参加人数を増む	っす方法を検討す?	るとともに、新し		
	めての競技に挑戦	践するきっかけづく	くりとして、一人	いスポーツを始め	りる機会の提供と、	スポーツを継続		
R6	では中々始めるこ	ことができない4種	目について初心	できる取り組みを引き続き行ってまいります。				
	者向け教室を実施	色しました。						
	種目:アーチェ!	リー、合気道、弓流	道、テニス					

2-3-オ 小・中学生向けスポーツ教室【再掲】

事業概要

子どもたちの心身の健全な育成とジュニアスポーツの振興を図るため、水泳、ローラースポーツ等をはじめとした各種スポーツ教室を開催します。

	指標:参加者数(人)									
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	目標(P)	158	162	166	170	174				
	実績(D) 158 117			156						
	成果·評価(D·C)			次年度	とに向けた取組	等(A)				
	文京区ローラー	-スポーツ連盟、こ	文京区少年サッ	協働団体と連携	- ・相談を密にし、	その他競技のス				
	カー連盟・JFAと	協働でジュニア向]けスポーツ教室	ポーツ教室が実施	色できないか検討	します。				
R4	を実施しました。	初心者も楽しめる	る教室とし、ス							
1	ポーツをはじめるきっかけづくりとなりました。									
		様、募集人数を上[は、1日の教室を				
	したが、事業近く	くになり体調不良領	等でのキャンセル	2回開催すること	こにより定員を増っ	やし、より多くの				
R5	により参加者が派	載少しました。初,	心者にも楽しむこ	ニーズに応えられ	いるようにします。	,また、事前キャ				
	とができ、満足原	度の高い教室とな	りました。	ンセルの対応とし	ンては、繰り上げ :	当選等を検討しま				
				す。						
	ローラースポー	-ツ教室及びジュニ	ニアサッカー教室	引き続き運営協	協力団体と密に連打	携を図り、満足度				
R6	ともに、運営協力	り団体と密に連携を	を図り、初心者で	の高いスポーツ都	枚室となるよう実施	施していきます。				
NO	も楽しく体験でき	きるよう教室を実施	施しました。							
						_				

第5章 文化芸術分野の点検・評価

1. 文化芸術分野の評価

文京区アカデミー推進協議会委員(学識経験者)
文化芸術分科会座長 垣内 恵美子

2. 主要事業一覧

ア だれもが文化芸術を身近に営賃できる機会の事実 マ		別基本方針①だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づく る(鑑賞・観覧等)】	アカデミー推進計画	総合戦略	重点
56	アだ	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー			
	55	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	0	0	
57	56	事業提携楽団によるコンサート	0	0	
58 文の京コミュニティコンサート	イ多	様な手法による文化芸術の鑑賞機会の提供			
59 朗読コンテスト	57	小・中学生のための出前コンサート	0	0	
60 シビックコンサート 61 夜能動画配信事業	58	文の京コミュニティコンサート	0	0	
61 夜能動画配信事業 ウ 活動につながる契機としての質賞機会の提供 62 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施[再掲]	59	朗読コンテスト	0	0	
ウ 活動につながる契機としての軽質機会の提供 ○ <td>60</td> <td>シビックコンサート</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td>	60	シビックコンサート	0	0	
62 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施[再掲]	61	夜能動画配信事業	0	0	
	ウ活	動につながる契機としての鑑賞機会の提供			
7/7/72-推進計画 2/6 和時 2/	62	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】	0	0	
63 かるたの街文京を発信!【再掲】			アカデミー推進計画	総合戦略	重点
64 記念日イベント 65 朗読コンテスト【再掲】	ア文	化芸術活動を楽しむことのできる機会の充実			
65 朗読コンテスト【再掲】	63	かるたの街文京を発信!【再掲】	0	0	0
イ 市民団体等の活動に対する支援の充実 66 社会教育関係団体登録制度による活動支援(再掲) ウ 文化芸術活動の場の提供 67 舞台芸術創造事業(大ホール) 68 舞台芸術創造事業(小ホール) 分野別基本方針③文化芸術を支える人材の育成支援の充実[ささえる(普及・継承・指導等)] ア 次代を担う層が文化芸術への関心をもつきっかけとなる機会の充実 69 親子向けコンサート 70 観客参加型公演 71 かるたの街文京を発信!【再掲】	64	記念日イベント	0		
66 社会教育関係団体登録制度による活動支援【再掲】 ○	65	朗読コンテスト【再掲】	0	0	
ウ 文化芸術活動の場の提供 ○	イ市	民団体等の活動に対する支援の充実			
67 舞台芸術創造事業(大ホール)	66	社会教育関係団体登録制度による活動支援【再掲】	0		
68 舞台芸術創造事業(小ホール)	ウ文	化芸術活動の場の提供			
分野別基本方針③文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・ 継承・指導等)】 ア 次代を担う層が文化芸術への関心をもつきっかけとなる機会の充実 69 親子向けコンサート	67	舞台芸術創造事業(大ホール)	0	0	
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	68	舞台芸術創造事業(小ホール)	0	0	
69 親子向けコンサート 70 観客参加型公演 71 かるたの街文京を発信!【再掲】 ○ ○ ○ イ 文化芸術を支え、継承し、伝える担い手の育成 72 子ども俳句大会 73 楽器演奏指導 74 文京ふるさと歴史館収蔵品展 75 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			アカデミー推進計画	総合戦略	重点
70 観客参加型公演 ○ 71 かるたの街文京を発信!【再掲】 ○ 72 子ども俳句大会 ○ 73 楽器演奏指導 ○ 74 文京ふるさと歴史館収蔵品展 ○ 75 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】 ○ 76 I don't know(能)…NO(能)problem!~みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト~ ○ ウ 多様な主体との連携・協力による文化資源の継承 ○ 77 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】 ○	ア次	代を担う層が文化芸術への関心をもつきっかけとなる機会の充実			
71 かるたの街文京を発信!【再掲】 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	69	親子向けコンサート	0	0	
イ 文化芸術を支え、継承し、伝える担い手の育成 72 子ども俳句大会 O 73 楽器演奏指導 O 74 文京ふるさと歴史館収蔵品展 O 75 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】 O 76 I don't know(能)…NO(能)problem!~みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト~ O ウ 多様な主体との連携・協力による文化資源の継承 O 77 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】 O	70	観客参加型公演	0		
72 子ども俳句大会 ○ 73 楽器演奏指導 ○ 74 文京ふるさと歴史館収蔵品展 ○ 75 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】 ○ 76 I don't know(能)…NO(能)problem!~みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト~ ○ ウ 多様な主体との連携・協力による文化資源の継承 ○ 77 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】 ○	71	かるたの街文京を発信!【再掲】	0	0	0
73 楽器演奏指導 ○ 74 文京ふるさと歴史館収蔵品展 ○ 75 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】 ○ 76 I don't know(能)…NO(能)problem!~みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト~ ○ ウ 多様な主体との連携・協力による文化資源の継承 ○ 77 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】 ○	イ文	化芸術を支え、継承し、伝える担い手の育成			
74 文京ふるさと歴史館収蔵品展 ○ ○ 75 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】 ○ ○ 76 I don't know(能)…NO(能)problem!~みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト~ ○ ○ ウ 多様な主体との連携・協力による文化資源の継承 ○ ○ 77 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】 ○ ○	72	子ども俳句大会	0		
75 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	73	楽器演奏指導	0		
76 I don't know(能)…NO(能)problem!~みんなで親しむ「能(Noh)プロジ ェクト~ ○ ウ 多様な主体との連携・協力による文化資源の継承 ○ 77 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】 ○	74	文京ふるさと歴史館収蔵品展	0	0	
	75	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】	0	0	
77 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】 0 0	76		0	0	
77 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】 0 0	ウ多				
			0	0	
	78		0	0	0

79	吹奏楽アンサンブルコンテスト	0	0		
分野別	分野別基本方針④地域の資源を活かしたまちづくりの推進 アカデミー推進計画 総合戦略				
ア文	化資源を活用した事業の推進				
80	「文の京文化発信プロジェクト」	0	0		
イ特	色ある文化資源の魅力の確認や再発見とその発信				
81	文の京ミュージアムネットワーク	0	0		
82	文京ふるさと歴史館特別展	0	0		
83	森鷗外記念館特別展・コレクション企画	0			
84	文の京ゆかりの文化人顕彰事業	0	0		
ウ地	域団体や他分野の団体等、多様な主体と連携したまちづくりの推進				
85	文京ふるさと歴史館友の会の支援	0			
86	「文の京文化発信プロジェクト」【再掲】	0	0		

[※]総合戦略の欄は、「文の京」総合戦略(令和6年度~令和9年度)に掲載されている事業。

[※]重点の欄は、令和6年度に文京区の重点施策として選定された事業。

3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況

(1)分野別基本方針① だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる(鑑賞・観覧等)】

指標	現物	目標値	
1年間に文化芸術を鑑賞した人の割合	81.2% (令和元年度)	87.9% (令和7年度)	83.0%

指標	現状値	目標値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値
文化事業への参	22,595 人	25,000	29,990	20,556	19,383
加者•来場者数	(令和元年度)	人	人	人	人

【分野別基本方針①だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる(鑑賞・観覧等)】の状況】

だれもが文化芸術を身近に鑑賞できる機会の充実では、文化・芸術に親しむ発表会、大会等を開催しましたが、秋の文化祭開催時期に衆議院解散による総選挙が行われたため、期間を短縮するなどの対応を取った影響もあり、年度目標を達成することができませんでした。しかし、単年度事業では「文京区×ちはやふるの世界展」を開催し、区内外に区の文化資源であるかるたを身近に感じられるよう競技かるた体験等の機会を提供し、延べ2,129人が来場しました。なお、障害者の芸術活動発表の場「Bunkyo Brut」には、前年同様の来訪者がありました。また事業提携楽団によるコンサートでは、新たな広報媒体やSNSを駆使した活発な広報活動を行ったことで来場者が増え、目標値を達成することができました。

多様な手法による文化芸術の鑑賞機会の提供では、小・中学生のためのプロによる生演奏の出前コンサート開催後、感想や御礼を直接演奏者に伝える場を用意し、モチベーション向上に繋げました。文の京コミュニティコンサートでは、ミューズネット加盟施設の野球殿堂博物館からのリクエストで古関裕而氏の野球殿堂入りを記念したコンサートを行い、施設の特色と親和性の高い演奏会を提供できました。次に、跡見学園女子大学と連携した「朗読コンテスト」では、友好交流都市協定締結5周年の金沢市ゆかりの作家の作品を課題としましたが、開催日が連休の中日となり観覧者が減少したため、大学とより良い方法について打ち合わせを行います。また夜能動画配信事業では、能楽が初めての方、お子様にも楽しんで鑑賞できるように月ごとに趣向を変えた内容で計4番組を提供し、837人の応募がありました。

活動につながる契機としての鑑賞機会の提供では、秋の文化祭のほか、各種つどい・大会事業、企画展等の展示や能楽及びかるた関係事業等を実施しましたが、目標値を超えることができなかったため、目標達成に向けた工夫や事業周知を行う必要があります。

引き続き、性別、年齢、障害の有無に関わらず、だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくりを推進します。

【アカデミー推進協議会の意見】 ◎ ◎ ◎ ◎

(2)分野別基本方針② だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する(活動・参加等)】

指標	現物	現状値	
1年間に文化芸術活動をした人の割合	32.4%	34.3%	40.0%
	(令和元年度)	(令和7年度)	10.070

【分野別基本方針② だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する(活動・参加等)】の 状況】

文化芸術を楽しむことのできる機会の充実では、「かるたの街文京を発信!」として文京区にゆかりのある小倉百人一首かるたの魅力を発信する事業を展開しました。競技かるたトップ選手の2人が戦う名人・クイーンドリームマッチは多くの観覧申込に加えて、試合をYouTubeチャンネルで生配信したほか、大学生大会のアゼリアカップでは、16校が参加しました。講師派遣では、小中学校に加え、児童館と育成室にも対象を拡充しました。また、森鷗外に関する記念日イベントでは、今年度の鷗外の誕生日が日曜日にあたり、例年より大幅に森鷗外記念館の来場者が増えました。

市民団体等の活動に対する支援の充実では、社会教育関係団体登録制度による活動支援を行い、登録団体からの実績報告書の提出により、活動内容を正確に把握し、登録団体名簿やホームページの更新を行ったことで、区民の自主的な活動参加を促すことができました。引き続き、継続した区民の自主的活動の促進を図ります。

文化芸術活動の場の提供では、舞台芸術創造事業において優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会の提供において、大ホールでは歌劇「トゥーランドット」の公演により区民が芸術に触れる機会の創出を行い、公演券売率100%となり、区民参加事業の成果を多くの観客に披露できました。小ホールでは区民を対象に演劇のオーディションを行い、合格者はワークショップや長期間の稽古を積む中で団結力が高まり、それが芝居に良い影響をもたらし、見応えのある作品となりました。

これらの取組を進め、だれもが気軽にそれぞれの興味や関心、求めるレベルに応じた文化芸術活動を行うことができる環境づくりを推進していきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

0

0

 \bigcirc

(3)分野別基本方針③ 文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・継承・指導等)】

指標	現状値	目標値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値
若年層(20 歳未満)の文 化祭・各種つどい・大会へ の出品及び出演者数	- (令和元年度)	200 人	228 人	219 人	130 人
区文化事業への若年層 (20 歳未満)の参加者 数	- (令和元年度)	1,500 人	1,006 人	1,995 人	2,455 人

【分野別基本方針③ 文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・継承・指導等)】の状況】

次代を担う層が文化芸術への関心をもつきっかけとなる機会の充実では、親子向けコンサートにおいて、実施時期がひなまつりの直前の事業では、その音楽や春の曲をメインに季節感あふれる内容で実施しました。他では、子どもたちが飽きることなく公演を楽しめるよう、前半に事業提携を結んでいる東京フィルハーモニー交響楽団と連携しオリジナルの音楽劇を上演し、後半に音楽コンサートを行いました。また観客参加型公演では、事業提携を結ぶ太鼓芸能集団鼓童の協力により、ワークショップや迫力ある太鼓演奏公演を鑑賞しました。今後も提携団体と連携し、より多くの観客が太鼓の魅力を知るきっかけとなる事業の実施を計画していきます。

文化芸術を支え、継承し、伝える担い手の育成では、区内中学校在学生を対象に子ども俳句大会を開催し、直接的に周知したことで、中学生ならではの力作が多数寄せられました。特選・入選句を財団ホームページ及び歌壇・俳壇作品集に掲載し、特選句は財団広報誌スクエア及び区報ぶんきょうに掲載しました。楽器演奏指導では、事業提携を結ぶシエナ・ウィンド・オーケストラ団員による吹奏楽部員対象の個別演奏指導を全区立中学校に3回ずつ実施し、生徒のみならず、顧問教員からも大変好評でした。また、子どもたちに興味をもってもらえるような能楽の鑑賞と体験ができる事業「I don't know(能)…NO(能) problem! ~ みんなで親しむ能(Noh)プロジェクト~」では、金沢市友好交流都市提携5周年記念事業として、加賀宝生の能楽師の登壇や、前田家から宝生会に贈られた能装束等をロビーに展示しました。

多様な主体との連携・協力による文化資源の継承では、吹奏楽アンサンブルコンテストの中学生部門に多くの応募があり、抽選となりました。昨年度、小学生の学校行事と重なってしまったため事前に日程調整を図りましたが、今年度は高校生の期末試験時期と重なったことから、目標値に達しませんでした。出演団体は、プロによる事前レッスンの他、本演奏直後に講評を受けられることから、非常に満足度の高い事業となっています。幅広い世代の部門があることから実施時期の設定は難しいですが、多くの学校が参加できるよう努力していきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

- \odot
- 0
- 0

(4)分野別基本方針④ 地域の資源を活かしたまちづくりの推進

指標	現物	目標値	
文京ふるさと歴史館と森鷗外記念館	-	63.8%	70.0%
の区民認知度	(令和元年度)	(令和7年度)	10.0%
文京ふるさと歴史館と森鷗外記念館	82.3%	96.0%	90.0%
来館者の展示に関する満足度	(令和3年度)	(令和7年度)	90.0%

【分野別基本方針④ 地域の資源を活かしたまちづくりの推進の状況】

文化資源を活用した事業の推進では、文の京文化発信プロジェクトにおいて、目標値の各事業の参加者数合計を達成することができました。今年度は津和野町東京事務所開所10周年を記念して石見神楽公演を実施しました。また、能プロジェクトでは金沢市友好交流都市提携5周年記念事業として、加賀宝生の能楽師の登壇や、前田家から宝生会に贈られた能装束等をロビーに展示しました。引き続き交流自治体との協働により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、区をアピールしていきます。

特色ある文化資源の魅力の確認や再発見とその発信では、施設改修工事のために昨年度は中止した「文京ミューズフェスタ」を開催し、446人が来場しました。今後も、区の貴重な文化資源に触れられる機会を提供するために、開催期間を増やすことを検討します。文京ふるさと歴史館では、生活に身近な水道の歴史をテーマに特別展を開催しました。類似のテーマを取り扱った近隣博物館と合同実施したスタンプラリーの効果もあり、入館者数が増加しました。森鷗外記念館特別展・コレクション展においては、入館者の展示に関しての満足度は99%となりました。今後も幅広く関心を持たれるテーマ設定と展示内容の充実を目指します。

地域団体や他分野の団体等、多様な主体と連携したまちづくりの推進では、文京ふるさと歴史館友の会の自主的な活動を支援し、区の史跡めぐり事業への協力を受けました。また、まち案内を希望する団体とガイドとの橋渡しをしました。今後も、情報共有をすることにより、継続して友の会の活動支援を行います。

【アカデミー推進協議会の意見】

- 0
- 0
- \odot

3.文化芸術 (No.50~81)

4. 主要事業の成果に対する評価

(1)分野別基本方針① だれもが、いつでも、どこでも文化芸術を鑑賞できる環境づくり【みる(鑑賞・観覧等)】

ア だれもが文化芸術を身近に鑑賞できる機会の充実

3-①-ア 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施

事業概要

文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞 道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊)、企画展等の展示や能楽及びかるた関係事業等を実施します。

	指標:事業参加者数の合計(人)							
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	14,340	19,120	23,900	23,900	25,000		
	実績(D) 29,990 20,556			19,383				
	月	战果∙評価(D•C	;)	次年度	とに向けた取組	等(A)		
	各事業の参加者	首数の合計を成果!	指標としていま	令和5年度は参	参加者数をコロナ	禍前の8割の水		
	す。コロナ禍で再開できない事業もありました			準に戻すことを目	目標とします。全[国藩校サミット		
	が、コロナ禍前の2年間(平成30年、令和元年)			や文の京ミュース	ズネット加入施設			
D4	の平均値23,900丿	への6割の14,340	人を目標としま	タンプラリーなど	ごの新規事業に取	り組み、周知活		
R4	した。			動にも力を入れ、	文化事業への参え	加者を増やしま		
	令和4年度単年	E度事業「文の京	ミューズネット	す。				
	施設入館料助成」	をのべ16,398人:	が利用したこと					
	もあり、目標を力	てきく超える実績	となりました。					
	各事業の参加者	6数合計を成果指	票としていま	定例事業である文化祭や伝統芸能の発表会を開				
	す。令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の			催するとともに、かるた関係の展示や体験イベン				
	水準に戻すことを目標とし、達成できました。			トを開催して区の文化資源であるかるたの区民へ				
	単年度事業の「全国藩校サミット文京大会」や			の定着及び若年層の文化事業への参加を促しま				
R5	企画展等各種記念	②事業では、区民(に江戸時代の文	す。障害者の芸術	が活動発表の場で?	ある「Bunkyo		
	化や教育にふれる	6機会を提供し、	多くの参加者が	Brut」も開催3年	F目を迎え、グッス	ズの販売等内容		
	ありました。区内	n障害者施設で制作	作された絵画等	をさらに充実させ	せていきます。			
	を展示した「Bur	nkyo Brut」にはヒ	作年開催時(462					
	人)の約2倍とな	ょる959人の観覧者	が訪れました。					
	各事業の参加者	が数合計を成果指	漂としています	令和7年度は、	謎解きとかるた	を組み合わせた		
	が、令和6年度は目標を超えることができません			体験イベントの実施、児童館等へのかるた講師派				
	でした。			遣を行い、若年層の認知度向上を図ります。				
		はやふるの世界展_		また、障害者による文化芸術活動のさらなる活				
R6	内外に区の文化資			性化を目指すため、有識者が厳選した作品の展示				
	れるよう競技かる		を提供し、延べ	及びギャラリートーク(作品解説)を行い、観覧				
	2,129人が来場し			を楽しみながら作品や障害者に対する理解を深め				
)芸術活動発表の		る展示を行います	Γ.			
	_	には、前年と同程	屋皮の観覧者が訪					
	れました。							

3-①-ア 事業提携楽団によるコンサート

事業概要

区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結ぶ、東京フィルハーモニー交響楽団及びシエナ・ウインド・オーケストラの協力により文化・芸術の振興を図ります。

	指標:来場者数(人)							
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	1,386	6,179	6,179	6,179	6,179		
	_実績(D)	988	5,739	6,200				
	瓦	^{找果・} 評価(D・C	;)	次年度	まに向けた取組	l等(A)		
	令和4年度は年	F度の途中までシ	ビックホールが	令和5年度、東	東京フィルハーモ	ニー交響楽団に		
	休館していたため	か、シエナ・ウイ:	ンド・オーケス	よるシリーズ公演	寅を再開し、ホー	ル休館前に行っ		
R4	トラによるコンサ	ナートのみ開催し	ました。新型コ	ていたすべてのシ	ノリーズ公演を開	催します。より		
114	ロナウイルスによ	よる入場制限はな	くなったが、休	多くの方々に鑑賞	賞いただけるよう:	効果的な宣伝活		
	館によりシリース	ズ公演が休止した。	ことが影響し目	動を行い、文化・芸術の振興を図ります。				
	標値に届かなかっ	ったと考えます。						
	令和5年度は、	ホールの改修工	事を経て、すべ	シエナ・ウイン	ノド・オーケスト	ラの公演は、		
	ての公演を実施することができました。			「わが青春のポピュラーミュージック」という				
	また、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、			ターゲットを中高年に絞った公演としています				
	昨年度に比べ目標値に近い実績を残すことができ			が、令和5年度は目標値に達していないことか				
R5	ました。特に、響	響きの森クラシッ	ク・シリーズは	ら、ターゲットに見合う広告を打ち、多くの方々				
	セット券の販売が	が順調で、固定客だ	が戻ってきたも	に鑑賞いただけるよう、今まで以上に効果的な宣				
	のと考えます。ただし、指標の目標値に達してい			伝活動を行って行	すくとともにプロ	グラムを工夫		
	ないことからさら	っなる積極的な事	業周知が必要と	し、幅広い世代の方々に鑑賞していただけるよう				
	考えます。			努めてまいります	t.			
	昨年度に引き網	売き、響きの森ク [・]	ラシック・シ	人気の響きの柔	Fクラシックシリ	ーズは、お客様		
	リーズのセット券	ទ 販売が好調だった	たこと、また一	が定着してきたた	こめ、引き続き多	くのお客様にご		
	般発売も多くのお	6客様にお申込み	いただき、シ	鑑賞いただける。	よう、魅力的な公	演を実施してい		
	リーズすべての仏	公演が完売となり	ました。	きます。				
R6	昨年度、券売に	c苦戦した「わが '	青春のポピュ	「わが青春のポピュラーミュージック」は、効				
	ラーミュージック	り」は、新しい広	告媒体への挑戦	果のあった広報媒体を活用するほか、新しい媒体				
	やSNSを駆使した	た活発な広報活動	を行い、令和5	についても果敢に挑戦し、多くの方々の目に触れ				
	年度よりも多くの	Dお客様にご鑑賞U	いただきまし	るよう努力してい	ヽきます。			
	た。							

イ 多様な手法による文化芸術の鑑賞機会の提供

3-①-イ 小・中学生のための出前コンサート

事業概要

子どもたちが身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、区及び(公財)文京アカデミーが事業提携する団体による区立小中学校への出前コンサートを行います。

指標:実施した回数(回)							
_		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標(P)	4	4	4	4	4	
		·	•	•		4	
	実績(D) —	4	4	4		///- / • \	
		战果∙評価(D•C			間に向けた取組		
	アーティスト及	及び開催校の理解	・協力により新	より深い興味・	・関心を持ってい	ただけるよう、	
	型コロナウイルス	ス感染対策を講じ	た上で、区立の	児童・生徒の感想	思や学校の要望に	応じた演奏曲の	
	小・中学校各2枚	交で予定通り開催	しました。プロ	選定や児童・生徒	赴が参加するプロ	グラムを取り入	
R4	のアーティストに	こよる生演奏を初	めて鑑賞する児	れていきます。			
	童・生徒もあり、	担当教諭から高	い評価をいただ				
	きました。						
	令和5年度にお	おいても、区立の	小・中学校各2	引き続き、より)深い興味・関心	を持っていただ	
	校で予定通り開催	崖しました。プロ	のアーティスト	けるよう、児童・生徒の感想や学校の要望に応じ			
R5	による生演奏に触	虫れる機会を提供 [・]	することがで	た演奏曲の選定や児童・生徒が参加するプログラ			
	き、児童・生徒の	つほか、担当教諭:	からも高い評価	ムを取り入れていきます。			
	をいただきました						
	令和6年度にお	おいても、区立の	小・中学校各 2	東京フィルハ-	-モニー交響楽団	出前コンサート	
	校で予定通り開催	崖しました。公演	後に、生徒から	について、小学校側の希望調査で希望校が少ない			
R6	演奏者に対し、原	感想や御礼を直接	云える場を用意	ことから、多くの学校に興味をもっていただける			
	し、演奏者のモチ	チベーション向上	に繋げました。	よう、丁寧な通知文や案内方法を検討します。			

3-①-イ 文の京コミュニティコンサート

事業概要

文京ミューズネット等、区内文化施設において、施設の雰囲気や特長を活かしたミニ・コンサートを行い、音楽等を気軽に楽しむ機会を提供します。

指標:実施した回数(回)							
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標(P)	2	2	2	2	2	
	実績(D)	2	2	2			
	瓦	^{找果・} 評価(D・C	()	次年度	をに向けた取組	l等(A)	
	アーティスト及	ひな森鴎外記念館:	など実施会場の	来場者アンケ-	-ト等を参考に、	出演者の協力を	
	理解・協力により)、新型コロナウ	イルス感染対策	得ながら演奏曲や	海出等を見直し	、より魅力的な	
R4	を講じた上で予算	≧通り開催しまし:	た。区民にとっ	内容としていきま	きす。		
114	て身近な施設にお	らいてプロのアー [・]	ティストの演奏				
	を気軽に楽しむ機	幾会を提供するこ	とができまし				
	た。						
	令和5年度は、	傳通院及び東洋	文庫ミュージア	引き続き、ミ <u>-</u>	ューズネット加盟	施設を中心によ	
	ムにて実施しました。			り身近な施設で開催できるよう努めてまいりま			
	区民にとって身近な施設においてプロのアー			す。また、来場者アンケート等を参考に、施設の			
R5	ティストの演奏を、気軽に楽しむ機会を提供する			意向も確認しながら演奏曲や演出等を検討し、よ			
113	ことができました。特に傳通院の公演では全国藩			り魅力的な内容としていきます。			
	校サミット文京オ			また、会場のキャパシティーによる入場者制限			
	「時代まつり」	当日に行ったこと:	から多くの方に	について検討していきます。			
	足を運んでいたた	ごきました。 					
	令和6年度は、	野球殿堂博物館	及び日中友好会	令和6年度の日	日中友好会館での	コンサートは、	
	館美術館で実施し	-		施設側への配慮と			
	野球殿堂博物館では、古関裕而の野球殿堂入り			申込制としました。このような対応は、事前の打			
	を記念したコンサートを施設側からリクエストさ			ち合わせでしっかりと施設側の要望を聞き取った			
R6	れたため、演奏に			上で行いました。			
110		テットを採用し、フ		次年度につきましても、円滑な事業運行のため			
	和性の高い演奏会		-	にも、事前の打ち合わせをしっかりと行い、施設			
		じた対応をする	,	側のニーズに応えられるよう、努力していきま			
		▶験の質の向上に	つながったと考	す。			
	えています。						

3-①-イ 朗読コンテスト

事業概要

文化人顕彰事業の一環として行うもので、文京ゆかりの作家の作品を課題作として、朗読コンテストを行います。跡見学園女子大学との大学連携により実施します。

_		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	目標(P)	200	200	200	200	200				
	実績(D)	113	126	115						
	月	战果∙評価(D•C	;)	次年度	とに向けた取組 かんかん しゅうしゅう かんしょう かんしょう かんしょ しんしょ しんしょ しんしょ しんしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	等(A)				
	平成24年度から	5年1回開催して	います。令和4年	会場観覧者数は	こついて目標値に	近づくよう、主				
	度は森鷗外没後1	00年記念事業とし	/ て鷗外の作品を	管の跡見学園女子	子大学と詳細に打	ち合わせを行う				
	課題としました。			なかで、会場観覧	[者募集方法、期]	間、周知先につ				
R4	本選:11月13日	出場者:17人	観覧者:113人	いて工夫します。						
	会場:跡見学園女	τ子大学ブロッサ.	ムホール CATV							
	収録・放映 観覧	5者席の間を空け.	る等の感染症対							
	策を行いました。									
	令和5年度は岩	5手県盛岡市友好	都市提携5周年	感染症対策の行	丁動制限緩和もあ	り、昨年度と比				
	として盛岡市ゆか	rりの宮沢賢治の1	作品を課題とし	べて観覧者数が増加しました。引き続き、主管の						
R5	ました。			跡見学園女子大学と詳細に打ち合わせを行い、さ						
Ro	本選:11月5日	出場者:16人 智	見覧者:126人	らなる観覧者の地	曽加を目指します。	5				
	会場:跡見学園女	ζ子大学ブロッサ.	ムホール CATV							
	収録・放映									
	令和6年度は石	5川県金沢市との	友好交流都市協	連休の中日とな	より、観覧者が減	となりました。				
	定締結5周年とし	て金沢市ゆかり	の作家の作品を	今後も主管の跡身	見学園女子大学と	の打ち合わせに				
R6	課題としました。			基づき、期間、周	日知先、募集方法	についてよりよ				
	本選:11月3日	出場者:15人 智	閲覧者:115人	い方法を検討しま	きす。					
	会場:跡見学園女	ҳ子大学ブロッサ.	ムホール							

3-①-イ シビックコンサート

事業概要

クラッシック・ポップス・ジャズなどの名曲を、管弦楽アンサンブルや声楽にのせて区内の大学及び専門 学校生等がお届けするランチタイムコンサートを実施します。

			指標:実施した	回数(回)					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	目標(P)	0	12	12	12	12			
	実績(D)	0	12	12					
	月	战果∙評価(D•C	;)	次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	[等(A)			
	令和4年度は、	区民ひろばが使ん	用不可のため事	区内の音楽系力	マ学・専門学校等	と協力し、毎月			
	業を休止しました	た。令和5年度の	事業再開に向	1回、ランチタイ	(ムコンサートを	再開します。			
R4	け、お茶の水女子	子大学、東邦音楽:	大学、尚美ミュー						
	ジックカレッジ専門学	校と出演月、演目	等について調整						
	しました。								
	ホール改修工事	事を経て事業を再	開しました。	令和6年度も引	き続き、区内の ⁻	音楽系大学・専			
	オープンスペースでの無料コンサートであるた			門学校等と協力し	ノ、毎月1回、ラ	ンチタイムコン			
	め、区役所を訪れ	1た方に気軽に音	楽を触れてもら	サートを開催して	てまいります。				
	うことができまし	た。再開以降徐	々に来場者が増						
R5	えて、多くの方に	こ鑑賞していただ	くことができま						
	した。								
	また、区内の力	、学及び専門学校:	生等が、観客の						
	前で演奏する機会	会の提供をするこ	とができまし						
	た。								
	令和6年度は、	延べ2,378人とい	う多くのお客様	2階の戸籍住員	R課の繁忙期(2.	~4月) に、コ			
	にご来場いただき	きました。		ンサート音で窓口	コの呼び出し音が	聞こえづらくな			
R6	リピーターの方	5を増やすため、	毎回、コンサー	るとの意見を頂戴したため、繁忙期の開催は比較					
1.0	トの最後に次回の	つご案内をし、ま	た足を運んでい	的音量が大きくない楽器の公演になるよう、公演					
	ただけるようエヺ	きをしました。		内容を踏まえて、出演月の変更を依頼し調整しま					
				す。					

3-①-イ 夜能動画配信事業

事業概要

公益社団法人宝生会による有料動画配信を利用し、区民が能楽動画を観賞できるようにすることで、コロナ禍における文化施策の一つとして、自宅等にいながらも宝生流の能楽を観賞し、区の有する貴重な文化資源に触れる機会を創出します。

///\\ \C_/	赤に 独立にの 成立 と高山 しよ す。								
	指標:実施回数(回)								
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	目標(P)	4	4	4	4	4			
	実績(D)	4	4						
	月	t果·評価(D·C	;)	次年度	まに向けた取組	(等(A)			
	4番組に876人	、の応募があり、自	≧員に視聴権を贈	場所や時間の制	削約を受けずに伝	統芸能を鑑賞で			
	呈しました。			きる動画視聴権の	D贈呈事業は、従	来の愛好家層以			
R4	コロナ禍におい	ヽても大勢の方に	芸術鑑賞の機会	外にも伝統芸能は	こ親しむ人を増や	す効果が期待で			
	を提供することが	ができました。		 きます。コロナ禍以降も継続し、番組を提供して					
				いきます。					
	人気声優による	 る朗読も好評の「 ⁷	 友能~語り部た	今後も初心者に	 こもわかりやすい	 内容の番組を中			
	ちの夜~」及び作	作家・クリエータ [・]	ーのいとうせい	心に、動画を提供していきます。					
	こう氏がナビゲ-	- -ターを務める「j	能楽紀行」等の						
R5	↓ 計4番組を提供し	ノ、774人の応募か	ぶありました。						
	全体の2割近く	く(136人)が40点	歳未満の申込者						
	で、若年層の参加	口が目立ちました。	•						
	月ごとに趣向を	を変えた内容で計	4 番組を提供		こもわかりやすい	内容の番組を中			
		がありました。肖			こ親しみを持って				
R6	- ,	としんでご鑑賞い		動画を提供していきます。					
	提供することがで		· · · · · ·						

ウ 活動につながる契機としての鑑賞機会の提供

3-①-ウ 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】

事業概要

文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊)、企画展等の展示や能楽及びかるた関係事業等を実施します。

			票:事業参加者	数の合計(人)			
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標(P)	14,340	19,120	23,900	23,900	25,000	
	実績(D)	29,990	20,556	19,383			
	月	t果∙評価(D∙C	;)	次年度	まに向けた取組 かんかん しょうしん しょうしん しょうしん しょう かんしん しょう かんしん しょう かんしん しょう しょう しょう しょう しゅうしん しゅうしゅう しゅうしゃ しゅう しゅうしゃ しゅうしゃ しゅう	[等(A)	
	各事業の参加者	首数の合計を成果!	指標としていま	令和5年度は参	参加者数をコロナ	禍前の8割の水	
	す。コロナ禍で再開できない事業もありました			準に戻すことを目	目標とします。全	国藩校サミット	
	が、コロナ禍前σ) 2 年間(平成30:	年、令和元年)	や文の京ミュース	ズネット加入施設,	周遊デジタルス	
D4	の平均値23,900力	への6割の14,340	人を目標としま	タンプラリーなと	ごの新規事業に取	り組み、周知活	
R4	した。			動にも力を入れ、	文化事業への参	加者を増やしま	
	令和4年度単年	度事業「文の京	ミューズネット	す。			
	施設入館料助成」	をのべ16,398人	が利用したこと				
	もあり、目標を大	てきく超える実績。	となりました。				
	各事業の参加者	音数合計を成果指	票としていま	定例事業である	る文化祭や伝統芸	能の発表会を開	
	す。令和5年度は	は参加者数をコロコ	ナ禍前の8割の	催するとともに、かるた関係の展示や体験イベン			
	水準に戻すことを	と目標とし、達成 ⁻	できました。	トを開催して区の)文化資源である	かるたの区民へ	
	単年度事業の「全国藩校サミット文京大会」やの定着及び若年層の文化事業への参加を促しま						
R5	企画展等各種記念事業では、区民に江戸時代の文 す。障害者の芸術活動発表の場である「Bunkyo						
	化や教育にふれる	6機会を提供し、	多くの参加者が	Brut」も開催3年	E目を迎え、グッ	ズの販売等内容	
	ありました。区内	n障害者施設で制作	作された絵画等	をさらに充実させていきます。			
	を展示した「Bur	nkyo Brut」にはピ	手年開催時(462				
	人)の約2倍とな	ょる959人の観覧者	が訪れました。				
	各事業の参加者	音数合計を成果指	票としています	令和7年度は、	謎解きとかるた	を組み合わせた	
	が、令和6年度は	は目標を超えるこ	とができません	体験イベントの乳	ミ施、児童館等へ	のかるた講師派	
	でした。			遣を行い、若年層の認知度向上を図ります。			
	「文京区×ちに	はやふるの世界展_	を開催し、区	また、障害者による文化芸術活動のさらなる活			
R6	内外に区の文化資	§源であるかるた?	を身近に感じら	性化を目指すため	り、有識者が厳選	した作品の展示	
Ro	れるよう競技かる	るた体験等の機会?	を提供し、延べ	及びギャラリートーク(作品解説)を行い、観覧			
	2,129人が来場し	ました。		を楽しみながら作品や障害者に対する理解を深め			
	また、障害者の)芸術活動発表の5	易である	る展示を行います。			
	「Bunkyo Brut」	には、前年と同程	屋度の観覧者が訪				
	れました。						

(2)分野別基本方針② だれもが文化芸術活動を楽しむことができる機会の創出【する(活動・参加等)】

ア 文化芸術活動を楽しむことのできる機会の充実

3-2-ア かるたの街文京を発信! 【再掲】

事業概要

文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を 実施します。

令和8年度に向けた目標(P)

事業の新設やPRの強化を行うことで実績を増加させ、競技かるたが区の文化資源として内外に認知されること、区内に競技かるたに親しむ人が増えることを目標とします。

	* R = 7 (2 0)	
	成果·評価(D·C)	次年度に向けた取組等(A)
	競技かるた最上位の対決「名人・クイーンド	令和4年度に実施した「名人・クイーンドリー
R4	リームマッチ」を開催し、動画配信も行って、内	ムマッチ」を継続して開催するとともに、大学生
	外に「かるたの街文京」をPRしました。	大会も新設して、区と競技かるたとのつながりを
114	競技者を増やす事業として、学校への講師派遣	さらに発信していきます。
	やかるた教室の開催(共催)を実施しました。	また学校への講師派遣数を増加させ、競技かる
		たに触れるこどもの数を増やすように努めます。
	大学対抗戦「文の京アゼリアカップ」を創設	かるた関係の展示や体験イベントの開催、講師
	し、14大学から16組の参加がありました。	派遣の対象施設拡大等を実施し、引き続き競技か
	競技かるたトップ選手の2人が戦う名人・ク	るたという区の文化資源の区民への定着及び若年
	イーンドリームマッチは初年度の2.3倍である412	層の文化事業への参加を促していきます。
R5	人の申し込みがあり、来場者のアンケート(回答	また大学生大会「文の京アゼリアカップ」をよ
	者122人、回答率84.7%)では93%が「とてもよ	り発展させるよう周知方法・大会内容等を検討し
	かった」「よかった」と回答しました。	ます。
	小中学校への講師派遣は令和4年度の3校から	
	5 校に増加しました。	
	競技かるたトップ選手の2人が戦う名人・ク	かるた関係の展示や体験イベントの開催、講師
	イーンドリームマッチは440人(前年412人)の申	派遣の対象施設拡大等を実施し、引き続き競技か
	し込みがあり、来場者のアンケート(回答者130	るたという区の文化資源の区民への定着及び若年
	人、回答率77.8%)では95%が「とてもよかっ	層の文化事業への参加を促していきます。
R6	た」「よかった」と回答しました。また、大学生	また大学生大会「文の京アゼリアカップ」をよ
110	大会「文の京アゼリアカップ」では、16校が参加	り発展させるよう周知方法・大会内容等を検討し
	しました。	ます。
	小中学校への講師派遣は前年同様 5 校でした	
	が、児童館(2館)及び育成室(1室)と対象を	
	拡充しました。	

3-②-ア 記念日イベント

事業概要

森鷗外に関する記念日に講演会、イベント、来館者サービスを行い鷗外に関して親しみを持てる取り組み を行います。

	指標:記念日入館者数(人)									
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	目標(P)	400	400	400	400	400				
	実績(D)	971	800	647						
	月	战果∙評価(D•C	;)	次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	.等(A)				
	令和4年度は柔	床鷗外没後100年記	己念年であったた	無料入館以外に	こイベントや講演	会を開催し幅広				
	め鷗外忌(鴎外の	0命日7月9日49	2人)、誕生記念	い層の誘客を目指	旨し計画します。.	人数は曜日に				
R4	(1月19日479人	、)は区民観覧無料	斗などを実施し、	よっても変動するため充実した内容を立案し多角						
	7事業全ての集客は例年の2倍以上となりまし			的に広報します。						
	た。									
	前年の鷗外没術	後100年記念で周知	口されたためか、	幅広い層への記念日周知を目指し、広報媒体の						
R5	令和5年度の鴎外忌も前年に届く来館数となりま			工夫で誘客を計画します。						
110	した。鷗外忌(図	鳥外の命日7月9	日500人)、誕生							
	記念(1月19日3	300人)。								
	今年度の鷗外認	延生日が日曜日に	あたり、例年よ	該当日、または該当日前後に記念日にちなんだ						
R6	り大幅に来館者な	が増えました。鷗	外忌(鷗外の命	イベントを充実させるなど、誘客につながる企画						
KO	日7月9日127人	.)、誕生記念(1	月19日520	を計画します。						
	人)。									

3-②-ア 朗読コンテスト【再掲】

事業概要

文化人顕彰事業の一環として行うもので、文京ゆかりの作家の作品を課題作として、朗読コンテストを行います。跡見学園女子大学との大学連携により実施します。

	指標:観覧者数(人)								
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	目標(P)	200	200	200	200	200			
実績(D) 113 126				115					
	瓦	^{找果・} 評価(D・C	;)	次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	.等(A)			
	平成24年度から	ら年1回開催して	います。令和4年	会場観覧者数に	こついて目標値に	近づくよう、主			
	度は森鷗外没後1	00年記念事業とし	て鷗外の作品を	管の跡見学園女子	子大学と詳細に打 [・]	ち合わせを行う			
	課題としました。			なかで、会場観覧	[者募集方法、期]	間、周知先につ			
R4	本選:11月13日	出場者:17人	観覧者:113人	いて工夫します。					
	会場:跡見学園女	マ子大学ブロッサ.	ムホール CATV						
	収録・放映 観覧者席の間を空ける等の感染症対								
	策を行いました。								
	令和5年度は岩	告手県盛岡市友好	都市提携5周年と	感染症対策の行	丁動制限緩和もあ	り、昨年度と比			
	して盛岡市ゆかり)の宮沢賢治の作,	品を課題としま	べて観覧者数が増加しました。引き続き、主管の					
R5	した。			跡見学園女子大学と詳細に打ち合わせを行い、さ					
1.0	本選:11月5日	出場者:16人 智	見覧者:126人	らなる観覧者の増	曽加を目指します。	>			
	会場:跡見学園女	文子大学ブロッサ.	ムホール CATV						
	収録・放映								
		5川県金沢市との			より、観覧者が減				
	定締結 5 周年とし	ノて金沢市ゆかり	の作家の作品を	今後も主管の跡見	見学園女子大学との	の打ち合わせに			
R6	課題としました。			基づき、期間、周		についてよりよ			
	本選:11月3日			い方法を検討しま	きす。				
	会場:跡見学園が	マ子大学ブロッサ.	ムホール						

イ 市民団体等の活動に対する支援の充実

3-2-イ 社会教育関係団体登録制度による活動支援【再掲】

事業概要

区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進するため、一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体 として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援します。

令和8年度に向けた目標(P)

区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を支援するため、登録団体名簿を周知します。また、団体の活動内容を正確に把握するため、令和7年度の更新に向けて、登録団体へ広く周知します。

	成果·評価(D·C)	次年度に向けた取組等(A)
	登録団体名簿の関連施設への配架及びホーム	引続き、区民の自主的な活動の促進のため、登
	ページへの掲載により、登録団体を広く周知し、	録団体名簿を更新し、関連施設への配架、ホーム
R4	区民の自主的な活動の促進につながりました。	ページへ掲載します。また、団体の活動内容を正
	また、3年に一度の更新を実施し、活動してい	確に把握するため、活動実績の提出を求めるとと
	る団体をより正確に把握することができました。	もに、区民への周知を図ります。
	関連施設への登録団体名簿の配架や、ホーム	登録団体名簿やホームページの更新に加え、団
	ページの更新で、最新情報を周知することで、区	体から実績報告書を提出していただき、活動内容
R5	民へ活動への参加を促すことができました。	を正確に把握していきます。引き続き、区民の自
	また、実績報告書の提出を依頼し、団体の活動	主的な活動促進を図ります。
	内容を把握をすることができました。	
	登録団体からの実績報告書の提出により、活動	3年に一度の登録更新により、活動している団
R6	内容を正確に把握し、登録団体名簿やホームペー	体を正確に把握、周知することで、区民の自主的
KO	ジの更新を行ったことで、区民の自主的な活動を	な活動促進を図ります。
	促すことができました。	

ウ 文化芸術活動の場の提供

3-2-ウ 舞台芸術創造事業(大ホール)

事業概要

区民を対象にオペラ等の公演を目標とする講習会を実施し、優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会 を提供します。

	+15.4m +2.4n +2.4h / 1 \							
指標:参加者数(人)								
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	59	112	112	112	112		
	実績(D)	47	117	127				
	月	战果∙評価(D•C	;)	次年度に向けた取組等(A)				
	令和4年度は、	新型コロナウイ	ルス感染拡大に	令和5年度から	らは、より多くの[区民が参加でき		
	より中止となった	た令和2年度の参加	加者による	るよう通常の形で	での開催を予定し	ています。参加		
R4	「ラ・ボエーム」	の再演を計画し、	無事開催する	者の募集について	て、区報および(な	公財)文京アカ		
K4	ことができました	た。アンケートか	ら、参加者は2	デミー広報紙、オ	トームページ等を対	活用し、広く周		
	年越しで公演を実現することができ大きな満足を			知を図ります。				
	得たことがわかり	りました。						
	令和5年度は、	歌劇「椿姫」の会	公演を行いまし	令和6年度の公演が「トゥーランドット」に決				
	た。			まり、引き続き多くの区民が参加できるように				
R5	様々な媒体で参	参加募集の宣伝を ²	行い、参加者数	様々な媒体で宣伝を行ってまいります。				
	の目標値を達する	ることができ、多	くの区民の方に					
	芸術に触れる機会	会を提供すること:	ができました。					
	令和6年度は、	歌劇「トゥーラ	ンドット」の公	令和6年度は大変多くの区民に参加いただきま				
	演を行いました。			したが、管理や選	軍営の面では苦労:	が多かったこと		
	広報活動の成果	具が実り、令和 6 =	年度も多くの区	から、舞台に上がる人数として安全に公演が実施				
R6	民の方に参加いた	ただき、芸術に触れ	れる機会の創出	できるよう、次年度については適正数の参加にと				
Ro	を行うことができ	を行うことができました。			どめるようにします。			
	また、公演の差	\$倍率が100%とな	より、区民参加の					
	成果を多くのお客	塚様にご鑑賞いた:	だくことができ					
	ました。							

3-②-ウ 舞台芸術創造事業(小ホール)

事業概要

区民を対象に演劇等の舞台技術を学ぶ機会を提供し、活動を通じて優れた舞台芸術や芸能、文化を習得する機会を提供します。

			指標:参加者	←坐ケ(人)		
_		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		15	15	15	15	15
	実績(D) 7 14			14		
	月	t果·評価(D·C	;)	次年度	とに向けた取組	上 上等(A)
	令和4年度は、	5カ月のワーク	ショップを通し	令和5年度の図	区民演劇について	は、参加者がさ
	て、参加者のエヒ	ピソードを舞台化	し、参加者自身	らにモチベーショ	ョンを高められる	よう、ワーク
R4	が演じる形での仏	公演を開催しまし	た。公演後、参	ショップの講師と	に協議の上、内容	を工夫していき
K4	加者から「自らの	ロエピソードを自	らが演じたこと	ます。		
	で大きな満足感だ	が得られた。」と	の声が寄せられ			
	ました。					
	令和5年度は、	ワークショップ	の区内の街歩き	令和6年度も引	き続き、参加者:	がさらにモチ
	を通して、物語と	こなる題材を発掘	し、それを基に	ベーションを高ぬ	かられるよう、ワ [・]	ークショップの
	作成したそれぞれ	ιの台本を、スク	ラップブック形	講師と協議の上、	内容を工夫して	いきます。
	式でひとつにして	て、参加者自身が	演じる手法で公			
R5	演を開催しました	た。地域の特性を	盛り込んだス			
	トーリーで好評を	と得ることができ	ました。			
	応募者数は22/	人で、オーディシ	ョンにより15人			
	に絞りました。な	なお、うち1名は	ワークショップ			
	開催前に辞退され	1ました。				
	令和6年度の応	広募者数は24人で	、オーディショ	令和6年度の5	7ークショップは、	、テーマが「和
	ンにより14人に約	交りました。 目標	値は15人です	菓子」であったた	ため区内和菓子店	を巡ったほか、
	が、大ホールの▷	区民参加事業(オー	ペラ)にも申し	区内の和菓子職人をお呼びして講師との対談を行		
	込んでいる方を除	余き(同時の参加	は難しいた	うなど、工夫を凑	疑らしました。こ	のような、他で
R6	め)、また男女と	とのバランス、協	調性等を加味	は味わえない体質	倹ができることを、	、区民に対して
KO	し、14人となりる	ました。		発信し、より多く	くの方が応募され	るよう努力して
	14人の参加者に	は、ワークショッ	プや長期間の稽	いきます。		
	古を積む中で、🗅	団結力が高まり、	それが芝居に良			
	い影響をもたらし	ノ、見応えのある [,]	作品となりまし			
	た。					

(3)分野別基本方針③ 文化芸術を支える人材の育成支援の充実【ささえる(普及・継承・指導等)】

ア次代を担う層が文化芸術への関心をもつきっかけとなる機会の充実

3-3-ア 親子向けコンサート

事業概要

幼少期から保護者等と一緒に生の音楽等に触れる機会を提供します。

幼少期から保護者寺と一緒に生の音楽寺に触れる機会を提供します。									
	指標:来場者数(人)								
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	目標(P)	495	1,029	1,029	1,029	1,029			
	実績(D)	509	1,026	1,059					
	瓦	t果·評価(D·C	;)	次年度	Eに向けた取組 かっぱん こうがっこう だいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいか	[等(A)			
	令和4年度は、	年度途中までシ	ビックホールが	令和5年度につ	ついては、「フル・	ーツの国のおん			
	休館のため、「フ	フルーツの国のおん	んがくパー	がくパーティー』	り」に加え、「東	京フィル 親子			
R4	ティー♪」のみ閉	開催しました。(2	公財)文京アカ	で楽しむはじめて	てのオーケストラ.	」を開催しま			
	デミーの自主制作	乍による公演であ	り、観客のアン	す。宣伝活動を積	責極的に行い、多	くの親子に生の			
	ケートでも高い評	平価をいただきま	した。	音楽に触れる機会	会を提供します。				
	「フルーツの国	国のおんがくパー	ティー♪」は、	令和5年度の第	€績数は、あと一	歩目標値に達す			
	フルート、クラリ	リネット、パーカ	ッションのアン	ることができなか	いったため、今後	も積極的かつ効			
	サンブルによる生	サンブルによる生の音楽を楽しんでいただくほ			果的な広報活動を行い、より多くの親子に生の音				
	か、楽器の面白さ	が伝わるプログ	ラムで高評価を	楽に触れる機会を	と提供します。				
R5	得ました。								
110	「親子で楽しむ	こはじめてのオー	ケストラ」は、						
		操教育の一環とし [.]	•						
		こよる演奏で生の							
		是供し、多くの親	子連れに楽しん						
	でいただきました								
		国のおんがくパー:	_		差提携団体との連				
	実施時期がひなま		•		様々な形の事業を [?]				
		いかしまりない。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	. 李節感あふれ		寺てるきっかけと:	なるよう、機会			
	る公演を実施しま	-		の創出に努めます	Γ.				
		こはじめてのオー							
R6	_	きることなく公演							
		是携を結んでいる〕 - トニキサギル ! ! . ゞ							
		と連携してオリジ							
		音楽コンサートを: 見の八字サにてた							
	た。なお、2日間								
	多くのお客様にお	う栄しみいただき	ました。						

3-③-ア 観客参加型公演

事業概要

区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結ぶ、太鼓芸能集団鼓童の協力により、観客参加型の交流公演とワークショップを実施します。

			指標:来場者	首数(人)		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標(P)	284	284	284	284	284
	実績(D)	291	281	310		
	瓦	戊果∙評価(D•C	;)	次年度	をに向けた取組	[等(A)
	公演前に「親子	子で楽しむ太鼓ワ.	ークショップ」	社会状況を見な	ながら出演者と協	力し、観客が実
	を開催し、17人の	の親子が参加しま	した。例年、公	際に太鼓を演奏す	↑る機会を提供で	きるようワーク
	演の中でも「太鼓	支演奏体験」を行	ってきました	ショップおよびオ	、鼓演奏体験の実	施を計画しま
R4	が、令和4年度に	は新型コロナウイん	ルスの影響によ	す。		
	り「太鼓演奏体験	負」の実施は見送	りました。リ			
	ニューアルした小	、ホールにて、多	くの親子が鼓童			
	の公演を鑑賞しま					
		Pで楽しむ太鼓ワ·	_		き続き、観客が	
	を開催し、15組3			奏する機会を提供できるようワークショップおよ		
		81人が迫力ある太		び太鼓演奏体験の実施を計画します。		
R5	ました。令和5年	F度は公演の中で	も実施する「太			
	鼓演奏体験」を再					
	れた方が実際に太	、鼓演奏を体験す	ることができま			
	した。	ひ太鼓ワークショ	プレ な. 門 / 出	次年莊 + 担推口	団体である鼓童と	更 <i>わ</i> え 声性 な 辺
		ス数ケークショ 親子が参加しまし	_		山体でめる致重と. 見客が太鼓の魅力	
		祝丁が参加しまし は288人が迫力ある	_			を知るさつかり
R6	しました。令和も			こなるより労める	5 9 0	
110	しょした。 〒和で 鼓演奏体験 を行					
	対演奏体験」で1 方が実際に太鼓演					
	刀刀天际にA駅点 	東安で 呼歌 しまし	′ ⊂o			

3-3-ア かるたの街文京を発信!【再掲】

事業概要

文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を 実施します。

令和8年度に向けた目標(P)

事業の新設やPRの強化を行うことで実績を増加させ、競技かるたが区の文化資源として内外に認知されること、区内に競技かるたに親しむ人が増えることを目標とします。

	成果·評価(D·C)	次年度に向けた取組等(A)
R4	競技かるた最上位の対決「名人・クイーンド	令和4年度に実施した「名人・クイーンドリー
	リームマッチ」を開催し、動画配信も行って、内	ムマッチ」を継続して開催するとともに、大学生
	外に「かるたの街文京」をPRしました。	大会も新設して、区と競技かるたとのつながりを
	競技者を増やす事業として、学校への講師派遣や	さらに発信していきます。
	かるた教室の開催(共催)を実施しました。	また学校への講師派遣数を増加させ、競技かる
		たに触れるこどもの数を増やすように努めます。
	大学対抗戦「文の京アゼリアカップ」を創設	かるた関係の展示や体験イベントの開催、講師
	し、14大学から16組の参加がありました。	派遣の対象施設拡大等を実施し、引き続き競技か
	競技かるたトップ選手の2人が戦う名人・ク	るたという区の文化資源の区民への定着及び若年
	イーンドリームマッチは初年度の2.3倍である412	層の文化事業への参加を促していきます。
R5	人の申し込みがあり、来場者のアンケート(回答	また大学生大会「文の京アゼリアカップ」をよ
	者122人、回答率84.7%)では93%が「とてもよ	り発展させるよう周知方法・大会内容等を検討し
	かった」「よかった」と回答しました。	ます。
	小中学校への講師派遣は令和4年度の3校から	
	5 校に増加しました。	
	競技かるたトップ選手の2人が戦う名人・ク	かるた関係の展示や体験イベントの開催、講師
	イーンドリームマッチは440人(前年412人)の申	派遣の対象施設拡大等を実施し、引き続き競技か
	し込みがあり、来場者のアンケート(回答者130	るたという区の文化資源の区民への定着及び若年
	人、回答率77.8%)では95%が「とてもよかっ	層の文化事業への参加を促していきます。
R6	た」「よかった」と回答しました。また、大学生	また大学生大会「文の京アゼリアカップ」をよ
NO	大会「文の京アゼリアカップ」では、16校が参加	り発展させるよう周知方法・大会内容等を検討し
	しました。	ます。
	小中学校への講師派遣は前年同様 5 校でした	
	が、児童館(2館)及び育成室(1室)と対象を	
	拡充しました。	

イ 文化芸術を支え、継承し、伝える担い手の育成

3-3-イ 子ども俳句大会

事業概要

区内中学校在学生を対象に、日本の伝統的文化のひとつである俳句を通じて自然や四季、日本語の美しさ、俳句の楽しさを体験します。

	指標:応募数(句)									
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	目標(P)	730	900	1,000	1,000	1,200				
	実績(D)	818	776	1,176						
	月	战果∙評価(D•C	(;)	次年度	Eに向けた取組	.等(A)				
	全入選句(特選	選10句・入選20句)について(公	応募作品数増に	こつなげるには学	校の協力が不可				
	財)文京アカデミ	ミーのホームペー	ジ及び歌壇・俳	欠であることから	っ、事業趣旨への	理解や投句への				
R4	壇作品集に掲載し	たとともに、特別	選に選ばれた10	協力について丁弩	翼に説明し、協力:	を求めます。				
	句は、財団広報詞	まスクエア及び区!	報ぶんきょうに							
	も掲載しました。									
	区内中学校に直接的に周知し、区立の中学生			より深い興味・関心を持っていただけるよう、						
	他、区内中学生より日々の暮らしの中での出来事			学校の要望等に応じ、時期や題とすることで、よ						
	からスケールのナ	てきい作品など、「	中学生の視線な	り魅力的な内容と	こしていきます。					
R5	らではの力作が暑	Ŗせられました。 ⁵	持選10句・入選							
110	20句について財団	団ホームページ及	び歌壇・俳壇作							
	品集に掲載したと	とともに、特選に	選ばれた10句							
	は、財団広報誌ス	スクエア及び区報、	ぶんきょうにも							
	掲載しました。									
	区内中学校への	Dチラシ・P D F (の配付により直	実施時期やテーマを丁寧な選定とあわせ、関連						
	接的に周知したる	ことで、中学生な	らではの感性を	する文化や文芸・芸術等に関する講座を実施する						
	持った句や力作が	が多数寄せられま	した。特選10	ことにとより、俳句をはじめ広く日本の伝統文化						
R6	句・入選20句につ	ついて財団ホーム	ページ及び歌	により深い興味・関心を持っていただけるよう努						
	壇・俳壇作品集に	:掲載するととも	に、特選に選ば	めます。						
	れた10句は、財団	団広報誌スクエア	及び区報ぶん							
	きょうにも掲載し	しました。								

3-3-イ 楽器演奏指導

事業概要

区立中学校吹奏楽部員の演奏技術向上及び文化芸術への関心を高めるため、事業提携を結ぶシエナ・ウィンド・オーケストラ団員による楽器演奏指導を行います。

	指標:実施回数(回)								
	令和7年度	令和8年度							
	目標(P)	30	30	30	30	30			
	実績(D)	29	30	30					
	万	t果·評価(D·C	;)	次年度	とに向けた取組	等(A)			
	全ての区立中等	学校においてシエ [・]	ナ・ウインド・	引き続き、区立	Z中学校吹奏楽部.	およびシエナ・			
	オーケストラ団員	員による吹奏楽部	部員を対象とし	ウインド・オーケ	「ストラの協力を	得て、事業を継			
	た個別演奏指導を	を実施しましたが、	受講予定生徒	続します。					
R4	の都合により1回	回中止となりまし:	た。その他につ						
	いては、新型コロ	コナウイルス感染	対策を講じた上						
	で実施し、顧問教員や生徒から高い評価を得まし								
	た。								
	全ての区立中等	学校において3回 [・]	ずつシエナ・ウ	引き続き、区立	Z中学校吹奏楽部.	およびシエナ・			
	インド・オーケストラ団員による吹奏楽部部員を			ウインド・オーケストラの協力を得て、事業を継					
R5	対象とした演奏指導を実施しました。プロからの			続します。					
	指導が受けられる	指導が受けられる貴重な機会を提供し、顧問教員							
	や生徒から高い語	平価を得ました。							
	令和6年度も、	区立中学校10校	に 3 回ずつシエ	引き続き、区立		及びシエナ・ウ			
	ナ・ウインド・マ	ナーケストラ団員	による吹奏楽部	インド・オーケス	ストラの協力を得	て、事業を継続			
	部員を対象とした	こ個別演奏指導を!	実施しました。	します。					
R6	生徒のみならす	ず、顧問教員から	も大変好評で、	事業実施が夏休み期間であることから、猛暑の					
	「楽器の扱い方を	を丁寧に教えてい	ただいて大変助	中、安全に実施ができるようシエナ・ウインド・					
	かった」「生徒の	の意欲が向上して	いることを感じ	オーケストラ及び学校側へ熱中症対策等の注意喚					
	た」などの意見を	を頂戴しました。		起を行いながら乳	ミ施してまいりま	す。			

3-3-イ 文京ふるさと歴史館収蔵品展

事業概要

文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた 館蔵資料を中心とした収蔵品展を開催します。

	指標:アンケートの満足回答の割合(%)								
令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度									
目標(P) 79 80			80	80	80				
	実績(D)	79	87						
		^{找果・} 評価(D・C	·		Eに向けた取組				
		目は「テーマ設定	_		式資料の研究成果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	, - ,,			
		」やすい」を選択			どで紹介していき				
	値です。館蔵の智	3			島足を感じる回答∙ -/				
	精神病学者とその			るよう、引き続き 	資料を研究し展:	示を行います。			
	仲間たち 文三・	・潤一郎・茂吉」	を開催しまし						
R4	た。								
	会期 2月11日~								
	入館者数 1,537								
		人物を知らなくて							
		感想が多く、地域							
	人が多かったとし			A //. 1 . A	5 26 ylad 12 FB	7-1-1-1-1-1-1-N			
		目は「テーマ設定		今後とも、館蔵資料の研究成果をもとに、地域の魅力な様々な形で紹介しています。					
		」やすい」を選択		の魅力を様々な形で紹介していきます。多様な					
	値です。館蔵資料			テーマを設定し展示することで、いっそう来館者 の満足度が高くなるように事業を継続していきま					
		常絵、書籍、民具			よるように事業を;	継続していきま			
		くもり ぶんきょ	うの空関様」を	す。					
R5	開催しました。	2 8 1 7 8							
	会期 2月10日~								
	入館者数 2,485		スの次料切入!-						
		ンみやすいテーマ [・] #ロ席が喜か <i>、t</i>							
	より、来館者の満足度が高かったという成果が得								
	られました。	- [\r' /\\ - / \rightarrow	5/5 +/L -/- 1	<u> </u>					
		こ「近代の女子高質	_	. —	「内容は、7年度 「スロスナー地は				
R6		準備をしていまし: 	にか、展示塚境		う予定です。地域は				
	の整備のため中山	Eしました。			るよう、今後も	事業を継続して			
				いきます。					

3-3-イ 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】

事業概要

文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊)、企画展等の展示や能楽及びかるた関係事業等を実施します。

	指標:事業参加者数の合計(人)									
令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令										
	目標(P) 14,340 19,120			23,900	23,900	25,000				
	実績(D)	29,990	20,556	19,383						
	瓦	战果∙評価(D•C	;)	次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	[等(A)				
	各事業の参加者	番数の合計を成果:	指標としていま	令和5年度は参	参加者数をコロナ	禍前の8割の水				
	す。コロナ禍で再	再開できない事業:	もありました	準に戻すことを目	目標とします。全	国藩校サミット				
	が、コロナ禍前の) 2 年間(平成30	年、令和元年)	や文の京ミュース	ズネット加入施設	周遊デジタルス				
R4	の平均値23,900丿	への6割の14,340	人を目標としま	タンプアリーなど	ごの新規事業に取	り組み、周知活				
114	した。			動にも力を入れ、	文化事業への参	加者を増やしま				
	令和4年度単年	F度事業「文の京	ミューズネット	す。						
	施設入館料助成」	をのべ16,398人:	が利用したこと							
	もあり、目標を力	てきく超える実績	となりました。							
	各事業の参加者	省数合計を成果指	票としていま	定例事業である	る文化祭や伝統芸	能の発表会を開				
	す。令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の			催するとともに、かるた関係の展示や体験イベン						
	水準に戻すことを	と目標とし、達成:	できました。	トを開催して区の	D文化資源である:	かるたの区民へ				
	単年度事業の	「全国藩校サミッ	ト文京大会」や	の定着及び若年層	層の文化事業への:	参加を促しま				
R5	企画展等各種記念事業では、区民に江戸時代の文 す。障害者の芸術活動発表の場である「Bunk					ある「Bunkyo				
	化や教育にふれる	る機会を提供し、	多くの参加者が	Brut」も開催3年	F目を迎え、グッ?	ズの販売等内容				
	ありました。区内	内障害者施設で制作	作された絵画等	をさらに充実させていきます。						
	を展示した「Bunkyo Brut」には昨年開催時(462									
	人)の約2倍とな	なる959人の観覧者	音が訪れました。							
	各事業の参加者	る数合計を成果指 を数合計を成果指標である。 おおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおおお	標としています	令和7年度は、	謎解きとかるた	を組み合わせた				
	が、令和6年度に	は目標を超えるこ	とができません	体験イベントの乳	と 施、児童館等へ	のかるた講師派				
	でした。			遣を行い、若年層の認知度向上を図ります。						
	「文京区×ちに	はやふるの世界展_	」を開催し、区	また、障害者に	こよる文化芸術活	動のさらなる活				
D 0	内外に区の文化資	資源であるかるた	を身近に感じら	性化を目指すため	り、有識者が厳選	した作品の展示				
R6	れるよう競技かる	るた体験等の機会	を提供し、延べ	及びギャラリートーク(作品解説)を行い、観覧						
	2,129人が来場し	ました。		を楽しみながら作	作品や障害者に対	する理解を深め				
	また、障害者の	つ芸術活動発表の	場である	る展示を行います	t.					
	「Bunkyo Brut」	には、前年と同程	呈度の観覧者が訪							
	れました。									

3-③-イ I don't know(能)…NO(能)problem!~みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト」~

事業概要

公益社団法人宝生会と連携し、子どもたちにも興味を持ってもらえるよう、「鑑賞」と「体験」を交えた プログラムで実施します。

	指標:アンケートで「おもしろかった」と答えた人の割合(%)									
目標(P) 80 80				80	80	80				
	実績(D)	90	92	90						
	月	战果∙評価(D•C	;)	次年度	とに向けた取組	等(A)				
	応募者数 761人			コロナ禍で変更	更したプログラム:	のうち、好評				
	当選者数 189人	(倍率4倍)		だったものは継続	売しながら以前と	同等の内容で体				
R4	参加者数 129人			験会が実施できる	るよう検討してい	きます。				
114	感染防止の観点	点から、楽器や着	付け体験の内容							
	を一部変更・中山									
	ンケートでは高い	>評価をいただき	ました。							
	成果指標であるアンケートには参加者165人中			令和6年度は金沢市友好交流都市提携5周年記						
	138人が回答し(回答率84%)、127人が「おもし			念事業として、加賀宝生にちなんだ内容をとりい						
	ろかった」、8人が「まあおもしろかった」と回			れます。子どもたちが古くから日本各地で愛好さ						
DE	答しました。			れてきた能の文化や歴史を実感できるプログラム						
R5		別いたわかりやすり		にします。						
		器楽・装束体験や		令和5年度は土曜日開催で学校行事による当日						
	バックステージツアーと質疑応答を行い、参加者			キャンセルが目立ったため、日曜日の開催としま						
	から好評を得まし	した。		す。						
	成果指標である	るアンケートには	参加者178人中	引き続き子ども	ったちにも興味を	持ってもらえる				
	154人が回答し((回答率86.5%)、	139人が「おも	ような「鑑賞」と「体験」ができるプログラムを						
	しろかった」、9	入が「まあおも	しろかった」と	提供できるよう連携していきます。						
R6	回答しました。金	· · · · · · · · · · · · · ·	市提携5周年記							
	念事業として、カ	ロ賀宝生の能楽師の	の登壇や、前田							
	家から宝生会に贈	曾られた能装束等:	をロビーに展示							
	しました。									

ウ 多様な主体との連携・協力による文化資源の継承

3-3-ウ 文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施【再掲】

事業概要

文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞 道、合唱、日本舞踊、三曲、民踊)、企画展等の展示や能楽及びかるた関係事業等を実施します。

作価・主要名加名数の合社/ 1 / 1									
_	指標:事業参加者数の合計(人)								
令和4年度									
目標(P) 14,340 19,120		23,900	23,900	25,000					
	実績(D) -	29,990	20,556	19,383		late ()			
成果·評価(D·C)				に向けた取組					
		皆数の合計を成果:			参加者数をコロナ ²				
		写開できない事業:			目標とします。全				
	が、コロナ禍前♂	D 2 年間(平成30	年、令和元年)	や文の京ミュース	ズネット加入施設/	周遊デジタルス			
R4	の平均値23,900/	人の6割の14,340	人を目標としま	タンプラリーなど	ごの新規事業に取	り組み、周知活			
114	した。			動にも力を入れ、	文化事業への参え	加者を増やしま			
	令和4年度単年	F度事業「文の京	ミューズネット	す。					
	施設入館料助成」	をのべ16,398人:	が利用したこと						
	もあり、目標を力	くきく超える実績	となりました。						
	各事業の参加者	皆数合計を成果指	漂としていま	定例事業である	る文化祭や伝統芸	能の発表会を開			
	す。令和5年度は参加者数をコロナ禍前の8割の			催するとともに、かるた関係の展示や体験イベン					
	水準に戻すことを目標とし、達成できました。			トを開催して区の文化資源であるかるたの区民へ					
	単年度事業の	「全国藩校サミッ	ト文京大会」や	の定着及び若年層	層の文化事業への:	参加を促しま			
R5	企画展等各種記念	念事業では、区民	に江戸時代の文	す。障害者の芸術	が活動発表の場で.	ある「Bunkyo			
110	化や教育にふれる	る機会を提供し、	多くの参加者が	Brut」も開催3年	E目を迎え、グッ.	ズの販売等内容			
	ありました。区内	り障害者施設で制 ^ん	作された絵画等	をさらに充実させ	せていきます。				
	を展示した「Bur	nkyo Brut」にはヒ	作年開催時(462						
	人)の約2倍とな	・ なる959人の観覧者	音が訪れました。						
	·	Law A = L N == Ha		A 4 ()					
		皆数合計を成果指標 			謎解きとかるた				
		は目標を超えるこ	とができません	体験イベントの実施、児童館等へのかるた講師派					
	でした。			遣を行い、若年層の認知度向上を図ります。					
		はやふるの世界展_	_	また、障害者による文化芸術活動のさらなる活					
R6	内外に区の文化資	資源であるかるた	を身近に感じら	性化を目指すため	り、有識者が厳選	した作品の展示			
No	れるよう競技かる	るた体験等の機会	を提供し、延べ	及びギャラリート	トーク (作品解説))を行い、観覧			
	2,129人が来場し	ました。		を楽しみながら作	F品や障害者に対 [・]	する理解を深め			
	また、障害者の	D芸術活動発表の	場である	る展示を行います	r.				
	「Bunkyo Brut」	には、前年と同程	屋度の観覧者が訪						
	れました。								

3-3-ウ かるたの街文京を発信!

事業概要

文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を 実施します。

令和8年度に向けた目標(P)

事業の新設やPRの強化を行うことで実績を増加させ、競技かるたが区の文化資源として内外に認知されること、区内に競技かるたに親しむ人が増えることを目標とします。

	 	70万度にウはt 取の笠(A)		
	成果·評価(D·C)	次年度に向けた取組等(A)		
R4	競技かるた最上位の対決「名人・クイーンドリームマッチ」を開催し、動画配信も行って、内外に「かるたの街文京」をPRしました。 競技者を増やす事業として、学校への講師派遣やかるた教室の開催(共催)を実施しました。	令和4年度に実施した「名人・クイーンドリームマッチ」を継続して開催するとともに、大学生大会も新設して、区と競技かるたとのつながりをさらに発信していきます。 また学校への講師派遣数を増加させ、競技かるたに触れるこどもの数を増やすように努めます。		
R5	大学対抗戦「文の京アゼリアカップ」を創設し、14大学から16組の参加がありました。 競技かるたトップ選手の2人が戦う名人・クイーンドリームマッチは初年度の2.3倍である412人の申し込みがあり、来場者のアンケート(回答者122人、回答率84.7%)では93%が「とてもよかった」「よかった」と回答しました。 小中学校への講師派遣は令和4年度の3校から5校に増加しました。	かるた関係の展示や体験イベントの開催、講師派遣の対象施設拡大等を実施し、引き続き競技かるたという区の文化資源の区民への定着及び若年層の文化事業への参加を促していきます。 また大学生大会「文の京アゼリアカップ」をより発展させるよう周知方法・大会内容等を検討します。		
R6	競技かるたトップ選手の2人が戦う名人・クイーンドリームマッチは440人(前年412人)の申し込みがあり、来場者のアンケート(回答者130人、回答率77.8%)では95%が「とてもよかった」「よかった」と回答しました。また、大学生大会「文の京アゼリアカップ」では、16校が参加しました。 小中学校への講師派遣は前年同様5校でしたが、児童館(2館)及び育成室(1室)と対象を拡充しました。	かるた関係の展示や体験イベントの開催、講師派遣の対象施設拡大等を実施し、引き続き競技かるたという区の文化資源の区民への定着及び若年層の文化事業への参加を促していきます。 また大学生大会「文の京アゼリアカップ」をより発展させるよう周知方法・大会内容等を検討します。		

3-3-ウ 吹奏楽アンサンブルコンテスト

事業概要

公募したアンサンブル団体の演奏に、シエナ・ウインド・オーケストラ団員が講評・表彰等を行います。 プロの講評を受け、演奏技術向上につなげます。

指標:参加団体数(団体)									
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	目標(P)	0	27	27	27	27			
	実績(D)	0	23	24					
	厄	战果∙評価(D•C	3)	次年度	をに向けた取組	[等(A)			
	令和4年度は、	改修工事に伴う	シビックホール	令和5年度に引	事業を再開します。	。多くの参加が			
R4	休館のため休止と	こなりました。		得られるよう、き	チラシ配布に加え、	、SNS等を活用			
				した参加団体募集	集を行います。				
	中学生、高校生	Eの部門は多くの)	応募があり、抽	小学生の部門の)参加がなかった	ことから、日程			
	選となりましたか	が、小学生の部門	は他の行事との	の設定を再考する	るほか、多様な媒 ^々	体を使って、広			
	競合があり参加な	がなかったことか	ら、目標値に達	報強化を図ってま	ミいります。				
D.F.	することができま	きせんでした。							
R5	なお、出場団体	‡は、シエナメン	バーによる2時間						
	の事前レッスンで	でプロからの直接	指導を受けられ						
	ることに合わせ本	番の演奏への講	評も聞くことが						
	でき、出演者から	う高い評価を得て	います。						
	中学生部門は多	多くの応募があり	抽選となりまし	昨年度、小学生	Eの学校行事と重:	なってしまった			
	た。			ため参加校がなかったことから、学校側に確認を					
	出演団体は、シ	ノエナメンバーに	よる事前のレッ	しながら日程調整を図りましたが、令和6年度は高					
R6	スンの他、当日も	演奏直後に講評	が受けられるこ	校生の期末試験時期に重なってしまいました。幅					
No	とから、出演者の)アンケートでは	非常に満足度の	広い世代の部門があることから実施時期の設定は					
	高い事業となって	こいます。この魅力	力が伝わるよ	難しいですが、多くの学校が参加希望する魅力あ					
	う、広報活動に力]を入れて多くの[団体が参加いた	る事業作り、知っ	っていただく広報	活動に力を入れ			
	だけるよう努力し	していきます。		て進めます。					

(4)分野別基本方針④ 地域の資源を活かしたまちづくりの推進ア 文化資源を活用した事業の推進

3-4-ア「文の京文化発信プロジェクト」

事業概要

文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働(共催)により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。

京・文京を広くアピールします。										
	指標:事業参加者数の合計(人)									
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
	目標(P)	374	498	623	623	623				
	実績(D)	228	1214	846						
	月	t果·評価(D·C	;)	次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	l等(A)				
	1事業を除き事業を再開しました。			令和5年度は参	参加者数をコロナ	禍前の8割の水				
	コロナ禍前の2年間(平成30年、令和元年)の			準に戻すことを目	目標とします。					
	平均値623人(終了事業の実績を除く)の6割であ			盛岡市と友好都	『市提携 5 周年を	迎えるため、両				
R4	る374人の参加を	目標としましたか	ド、例年500人近	自治体で互いのな	て化を発信する事	業を開催し、交				
	い参加者がある石	5見神楽公演の中.	止の影響もあ	流を活発化させる	きす。ミスさんさ	派遣委託等の事				
	り、達成率は6害	りでした。		業を開催して区員	そに盛岡市の文化	に触れる機会を				
				提供していきます	r.					
	盛岡市友好都市	提携 5 周年記念	事業を開催した	令和6年度は金	会沢市友好交流都	市提携5周年のた				
	ため、目標を大きく上回る実績がありました。			め、金沢市でも盛	蒸んな能楽関係の	事業やその他の				
	啄木学級ではロバート キャンベル氏を講師に迎			共催事業を記念事	事業として充実さ [・]	せた内容で開催				
	え、270人の参加がありました。また3,500人の集			していきます。						
	客があった時代まつりの時代行列にミスさんさ踊									
	りを派遣しました。盛岡さんさ踊り体験ワーク									
R5	ショップでは2回	」 のワークショッ	プを開催し希望							
	者22人が都市交流	流フェスタの舞台	で踊りを披露し							
	ました。また盛岡	日市主催「盛岡文:	士劇」東京公演							
	を共催しました。									
	その他、かなざわ講座の共催や沖縄県うるま市									
	主催の現代版組踊「肝高の阿麻和利」を後援しま									
	した。									
	各事業の参加者	省数合計を成果指	票としており、	引き続き、啄木	<学級やかなざわ	講座等を通じて				
	目標を達成するご	ことができました。	,	交流自治体の文化に触れる機会を提供し、さらな						
	令和6年度は清	即野町東京事務	所開所10周年記	る交流の活性化に繋がるような事業にしていきま						
R6	念として石見神楽	K公演を実施しま	した。また、能	す。						
		は、金沢市友好交流								
	年記念事業として	,								
	前田家から宝生会	会に贈られた能装!	束等をロビーに							
	展示しました。									

イ 特色ある文化資源の魅力の確認や再発見とその発信

3-4)-イ 文の京ミュージアムネットワーク

事業概要

区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」(文京 ミューズネット)として連携し、各施設の特色や個性を発信します。

令和8年度に向けた目標(P)

区の貴重な文化資源として積極的に周知し、連携を深めていきます。

	成果·評価(D·C)	次年度に向けた取組等(A)
	例年実施している事業(全体会議、文京ミュー	令和5年度は施設改修工事のためミューズフェ
	ズネットマップの作成、ミューズフェスタの開	スタの開催を中止します。代替事業としてミュー
	催)のほか、単年度事業として入館料助成キャン	ズ施設をめぐるデジタルスタンプラリーを実施
R4	ペーンを行い、2か月間で16,398件もの利用があ	し、ミューズネットの活動を盛り上げます。
174	りました。これに伴いミューズネットマップ日本	
	語版も作成した35,000部すべてが配布終了するな	
	ど、文の京ミューズネットの認知度が大きく向上	
	したと考えれられます。	
	例年同様全体会議及び文京ミューズネットマッ	「文京ミューズフェスタ」は一部を委託化して
	プの作成を行いました。	内容を充実させていきます。
	施設改修工事のため「文京ミューズフェスタ」	また、近年増大している海外からの観光客等に
	が中止となり、代替事業として実施した「文京	周知できるよう英語版文京ミューズネットマップ
R5	ミューズネット周遊デジタルカードラリー」には	の活用方法を検討していきます。
	26施設が参加し、706人の参加がありました。	
	また全国藩校サミット文京大会の機運醸成のた	
	め、3施設から藩校に関連した所蔵品の展示等の	
	協力を得ました。	
	例年同様全体会議及び文京ミューズネットマッ	区の貴重な文化資源に触れる機会を提供するた
De	プの作成を行いました。	め、「文京ミューズフェスタ」の開催期間を増や
R6	また、施設改修工事が完了し、「文京ミューズ	すことを検討します。
	フェスタ」を開催し、446人が来場しました。	

3-④ーイ 文京ふるさと歴史館特別展

事業概要

文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた 特別展を開催します。

特別展を開催します。								
指標:アンケートの満足回答の割合(%)								
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	85	80	80	80	80		
	実績(D) 85 83		84					
	瓦	t果·評価(D·C	()	次年度	をに向けた取組	l等(A)		
R4	さ=わかりやすい」の国名勝及び史跡。院理学系研究科附属「小石川植物園異版しました。会期 10月29日~一入館者数 2,344人区内の名所である時代から現在に至る学作品の紹介など、	。 る小石川植物園をテ るまでの歴史、植物 多角的に展示し、	平均値です。区内 れた東京大学大学 化を取り上げる ・むかし」を開催 ーマとして、縄文 園を舞台とした。 好評を得ました。	視点から掘り下にを覚えて満足を懸う、引き続き資料	惑じる回答の割合 外の研究や展示に	す。内容に興味 が多くなるよ 尽力します。		
R5	さ = わかりやすい」 藩校サミット文京 堂あり 江戸・東京 会期 10月28日~ 入館者数 2,432人 区内の名所である 復興事業に関わった	京の学び舎と文京」 12月10日 る湯島聖堂をテーマ	平均値です。全国 て「湯島の地に聖 を開催しました。 としてその歴史、 について、学問所		₹区の歴史や文化 ≧度を高めるよう			
R6	りやす。生活に身 と水道と一部 と人と水道と一部 は大きした。 会期 10月26日で 入館者数 3,009 文で、またにゆかり いて解説の博物館と た近隣の博物館と	₱田上水・千川上: ∼12月8日	した割合の平均 をテーマに「川 水と文京」を開 と千川上のいないにでいていていない。 マタンプラリー		つため、7年度は 重要な根幹となる。 迷続して行います。	地域資料の整		

3-4-イ 森鷗外記念館特別展・コレクション企画

事業概要

森鷗外の作品や人生に関することをテーマに、資料収集、調査研究した成果を、特別展及び館蔵品を中心としたコレクション企画として実施します。

指標:アンケートの満足回答の割合(%)								
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	80	80	80 80 80				
	実績(D)	96	99	99				
	瓦	t果·評価(D·C	;)	次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	.等(A)		
	展示に関しての	D満足度調査(満	足・やや満足)	展覧会に対して	て常に満足いただ	けるよう、テー		
R4	の合計は96%(P	勺訳:満足71%、	やや満足25%)	マや嗜好を変えた企画を充実させます。				
K4	今後もさらに充実した展覧会を目指し運営を行い							
	ます。							
	令和5年度より	リアンケート項目:	を「大いに満	引き続き好回答	答を得られるよう、	、企画の充実を		
R5	足、満足、不満、	きわめて不満」。	の4項目とし	目指します。				
NJ	た。満足回答合詞	+は99%(内訳:	大いに満足					
	51%、満足48%)	•						
	展示に関しての)満足度調査(大	いに満足、満	昨年に続き好回	回答を得られました	た。今後も幅広		
R6	足) の合計は99%	%(内訳:満足50	%、やや満足	く関心を持たれるテーマ設定と展示内容の充実を				
KO	49%) 今後もさん	らに充実した展覧	会を目指し運営	目指します。				
	を行います。							

3-④-イ 文の京ゆかりの文化人顕彰事業

事業概要

文京区に足跡を残した文化人を顕彰し、多様な文化的資源の継承、発掘及び情報発信を進めます。年度ごとに生誕没 後などの記念の年にあたる文化人を中心に、朗読コンテスト、講演会等の顕彰事業を実施します。

The state of the s								
	指標:朗読コ			亦めぐり、講演会	会応募者数の含	合計(人)		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	558	600	600	600	600		
	実績(D)	558	639	539				
	瓦	找果•評価(D•C	;)	次年度	に向けた取組	等(A)		
	①朗読コンテスト :	跡見学園女子大学と井	共催し実施しまし	申込受付方法、	募集方法、会場	の収容人数など		
	た。没後100年を迎え	えた森鷗外の作品を課	題作とし、朗読の応		6合わせ、応募者:			
	基者256人、観覧応募者は146人でした。		夫を行います。	7 H 17 C (1/01991 H 1	B10 7 8 8 9 1			
	②史跡めぐり 本郷	・西片の樋口一葉が暮	暮らした風景をたど	大を打いまり。				
	るというテーマで55	人の応募がありました	ā.					
R4	③歴史講演会 一葉	作品にみる明治の出版	īと挿絵という演題					
	で、101人の応募があ	ありました。						
	また、文化人の業績	績について紹介する!	リーフレットを作成					
	配付したことで、よ	り多くの方々に文京区	区及びゆかりの文化					
	人を周知し興味を持	っていただくきっかけ	けづくりができまし					
	た。							
		跡見学園女子大学と丼		申込受付方法、	募集方法、会場	の収容人数など		
	た。宮沢賢治の作品を課題作としました。朗読の応募者274			を関係各所と打ち合わせ、応募者増につながる工				
	人、観覧応募者は171人でした。			夫を行います。				
	②史跡めぐり 賢治・啄木が暮らした街を巡るというテーマ			7 (2 3 3 7 0				
D.	で58人の応募があり	-						
R5	③歴史講演会 小石							
		、136人(会場)の応	-					
		績について紹介する!						
	配付したことで、よ							
		っていただくきっかり	がくりかできまし					
	た。 ①朗読コンテスト :	 跡見学園女子大学と爿	は催し,実施しまし.	由沉爲付古法		の収容を粉むど		
		人の作品を課題作とし						
		募者は115人でした。	-		5合わせ、応募者:	喟につなかる 上		
	覧希望も受け付ける	こととしたため、応募	事者数 = 観覧者数と	夫を行います。				
	しています。							
	②史跡めぐり 金沢	ゆかりの文人たちとし	ヽうテーマで23人の					
R6	応募がありました。							
	③歴史講演会 竹久	夢二が暮らした文京と	こいうテーマで127人					
	の応募がありました。	o						
	また、文化人の業績	績について紹介する!	リーフレットを作成					
	配付したことで、よ	り多くの方々に文京▷	区及びゆかりの文化					
	人を周知し興味を持	っていただくきっかけ	けづくりができまし					
	た。							

ウ 地域団体や他分野の団体等、多様な主体と連携したまちづくりの推進

3-4-ウ 文京ふるさと歴史館友の会の支援

事業概要

文京ふるさと歴史館友の会の自主的な活動を支援し、地域の現状や歴史・文化を知るための学習機会の充 実を図ります。協働による事業の実施や「文京まち案内」ボランティアガイドの活動支援を行います。

令和8年度に向けた目標(P)

文京ふるさと歴史館友の会の会員が増加し、協働による事業の参加者数も増加させていきます。

	成果·評価(D·C)	次年度に向けた取組等(A)
	月1回の友の会役員会に同席し、情報共有を行	引き続き情報を共有します。また、より長期的
	いました。区の事業(史跡めぐり)への協力を受	に安定的な運営ができるよう、活動支援を行いま
D4	けました。また、まち案内を希望する団体とガイ	す。
R4	ドとの連絡を行いました。会の自主的な運営を支	
	援することで、会員の増・事業参加者の増につな	
	がりました。	
	月1回の友の会役員会に同席し、情報共有を行	情報共有をすることにより、継続して活動支援
	いました。区の事業(史跡めぐり)への協力を受	を行います。
	けました。また、まち案内を希望する団体とガイ	
R5	ドとの連絡を行いました。交流自治体主催で文京	
NJ	区内ツアーが開催された際には、ガイドとして協	
	力していただきました。感染症による行動制限の	
	緩和の影響もあり、事業参加者が増となりまし	
	た。	
	月1回の友の会役員会に同席し、情報共有を行	情報共有をすることにより、継続して活動支援
R6	いました。区の事業(史跡めぐり)への協力を受	を行います。
110	けました。また、まち案内を希望する団体とガイ	
	ドとの連絡を行いました。	

3-4-ウ「文の京文化発信プロジェクト」【再掲】

事業概要

文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働(共催)により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。

京・文京を広くアピールします。							
		指標	票:事業参加者	数の合計(人)			
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標(P)	374	498	623	623	623	
	実績(D) 228 1214			846			
成果·評価(D·C)			次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	[等(A)		
	1事業を除き事	事業を再開しました	た。	令和5年度は参	診加者数をコロナ	禍前の8割の水	
	コロナ禍前の2	2年間(平成30年	、令和元年)の	準に戻すことを目	目標とします。		
	平均值623人(終	了事業の実績を除	除く)の6割であ	盛岡市と友好都	『市提携 5 周年をき	迎えるため、両	
R4	る374人の参加を	目標としましたか	ド、例年500人近	自治体で互いの対	て化を発信する事	業を開催し、交	
	い参加者がある石	5見神楽公演の中.	止の影響もあ	流を活発化させま	きす。ミスさんさ	派遣委託等の事	
	り、達成率は6害	引でした。		業を開催して区員	そに盛岡市の文化	に触れる機会を	
				提供していきます	t.,		
	盛岡市友好都市	5提携5周年記念	事業を開催した	令和6年度は金	· 沢市友好交流都	市提携5周年のた	
	ため、目標を大きく上回る実績がありました。			め、金沢市でも盛んな能楽関係の事業やその他の			
	啄木学級では口	コバート キャンベ	ル氏を講師に迎	共催事業を記念事	事業として充実さ [.]	せた内容で開催	
	え、270人の参加	がありました。ま	ミた3,500人の集	していきます。			
R5	客があった時代ま	もつりの時代行列(にミスさんさ踊				
Ro	りを派遣しました	た。盛岡さんさ踊	り体験ワーク				
	ショップでは2回	回のワークショッ`	プを開催し希望				
	者22人が都市交流	流フェスタの舞台 [*]	で踊りを披露し				
	ました。また盛岡	司市主催「盛岡文:	士劇」東京公演				
	を共催しました。						
	各事業の参加者	音数合計を成果指	票としており、	引き続き、啄木	<学級やかなざわ	講座等を通じて	
	目標を達成するこ	ことができました。	•	交流自治体の文化	とに触れる機会を	提供し、さらな	
	令和6年度は津	津 和野町東京事務)	所開所10周年記	る交流の活性化に繋がるような事業にしていきま			
R6	念として石見神楽	※公演を実施しま	した。また、能	す。			
KO	プロジェクトでは	は、金沢市友好交流	流都市提携5周				
	年記念事業として	て、加賀宝生の能	楽師の登壇や、				
	前田家から宝生会	会に贈られた能装す	束等をロビーに				
	展示しました。						

第6章 観光分野の点検・評価

1. 観光分野の評価

文京区アカデミー	-推進協議会委員(学記	部経験者)
7/ME/7/7		
	観光分科会座長 山田	∃ 徹雄

2. 主要事業一覧

分野別基本方針①区内まるごと周遊の促進	アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア 観光資源の磨き上げと新たな魅力の創出			
87 観光写真コンクール	0		
88 花の五大まつり等助成	0	0	
イ マイクロツーリズムの推進による周遊性の向上			
89 観光ガイド事業	0	0	
分野別基本方針②いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有	アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア 観光情報の収集・発信力の充実と共有促進			
90 観光インフォメーション	0	0	
91 観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化【再掲】	0	0	
イ 情報発信環境の整備			
92 観光インフォメーション【再掲】	0	0	
93 観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化	0	0	
分野別基本方針③つながりから生まれる観光の推進	アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア 他分野(スポーツ、文化芸術等)との融合			
94 文の京ミュージアムネットワーク【再掲】	0	0	
95 文京博覧会(ぶんぱく)【再掲】	0		
イ 国内外の協定等締結自治体や近隣自治体等との連携・協力			
96 友好都市交流フェスタ【再掲】	0	0	
97 文京博覧会(ぶんぱく)【再掲】	0		
分野別基本方針④何度でも訪れたくなるおもてなしの環境整備	アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア 観光客の受入基盤整備			
98 観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化【再掲】	0	0	
99 文の京ミュージアムネットワーク【再掲】	0	0	
イ 多様な人材の育成・活用			
100 観光ガイド事業【再掲】	0	0	

[※]総合戦略の欄は、「文の京」総合戦略(令和6年度~令和9年度)に掲載されている事業。

[※]重点の欄は、令和6年度に文京区の重点施策として選定された事業。

3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況

(1)分野別基本方針① 区内まるごと周遊の促進

指標	現状	目標値	
文京区の他者推奨意向	84.1% (令和元年度)	71.4% (令和7年度)	85.0%

【分野別基本方針① 区内まるごと周遊の促進の状況】

観光資源の磨き上げと新たな魅力の創出では、文京花の五大まつり等の実施に要する経費を助成するとともに、「まつりの街、文京」プロジェクトにおいて、中学生以下を対象としたクイズラリーやオリジナル紙芝居等を実施しました。令和7年度は、まつりの継続的な実施に向け、担い手の確保につながる取り組みを補助対象経費に加えるとともに、子どもたちがまつりを知り、まつりに関わるための取組を推進します。

マイクロツーリズムの推進による周遊性の向上では、文京花の五大まつり等の開催に合わせて、観光ボランティアガイドによる多彩なガイドツアーを実施することで、前年に引き続き、ガイドツアーの参加者数を増加させることができました。引き続き、様々なガイドツアーを実施し、本区の魅力を広く発信するとともに、ガイドツアーの継続的な実施に向け、新規ガイドの募集等を行います。

これらの取組を着実に進めることで、本区の多彩な観光資源を継承し、磨き上げるとともに、区内の観光資源を新たな目線で活用することにより、地域の魅力創出を図っていきます。

1 V T T	ー推進協議会の意見】
1 / / / /	

- 0
- 0
- 0
- \odot

(2)分野別基本方針② いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有

指標	現状値	目標値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値
文京区観光協会の ホームページの新 規ユーザー	44,115 件 (令和元年度)	50,000 件	88,009 件 ※	82,621 件	192,631件

【分野別基本方針② いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有の状況】

観光情報の収集・発信力の充実と共有促進では、観光インフォメーションにおいて、来所者等に対し相談内容に応じた案内を行うとともに、SNSなど様々な広報媒体を特性に応じて使い分けながら、本区の観光情報を広く発信しました。引き続き、本区の観光に関する情報を収集するとともに、様々な媒体を通じて観光客へ情報を提供することで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を図ります。

情報発信環境の整備では、観光ガイドブック及びグルメマップを多言語で作成するとともに、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等へ掲載し、Web上での閲覧環境を整えました。令和7年度は、観光ガイドブック等による情報発信を継続するとともに、観光施設やコミュニティバス等の交通情報など、エリア全体の情報を一元化した多言語対応のデジタルマップを導入し、区内周遊における利便性の向上を図ります。

いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有の指標である文京区観光協会のホームページの新規ユーザーは192,631件で、前年度に引き続き、令和8年度目標の50,000件を上回っており、今後も同ページを活用した情報発信に取り組みます。

これらの取組を着実に進めることで、だれもが、いつでも、どこでも手軽に必要な情報を入手できる環境を整えるとともに、区民等が本区の観光資源等に関する情報を共有し、自主的な発信を促すことにより、観光情報の発信力の充実を図っていきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

0

 \bigcirc

 \odot

※過去2年以内に新規アクセスしたユーザーの数値であるが、令和3年4月にサイトリニューアルを実施しているため、令和4年度分の数値については令和3年3月以前の重複ユーザーは除外されていない。

(3)分野別基本方針③ つながりから生まれる観光の推進

指標	現状値	目標値	令和4年度 実績値	令和5年度 実績値	令和6年度 実績値
協定等締結自治体	57 件	70 件	88 件	106 件	123 件
との連携実績	(令和元年度)	70 1+	00 1	100 1	123 1

【分野別基本方針③ つながりから生まれる観光の推進の状況】

他分野(スポーツ、文化芸術等)との融合では、文の京ミュージアムネットワークにおいて、例年同様、全体会議及び文京ミューズネットマップの作成を行い、作成したマップを観光施設等へ配布しました。また、施設改修工事のため前年度は中止した「文京ミューズフェスタ」を開催し、446人が来場しました。今後も区の貴重な文化資源に触れられる機会を提供するため、開催日数を増やすことを検討します。

国内外の協定等締結自治体や近隣自治体等との連携・協力では、都市交流フェスタを初めて2日間開催とし、前回より来場者が約1,300人増加しました。初日は、熊本県縁の竹あかりのライトアップが施された中、交流自治体の特産品及びグルメを来場者に楽しんでもらうことができました。2日目は、前年度に引き続き文京シビックセンター及び礫川公園を一体的に活用し、国内外の文化体験及び交流自治体による物産展等多様なプログラムを通じて、より多くの方に交流都市の魅力を体感してもらうことができました。今後は、区及び交流自治体の魅力発信の強化として、観光及び文化等の体験内容の充実を図るとともに、区内団体等との協働を検討します。また、交流自治体と協働し、来場者に区及び交流自治体の魅力を多角的に発信できるイベントへと発展させていきます。

つながりから生まれる観光の推進の指標である協定等締結自治体との連携実績は123件で、前年度に引き続き、令和8年度の目標値である70件を上回っており、今後も交流自治体との連携・協力により、観光事業の充実を図っていきます。

これらの取組を着実に進めることで、文化芸術など他分野との関係性を深めるとともに、協定等締結自治体等との交流を促進し、様々な形での連携・協力による新しい「文の京」の観光を推進していきます。

【マカゴこ	-推進協議会 <i>0</i>	> 호 ⊟ 1
レアカナミー	- 1E 1H 1M 6我 	ノ尽・兄・オ

- 0
- 0
- 0

(4)分野別基本方針④ 何度でも訪れたくなるおもてなしの環境整備

指標	現物	目標値	
「だれもが観光に訪れたくな	区民:38.9%	区民:50.2%	12 13 14 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15
るまちを支える仕組みをつく	事業参加者:76.0%	事業参加者:64.8%	区民:50.0%
ること」への満足度(※)	(令和元年度)	(令和7年度)	事業参加者:81.0%

【分野別基本方針④ 何度でも訪れたくなるおもてなしの環境整備の状況】

観光客の受入基盤整備では、観光ガイドブック及びグルメマップを多言語で作成するとともに、東京観光デジタルパンフレットギャラリー等への掲載を行い、Web上での閲覧環境を整備しました。令和7年度は、観光ガイドブック等による情報発信を継続するとともに、観光施設やコミュニティバス等の交通情報など、エリア全体の情報を一元化した多言語対応のデジタルマップを導入し、区内周遊における利便性の向上を図ります。

多様な人材の育成・活用では、文京花の五大まつり等の開催に合わせて、観光ボランティアガイドによる多彩なガイドツアーを実施することで、前年に引き続き、ガイドツアーの参加者数を増加させることができました。引き続き、様々なガイドツアーを実施し、本区の魅力を広く発信するとともに、ガイドツアーの継続的な実施に向け、新規ガイドの募集等を行います。

これらの取組を着実に進めることで、だれもが安心して区内観光を楽しみながら、区民や訪れる方が本区に愛着を感じ、何度でも訪れたくなるための環境づくりを推進していきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

- 0
- 0
- 0

4.観光 (No.82~95)

4. 主要事業の成果に対する評価

(1)分野別基本方針① 区内まるごと周遊の促進ア 観光資源の磨き上げと新たな魅力の創出

4-①-ア 観光写真コンクール

事業概要

文京区観光協会において区内の名所・旧跡などの歴史文化遺産や花の五大まつりなどの風物詩、現代のまちの表情を広く紹介する観光写真コンクールを実施します。

指標:観光写真コンクールの応募者数(人)/写真展の来場者数(人)								
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
目標(P)		170/530	175/540	180/550	185/560	190/570		
実績(D)		161/575	151/673	156/855				
	成果·評価(D·C)			次年度に向けた取組等(A)				
R4	令和4年度で第60回を迎え、区民を中心にたく			新たな参加者の増加につながる取り組みを検討				
	さんの応募がありました。特にジュニア部門で			するとともに、観光PRポスターをはじめ様々な機				
	は、新たにジュニア向け写真教室を実施すること			会で受賞作品を使用することで、観光PRへ繋げて				
	で、参加者の増加につなげることができました。			いきます。				
R5	ジュニア向け雪	写真教室の継続実施	施もあり、ジュ	ジュニア向け写真教室の継続実施や受賞者作品				
	ニア部門では昨年度を上回る応募がありました。			の更なる活用を検討することで、観光写真コン				
	また、写真展や区ホームページなど様々な媒体で			クールを通じた観光PRを図ります。				
	受賞作品を活用し、魅力の発信を図りました。							
	前年に引き続き、区民を中心に多くの応募があ			写真コンクール及びジュニア向け写真教室を引				
R6	りました。受賞作品は、観光PRポスターやナイト			き続き実施するとともに、様々な機会を捉えて受				
	ライフ観光特設サイトなど様々な媒体で活用し、			賞作品を活用した観光PRを行い、本区の魅力発信				
	魅力の発信を図りました。			に繋げていきます。				

4一①-ア 花の五大まつり等助成

事業概要

文京花の五大まつり、朝顔・ほおずき市、根津・千駄木下町まつりのPR及び実施に要する経費等の補助を 行い、まつりの振興と発展を図ります。

指標:文京花の五大まつり等の来場者数(万人)								
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
目標(P)		150	165	165	165	165		
実績(D)		150	165	156				
	成果·評価(D·C)			次年度に向けた取組等(A)				
R4	文京花の五大まつり等の実施及び復興等に要す			引き続き、文京花の五大まつり等の振興及び地域活力				
	る経費への補助を行うことで、まつりの振興及び			の復興等へつながる経費等への補助を行うとともに、積				
	地域活力の復興を図ることができました。			極的な情報発信を行い、まつりへの誘客を促進すること				
				で、まつりの振興及び発展を図ります。				
	文京花の五大まつり等の実施及び復興等に要する経費			引き続き、まつりの振興を図るための経費助成				
	助成を行うとともに、まつりを未来に繋いでいくことを			を行うとともに、将来的な担い手確保に向け、子				
R5	目的に、新たに「まつりの街、文京」プロジェクトを開			ども達がまつりを知り、まつりに関わるための取				
	始し、主に小・中学生向けのワークショップ等を実施し			組を推進します。				
	ました。							
	文京花の五大まつり等の実施に要する経費助成			まつりの継続的な実施に向け、担い手の確保に				
R6	を行うとともに、「まつりの街、文京」プロジェ			つながる取組を補助対象経費に加えるとともに、				
	クトにおいて、中	中学生以下を対象	としたクイズラ	子ども達がまつりを知り、まつりに関わるための				
	リーやオリジナル紙芝居等を実施しました。			取組を推進します。				

イ マイクロツーリズムの推進による周遊性の向上

4-1ーイ 観光ガイド事業

事業概要

区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成するとともに、まちあるきコースの開発や案内を行います。

6 7 6								
指標:観光ガイドツアーの参加者数(人)								
令和4年度 令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度				
目標(P)		300	350	400	450	500		
実績(D)		323	747	910				
	月	战果∙評価(D•C	;)	次年度に向けた取組等(A)				
	新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたガイドツ			引き続き、様々なガイドツアーを実施するとともに、				
R4	アーを令和3年度より段階的に再開し、令和4年度には予約			ガイドツアーの周知を行うことで、観光ガイドの育成を				
	ガイドツアーを再開しました。また、3年ぶりに新規ガイド			図りつつ、本区の魅力を広く発信していきます。				
	の募集を行い、新たに8名の新規ガイドを登録しました。							
R5	文京花の五大まで	つり等の開催に合わ	せて様々なガイド	引き続き、様々なガイドツアーを実施するとともに、				
	ツアーを実施するとともに、予約ガイドツアーの広報を ガイドツアーの周知を行うことで、観光ガイドの育/							
	図ることで、ガイ	ドツアーの参加者数	が増加しました。	図りつつ、本区の別	魅力を広く発信して	いきます。		
R6	文京花の五大まつり等の開催に合わせて、観光			引き続き、様々なガイドツアーを実施し、本区				
	ボランティアガイドによる多彩なガイドツアーを			の魅力を広く発信するとともに、ガイドツアーの				
	実施することで、前年に引き続き、ガイドツアー			継続的な実施に向け、新規ガイドの募集等を行い				
	の参加者数を増加することができました。			ます。				

(2)分野別基本方針② いつでも、どこでも世界をつなぐ観光情報・魅力の収集・発信・共有ア 観光情報の収集・発信力の充実と共有促進

4-②-ア 観光インフォメーション

事業概要

シビックセンター1階で、文京区の観光に関する情報収集・提供や案内を行います。

	ンヒックセンター1階で、又京区の観光に関する情報収集・提供や条内を行います。						
	指標:観光インフォメーションでの案内件数(件)						
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
目標(P) 1,650 1,850			1,850	1,850	1,850		
実績(D) 1,650 1,627		1,901					
	瓦	战果∙評価(D•C	;)	次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	l等(A)	
	国内外の観光容	客数の回復もあり、	来所人数や相	引き続き、本図	区の観光に関する [,]	情報収集を行う	
D4	談件数が増加傾向にある観光インフォメーション			とともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な			
R4	において、広く本	区の観光情報の	発信を行いまし	情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲			
	た。			を高め、観光振興を図ります。			
	昨年度と比較し案内件数(相談件数)はやや減			引き続き、本区の観光に関する情報収集を行う			
R5	少していますが、増加している来所者に対して、			とともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な			
KS	SNSも活用しながら広く本区の観光情報の発信を			情報提供を行うことで、本区への関心や来訪意欲			
	行いました。			を高め、観光振興を図ります。			
	来所者等に対し	ノて相談内容に応	じた案内を行う	引き続き、本区の観光に関する情報収集を行う			
R6	とともに、SNSな	など様々な広報媒体	本を特性に応じ	とともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な			
NO	て使い分けながら	5、広く本区の観	光情報の発信を	情報提供を行うる	ことで、本区への	関心や来訪意欲	
	行いました。			を高め、観光振興	興を図ります。		

4-②-ア 観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化【再掲】

事業概要

区内観光施設や名所・旧跡等を掲載した「観光ガイドブック」及び区内飲食店を紹介する「グルメマップ」を作成します。また、両マップの多言語化及びWEB化を推進します。

指標:観光ガイドブックの作成部数(部)							
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標(P)	60,000	70,000	70,000	70,000	70,000	
	実績(D)	58,000	53,500	72,500			
	瓦	は果∙評価(D•C	;)	次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	等(A)	
	観光ガイドマッ	ップを5か国語、	グルメマップを	引き続き、観光	どガイドマップ等	の多言語化・	
	3か国語で作成す	けるなど、インバ	ウンド需要も見	Web化を推進し、	利便性の向上を	図るとともに、	
D4	据えた多言語化を	を推進しました。	また、東京観光	観光ガイドマップ	プのリニューアル	を行うなど、情	
R4	デジタルパンフレ	/ットギャラリー ⁽	等への掲載を行	報発信力の強化に	こ取り組みます。		
	い、Web上でもノ	ペンフレットが閲!	覧できるよう取				
	り組みました。						
	5年ぶりに観光	とガイドマップの:	全面リニューア	引き続き、観光ガイドブック等の多言語化・			
	ルを行い、新たに	こ「観光ガイドブ	ック」を作成し	Web化を推進し利便性の向上を図るとともに、観			
D.	ました。また、匍	見光ガイドブック	及びグルメマッ	光ガイドブック等を活用し魅力の発信に取り組み			
R5	プの多言語化を推	推進するとともに、	東京観光デジ	ます。			
	タルパンフレット	、ギャラリー等への	の掲載を行い、				
	Web上での閲覧環	環境を整えました。	.				
	観光ガイドブッ	ック及びグルメマ	ップを多言語で	観光ガイドブッ	ック等による情報:	 発信を継続する	
	作成するとともに	こ、東京観光デジ	タルパンフレッ	とともに、観光が	色設やコミュニテ	ィバス等の交通	
R6	トギャラリー等へ	への掲載を行い、	Web上での閲覧	情報など、エリフ	マ全体の情報を一	元化した多言語	
	環境を整えました	Ć.		対応のデジタルマ	マップを導入し、	区内周遊におけ	
				る利便性の向上を	と図ります。		

イ 情報発信環境の整備

4-2-イ 観光インフォメーション【再掲】

事業概要

シビックセンター1階で、文京区の観光に関する情報収集・提供や案内を行います。

		指標:観光	インフォメーショ	ンでの案内件	数(件)		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標(P)	1,650	1,850	1,850	1,850	1,850	
実績(D) 1,650 1,627		1,901					
成果·評価(D·C)			次年度	Eに向けた取組 かっこう こうかん こうかん だいかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	.等(A)		
	国内外の観光客類	数の回復もあり、来	所人数や相談件数	引き続き、本区の	の観光に関する情報	収集を行うととも	
R4	が増加傾向にある額	観光インフォメーシ	ョンにおいて、広	に、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行			
114	く本区の観光情報の	の発信を行いました		うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を			
				図ります。			
	昨年度と比較し	案内件数(相談件数	() はやや減少して	引き続き、本区の	の観光に関する情報	似集を行うととも	
R5	いますが、増加して	ている来所者に対し	て、SNSも活用し	に、様々な媒体を通じて観光客への適切な情報提供を行			
110	ながら広く本区の智	観光情報の発信を行	いました。	うことで、本区への関心や来訪意欲を高め、観光振興を			
				図ります。			
	来所者等に対し	ノて相談内容に応	じた案内を行う	引き続き、本区の観光に関する情報収集を行う			
R6	とともに、SNSな	とともに、SNSなど様々な広報媒体を特性に応じ			とともに、様々な媒体を通じて観光客への適切な		
KO	て使い分けながら	ら、広く本区の観	光情報の発信を	情報提供を行うさ	ことで、本区への	関心や来訪意欲	
	行いました。			を高め、観光振興を図ります。			

4-2-イ 観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化

事業概要

区内観光施設や名所・旧跡等を掲載した「観光ガイドブック」及び区内飲食店を紹介する「グルメマップ」を作成します。また、両マップの多言語化及びWEB化を推進します。

	指標:観光ガイドブックの作成部数(部)							
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	60,000	70,000	70,000	70,000	70,000		
実績(D) 58,000 53,500		72,500						
成果·評価(D·C)			次年度	まに向けた取組	等(A)			
	観光ガイドマップ	を5か国語、グルメマ	アップを3か国語で	引き続き、観え	光ガイドマップ等(の多言語化・		
		バウンド需要も見据え		 Web化を推進し、利便性の向上を図るとともに、				
R4		京観光デジタルパンフ		 観光ガイドマップのリニューアルを行うなど、情				
	寺への掲載を行い、' う取り組みました。	Web上でもパンフレッ	/トか閲覧できるよ	 報発信力の強化に取り組みます。				
	5年ぶりに観光ガイドマップの全面リニューアルを行い、			引き続き、観光ガイドブック等の多言語化・				
	新たに「観光ガイド	ブック」を作成しまし	た。また、観光ガ	Web化を推進し利便性の向上を図るとともに、観				
R5	イドブック及びグル	メマップの多言語化を	と推進するととも	光ガイドブック等を活用し魅力の発信に取り組み				
		ルパンフレットギャラ	リー等への掲載を	ます。				
		<u>覧環境を整えました。</u> ク及びグルメマップ			等による情報発信を維	*続するとともに.		
		ク及ひァルグ 、ァァ 観光デジタルパンフ		観光ガイドブック等による情報発信を継続するとともに、 観光施設やコミュニティバス等の交通情報など、エリア全体				
R6		Web上での閲覧環		の情報を一元化した多言語対応のデジタルマップを導入し、				
	3 19 70 211 4			区内周遊における利金	便性の向上を図ります	•		

(3)分野別基本方針③ つながりから生まれる観光の推進ア 他分野(スポーツ、文化芸術等)との融合

4-3-ア 文の京ミュージアムネットワーク【再掲】

事業概要

区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」(文京 ミューズネット)として連携し、各施設の特色や個性を発信します。

令和8年度に向けた目標(P)

区と施設及び施設間の連携を深め、区の貴重な文化資源として積極的に周知していきます。

	成果·評価(D·C)	次年度に向けた取組等(A)
	例年実施している事業(全体会議、文京ミュー	令和5年度は施設改修工事のためミューズフェ
	ズネットマップの作成、ミューズフェスタの開	スタの開催を中止します。代替事業としてミュー
	催)のほか、単年度事業として入館料助成キャン	ズ施設をめぐるデジタルスタンプラリーを実施
R4	ペーンを行い、2か月間で16,398件もの利用があ	し、ミューズネットの活動を盛り上げます。
K4	りました。これに伴いミューズネットマップ日本	
	語版も作成した35,000部すべてが配布終了するな	
	ど、文の京ミューズネットの認知度が大きく向上	
	したと考えれられます。	
	例年同様全体会議及び文京ミューズネットマッ	「文京ミューズフェスタ」は一部を委託化して
	プの作成を行いました。	内容を充実させていきます。
	施設改修工事のため「文京ミューズフェスタ」	また、近年増大している海外からの観光客等に
	が中止となり、代替事業として実施した「文京	周知できるよう英語版文京ミューズネットマップ
R5	ミューズネット周遊デジタルカードラリー」には	の活用方法を検討していきます。
	26施設が参加し、706人の参加がありました。	
	また全国藩校サミット文京大会の機運醸成のた	
	め、3施設から藩校に関連した所蔵品の展示等の	
	協力を得ました。	
	例年同様全体会議及び文京ミューズネットマッ	区の貴重な文化資源に触れられる機会を提供す
R6	プの作成を行いました。	るため、「文京ミューズフェスタ」の開催期間を
Ro	また、施設改修工事が完了し、「文京ミューズ	増やすことを検討します。
	フェスタ」を開催し、446人が来場されました。	

4-3-ア 文京博覧会(ぶんぱく)【再掲】

事業概要

区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。区内大学の産学連携または地域連 携事業も紹介します。

		指標:文京†	専覧会(ぶんぱ	く)への来場者	数(人)		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標(P) 8,000 9,000			10,000	11,000	12,000	
実績(D) 8,507 10,625			14,256				
成果·評価(D·C)			次年度に向けた取組等(A)				
	区内企業・産業	美団体・区内大学:	などによる展	区内産業や伝統	充工芸等を文京区	内外により広く	
R4	示・実演・研究剤	発表・販売などを?	行い、区内産業	知ってもらうため、積極的な情報発信を行ってい			
	等について広く区	区内外に情報発信	を行いました。	く必要があります。			
	コロナ禍以前と	: 同規模で開催し、	区内企業・産	開催内容の充実を図るとともに、各種SNSを活			
R5	業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発			用した効果的な情報発信を行うことで、区内産業			
Ro	表・販売などを行	けい、区内産業等(について文京区	や伝統工芸等の更なる認知度向上を目指します。			
	内外に広く情報剤	発信をすることが [.]	できました。				
	昨年度に引き総	売き、区内企業・j	産業団体・区内	来場者が楽しみ	ながら区内産業.	や伝統工芸への	
R6	大学などによる風	大学などによる展示・実演・研究発表・販売など			理解を深められるよう、内容の充実を図っていき		
ΚU	を行いました。②	区内産業等につい	て文京区内外に	ます。			
	広く情報発信をす	けることができま	した。				

イ 国内外の協定等締結自治体や近隣自治体等との連携・協力

4-3-イ 都市交流フェスタ【再掲】

事業概要

外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通じて、国際交流、国内交流のそれぞれの魅力を体験するイベントを実施します。

37 ()								
	指標:都市交流フェスタの来場者数(人)							
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	1,300	1,350	1,400	1,450	1,500		
	実績(D)	1,300	4,785	6,079				
	瓦	t果·評価(D·C	3)	次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	[等(A)		
	4年振りに対面	面での国際交流フ	ェスタを実施	国際交流のみな	ょらず、国内交流	の魅力発信を充		
	し、前回(令和テ	元年度)より来場	者数が200人増加	実させ、双方の対	て化に触れてもら	うイベントへと		
R4	しました。また、	国内交流自治体	の物産展を実施	規模を拡大します	r。そのため、よ	り誘客でき、か		
	する等国内の魅力	り発信も併せて行	いました。	つ、交流自治体の)認知度向上へつ	ながる出展を検		
				討し、内容の充実	₹を図ります。			
	礫川公園でのき	キッチンカー出店 [.]	や、道路を一部	開催期間の見画	直しなど、より参え	加者の方が楽し		
	規制しトラックス	ステージを設置す	るなど、事業内	みながら文化体験等ができるイベントとなるよ				
	容の大幅なリニ <i>=</i>	ューアルに伴い、i	前回より来場者	う、内容の充実を図ります。引き続き、区内団体				
R5	が約3,500人増加	しました。また、	交流自治体のご	との協働により住民間の交流促進につながる出展				
	当地キャラクタ-	-とのふれあいや	国内外の文化体	を検討し、本区の魅力を再発見・再確認できる機				
	験などを通じて、	交流自治体の認	知度向上や異文	会とします。				
	化交流の機会とす	することができま	した。					
	初の2日間開催	崖とし、前回より	来場者が約1,300	区及び交流自治	合体の魅力発信の	強化として、観		
	人増加しました。	初日は、熊本県	縁の竹あかりの	光及び文化等の体験内容の充実を図るとともに、				
	ライトアップを放	もした中、交流自治	治体の特産品及	区内団体等との協	協働を検討します。	。また、交流自		
	びグルメを来場者	皆に楽しんでもら	うことができま	治体と協働し、オ	そ場者に区及び交流	流自治体の魅力		
R6	した。2日目は、前年度に引き続き文京シビック			を多角的に発信できるイベントへと発展させてい				
	センター及び礫川	公園を一体的に	活用し、国内外	きます。				
	の文化体験及びる	を流自治体による?	物産展等多様な					
	プログラムを通し	ごて、より多くの?	方に交流都市の					
	魅力を体感しても	ららうことができ	ました。					

4-3-イ 文京博覧会(ぶんぱく)【再掲】

事業概要

区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。区内大学の産学連携または地域連 携事業も紹介します。

		指標:文京	専覧会(ぶんぱ	く)への来場者	数(人)			
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	8,000	9,000	10,000	11,000	12,000		
	実績(D)	8,507	10,625	14,256				
成果·評価(D·C)			次年度	Eに向けた取組	[等(A)			
	区内企業・産業	美団体・区内大学:	などによる展	区内産業や伝統	充工芸等を文京区	内外により広く		
R4	示・実演・研究発表・販売などを行い、区内産業			知ってもらうため、積極的な情報発信を行ってい				
K4	等について広く区内外に情報発信を行いました。			く必要があります。				
	コロナ禍以前と	ニ同規模で開催し、	区内企業・産	開催内容の充実を図るとともに、各種SNSを活				
R5	業団体・区内大学などによる展示・実演・研究発			用した効果的な情報発信を行うことで、区内産業				
Ko	表・販売などを行	うい、区内産業等(について文京区	や伝統工芸等の更なる認知度向上を目指します。				
	内外に広く情報剤	発信をすることが [.]	できました。					
	昨年度に引き終	売き、区内企業・)	産業団体・区内	来場者が楽しみ	ながら区内産業·	や伝統工芸への		
R6	大学などによる風	学などによる展示・実演・研究発表・販売など			理解を深められるよう、内容の充実を図っていき			
ΚU	を行いました。②	区内産業等につい	て文京区内外に	ます。				
	広く情報発信をす	することができま	した。					

(4)分野別基本方針④ 何度でも訪れたくなるおもてなしの環境整備ア 観光客の受入基盤整備

4-④-ア 観光ガイドブック、グルメマップの作成・多言語化【再掲】

事業概要

区内観光施設や名所・旧跡等を掲載した「観光ガイドブック」及び区内飲食店を紹介する「グルメマップ」を作成します。また、両マップの多言語化及びWEB化を推進します。

		指標∶種	見光ガイドブック	7の作成部数(音	部)			
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	60,000	70,000	70,000	70,000	70,000		
	実績(D)	58,000	53,500	72,500				
	月	战果∙評価(D•C	;)	次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	[等(A)		
	観光ガイドマッ	ノプを5か国語、:	グルメマップを	引き続き、観光	どガイドマップ等の	の多言語化・		
	3か国語で作成す	けるなど、インバ	ウンド需要も見	Web化を推進し、	利便性の向上を	図るとともに、		
R4	据えた多言語化を	と推進しました。	また、東京観光	観光ガイドマップ	プのリニューアル	を行うなど、情		
K4	デジタルパンフレ	vットギャラリー ⁽	等への掲載を行	報発信力の強化に	こ取り組みます。			
	い、Web上でもノ	パンフレットが閲り	覧できるよう取					
	り組みました。							
	5年ぶりに観光	ťガイドマップの:	全面リニューア	引き続き、観光ガイドブック等の多言語化・				
	ルを行い、新たに	こ「観光ガイドブ	ック」を作成し	Web化を推進し利便性の向上を図るとともに、観				
R5	ました。また、観	見光ガイドブック	及びグルメマッ	光ガイドブック等を活用し魅力の発信に取り組み				
Ro	プの多言語化を推	推進するとともに、	東京観光デジ	ます。				
	タルパンフレット	、ギャラリー等への	の掲載を行い、					
	Web上での閲覧環	環境を整えました。						
	観光ガイドブッ	/ク及びグルメマ	ップを多言語で	観光ガイドブッ	ック等による情報	発信を継続する		
	作成するとともに	こ、東京観光デジ	タルパンフレッ	とともに、観光が	施設やコミュニテ	ィバス等の交通		
R6	トギャラリー等~	、の掲載を行い、\	Web上での閲覧	情報など、エリフ	ア全体の情報を一	元化した多言語		
	環境を整えました	C 。		対応のデジタルマ	マップを導入し、[区内周遊におけ		
				る利便性の向上を図ります。				

4-④-ア 文の京ミュージアムネットワーク【再掲】

事業概要

区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」(文京 ミューズネット)として連携し、各施設の特色や個性を発信します。

令和8年度に向けた目標(P)

区と施設及び施設間の連携を深め、区の貴重な文化資源として積極的に周知していきます。

	プロ 記(F/D の)	なた英にウはも 取の答(*)
	成果·評価(D·C)	次年度に向けた取組等(A)
	例年実施している事業(全体会議、文京ミュー	令和5年度は施設改修工事のためミューズフェ
	ズネットマップの作成、ミューズフェスタの開	スタの開催を中止します。代替事業としてミュー
	催)のほか、単年度事業として入館料助成キャン	ズ施設をめぐるデジタルスタンプラリーを実施
D4	ペーンを行い、2か月間で16,398件もの利用があ	し、ミューズネットの活動を盛り上げます。
R4	りました。これに伴いミューズネットマップ日本	
	語版も作成した35,000部すべてが配布終了するな	
	ど、文の京ミューズネットの認知度が大きく向上	
	したと考えれられます。	
	例年同様全体会議及び文京ミューズネットマッ	「文京ミューズフェスタ」は一部を委託化して
	プの作成を行いました。	内容を充実させていきます。
	施設改修工事のため「文京ミューズフェスタ」	また、近年増大している海外からの観光客等に
	が中止となり、代替事業として実施した「文京	周知できるよう英語版文京ミューズネットマップ
R5	ミューズネット周遊デジタルカードラリー」には	の活用方法を検討していきます。
	26施設が参加し、706人の参加がありました。	
	また全国藩校サミット文京大会の機運醸成のた	
	め、3施設から藩校に関連した所蔵品の展示等の	
	協力を得ました。	
	例年同様全体会議及び文京ミューズネットマッ	区の貴重な文化資源に触れられる機会を提供す
R6	プの作成を行いました。	るため、「文京ミューズフェスタ」の開催期間を
RO	また、施設改修工事が完了し、「文京ミューズ	増やすことを検討します。
	フェスタ」を開催し、446人が来場されました。	

イ 多様な人材の育成・活用

4-4-イ 観光ガイド事業【再掲】

事業概要

区民を中心としたボランティアの観光ガイドを育成するとともに、まちあるきコースの開発や案内を行います。

	指標:観光ガイドの新規登録者数(人)							
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	10	-	10	-	10		
	実績(D)	8	ı	-				
成果·評価(D·C)			次年度	次年度に向けた取組等(A)				
	新型コロナウィ	イルス感染症の影響	響で中止してい	引き続き、様々	なおイドツアー	を実施するとと		
	たガイドツアーを	たガイドツアーを令和3年度より段階的に再開			アーの周知を行う	ことで、観光ガ		
R4	し、令和4年度には予約ガイドツアーを再開しま			イドの育成を図りつつ、本区の魅力を広く発信し				
	した。また、3年ぶりに新規ガイドの募集を行			ていきます。				
	い、新たに8名の	の新規ガイドを登録	録しました。					
	文京花の五大き	まつり等の開催に1	合わせて様々な	引き続き、様々なガイドツアーを実施するとと				
R5	ガイドツアーを実施するとともに、予約ガイドツ			もに、ガイドツアーの周知を行うことで、観光ガ				
Ko	アーの広報を図る	ることで、ガイド゛	ソアーの参加者	イドの育成を図りつつ、本区の魅力を広く発信し				
	数が増加しました	Co		ていきます。				
	文京花の五大	まつり等の開催に1	合わせて、観光	引き続き、様々なガイドツアーを実施し、本区				
R6	ボランティアガィ	イドによる多彩な:	ガイドツアーを	の魅力を広く発信するとともに、ガイドツアーの				
ΚŪ	実施することで、	前年に引き続き、	ガイドツアー	継続的な実施に向け、新規ガイドの募集等を行い				
	の参加者数を増加	叩することができ	ました。	ます。				

第7章 国内・国際交流分野の点検・評価

1. 国内・国際交流分野の評価

文京区アカデミー推進協議会委員(学識経験者)
国内·国際交流分科会座長 山田 徹雄

2. 主要事業一覧

分野別	基本方針①国内交流自治体との交流促進と相互発展	アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア国	内交流自治体の魅力発信とPR の充実			
101	国内交流自治体食材購入費補助事業	0	0	
102	都市交流フェスタ【再掲】	0	0	
イ国	内交流自治体との交流の活性化			
103	交流自治体主催の区民向け事業への協力	0		
104	区事業における物産展等の出店	0		
ウ横	断的な交流事業の展開			
105	文京博覧会(ぶんぱく)【再掲】	0		
106	「文の京文化発信プロジェクト」【再掲】	0	0	
分野別	基本方針②国際理解を育み定着に向けた機会づくり	アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア海	外都市との交流の活性化			
107	海外都市との交流の活性化	0	0	
108	ホームステイ生徒交換事業	0	0	
イ国	際理解に向けた情報の収集・発信・共有			
109	生涯学習講座での国際理解推進	0		
110	都市交流フェスタ	0	0	
111	国際理解促進事業	0	0	0
ウ横	断的な交流事業の展開			
112	国際理解促進事業【再掲】	0	0	0
分野別	基本方針③外国人が活躍できる環境づくり	アカデミー推進計画	総合戦略	重点
ア多	言語及びやさしい日本語を活用した情報発信の充実			
113	外国人の日常生活支援のための多言語化	0		
114	国際理解促進事業【再掲】	0	0	0
イ外	国人の活躍できる場の提供支援			
115	区内大学、ボランティア団体等との協働・連携	0		

[※]総合戦略の欄は、「文の京」総合戦略(令和6年度~令和9年度)に掲載されている事業。

[※]重点の欄は、令和6年度に文京区の重点施策として選定された事業。

3. 分野別基本方針に対する事業を通じた達成状況

(1)分野別基本方針① 国内交流自治体との交流促進と相互発展

指標	現状	目標値	
国内交流自治体の認知度	18.5% (令和元年度)	18.3% (令和7年度)	25.0%

【分野別基本方針① 国内交流自治体との交流促進と相互発展の状況】

交流自治体の魅力発信とPRの充実では、都市交流フェスタを2日間開催し、例年開催している交流 自治体の物産展に加え、交流自治体ゆかりの装飾、文化体験ブースの設置及び伝統芸能披露等、内 容の充実を図ることで、交流自治体の認知度向上や交流都市の魅力を発信する機会とすることができま した。引き続き、住民間の交流促進につながる出展を検討し、本区及び交流自治体の魅力を再発見・再 確認できる機会とします。

交流自治体との交流の活性化では、文京博覧会等各事業と連携し、物産展を開催することで、区民に幅広く交流自治体の魅力を発信することができました。また、令和5年度に引き続き金沢市とともに震災復興を支援する物産展を開催しました。今後も、交流自治体の観光資源や物産を広くPRすることで、交流自治体の魅力を区民に広く周知するとともに、住民間の交流を促進します。

横断的な交流事業の展開では、文の京文化発信プロジェクトとして協定締結自治体である島根県津和野町と連携し、石見神楽公演を6年振りに実施しました。また、金沢市友好交流都市提携5周年を記念して、能プロジェクトにおいて加賀宝生の能楽師の登壇や、前田家から宝生会に贈られた能装束の展示等を行いました。引き続き、交流自治体の文化に触れる機会を提供し、さらなる交流の活性化につながるような事業を実施していきます。

これらの取組を着実に進めることで、文京区及び国内交流自治体双方の魅力を発信するとともに、日頃から協定締結等自治体をはじめ、交流自治体との連携を強化し、災害等の際に備えた関係性構築のために、より自治体同士の関係を強固にしていきます。

【アカデミー推進協議会の意見】

- 0
- 0
- \bigcirc

(2)分野別基本方針② 国際理解を育み定着に向けた機会づくり

指標	現物	目標値	
り回しと充法している区民の割合	25.2%	14.0%	2F 09/
外国人と交流している区民の割合	(令和元年度)	(令和7年度)	35.0%
海内のhtht切士 + h7切士の=3万0中	26.1%	29.7%	OF 00/
海外の姉妹都市・友好都市の認知度	(令和元年度)	(令和7年度)	35.0%

【分野別基本方針② 国際理解を育み定着に向けた機会づくりの状況】

海外都市との交流の活性化では、4月に大韓民国ソウル特別市松坡区庁長等松坡区公式訪問団を受け入れ、覚書を締結し、12月には松坡区へ区公式訪問団を派遣して姉妹都市として提携しました。また、同区職員が区事業に出展する等、人的交流を促進しました。引き続き姉妹都市等との友好関係を深め、その理解と認知度向上を図るとともに、人的交流の活性化に取り組んでいきます。

国際理解に向けた情報の収集・発信・共有では、アカデミア講座において、諸外国の歴史や文化、外国語によるコミュニケーション能力向上等、多くの講座を実施しました。引き続き、外国の歴史や文化の理解、外国語に関する講座を実施するとともに、交流自治体に関する講座の実施についても検討します。

横断的な交流事業の展開では、友好都市提携10周年を迎えるトルコのイスタンブール市ベイオウル区等、交流自治体に関わる文化講座等を実施しました。トルコ文化講座では、ワークショップ及び古典音楽コンサート等体験を通じて、多くの区民がトルコ文化に触れる機会を提供しました。その他にも、韓国文化講座等、区民が多様な文化に触れる機会を創出しました。 引き続き講座内容や開催日程等について区民ニーズを的確に把握し、参加者数の増加を図ります。特に、講座内容はターゲットに合わせた内容を検討するとともに、SNSの活用等の効果的な事業周知を行います。

姉妹都市等と協働し、区民の国際理解の定着に向けた情報発信や異文化に触れる機会づくりを継続し、一時的な体験で終わらないように継続性を持たせた事業展開を検討します。

【アカデミー推進協議会の意見】

- \bigcirc
- \bigcirc
- 0

(3)分野別基本方針③ 外国人が活躍できる環境づくり

指標	現物	目標値	
外国人における文京区への愛着度	- (令和元年度)	- (令和7年度)	50.0%

【分野別基本方針③ 外国人が活躍できる環境づくりの状況】

多言語及びやさしい日本語を活用した情報発信の充実では、わかりやすいホームページを構築するため、既存の英語、韓国語、中国語(繁体字・簡体字)に加え、127言語に対応するよう更新しました。さらに、令和元年度以来となる外国版生活便利帳を改訂し、発行しました。引き続き、多言語化により外国籍の方にもわかりやすく各種サービスや区政情報を提供していきます。

また、国際理解促進事業として、やさしい日本語を活用した留学生との交流会を拡充し、基礎編及び発展編の2回連続講座を年2回開催しました。やさしい日本語を学び実践するとともに、区民と留学生が交流する機会を提供することができました。また、昨年度と同様に、やさしい日本語を体系的に学ぶことで区民満足が高まることがわかりました。区民が国籍問わず交流する機会として、引き続き取組を継続します。

外国人の活躍できる場の提供支援では、Bチャレ事業の一環として区内団体と協働し、日本文化の体験を通じ区内在住外国人と日本人が交流する機会を創出しました。引き続き区民が国籍問わず交流する機会を創出するとともに、区内在住の外国人支援の在り方及び関係団体等との協働について、関係部署等と改めて検討します。

これらの取組を着実に進めることで、区内在住・在学外国人が、暮らしやすく、また、地域活動等に参加しやすい環境を整え、外国人が活躍できる環境づくりを促進します。

【アカデミー推進協議会の意見】

- 0
- 0
- 0

5.国内・国際交流 (No.96~110)

4. 主要事業の成果に対する評価

(1)分野別基本方針① 国内交流自治体との交流促進と相互発展ア 国内交流自治体の魅力発信とPR の充実

5-1-ア 国内交流自治体食材購入費補助事業

事業概要

協定締結自治体と食を通じた交流の活性化を図る事業。区内飲食店が交流自治体の食材を利用し料理等を 提供した場合、食材購入費の一部を補助します。料理提供期間に合わせ、食めぐりスタンプラリーを実施す ることで交流自治体の魅力を発信し、区民への周知を図ります。

	指標:参加店舗数(件)/食めぐりスタンプラリー応募者数(人)							
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	目標(P)	16/254	16/260	17/270	17/275	18/280		
	実績(D)	16/254	16/159	13/118				
	瓦	t果·評価(D·C	;)	次年度	をに向けた取組	l等(A)		
	食めぐりスタン	/プラリー参加店?	舗が8店舗増加	引き続き交流自	目治体、区民及び	参加事業者3者		
	し、スタンプラリ	リー応募件数も44	件増加しまし	にメリットのある	る事業になるよう、	、当選商品の検		
R4	た。また、スタン	/プラリー当選賞;	品を協定等締結	討及びスタンプラ	リーの方法を検	討していきま		
114	自治体の特産品に	こリニューアルし	たことで、区民	す。また、事業の)認知度の向上を	図るだけでは		
	が交流自治体を知	口る契機となり、こ	文京区の交流自	く、協定締結等自	目治体の認知度向.	上にも寄与する		
	治体の認知度向」	上につなげること:	ができました。	周知を行います。				
	参加店舗の業績	態等により、応募	者数は減少して	参加店舗の増加	ロために、申請の	受付方法及び周		
	しまいました。し	っかし、スタンプ [®]	ラリー当選賞品	知方法等の見直し)を検討します。	また、引き続き		
R5	の見直し及び当選人数の増加により、冷蔵品等も			事業の魅力度向上及び交流自治体の認知度向上に				
110	含めた幅広い協定等締結自治体の特産品を賞品と			つながるよう、区民が参加しやすく、より集客効				
	することで、区目	民の交流自治体の	認知度及び魅力	果を高める方法を検討していきます。				
	度向上につなげる	ることができまし	<i>t</i> =。					
	参加店舗の減少	少等により、応募 ⁵	者数が減少しま	参加店舗及び参	参加者数が減少し	ている状況を鑑		
	した。一方で、ダ	を流自治体所在の	事業者が推奨す	み、今後は、同様	まの事業趣旨を持 [・]	つ都市交流フェ		
	る特産品を賞品と	こして贈呈すると	ともに、交流自	スタ等において、交流自治体の食材を使用する区				
R6	治体パンフレット	、を同封すること	で、交流自治体	内飲食店の出展等により、食を通じた自治体間交				
110	の認知度向上につ	つなげることがで	きました。	流のさらなる活性	性化に取り組んで	いきます。ま		
					おいて交流自治体			
				販売等を実施し、	幅広く区内外に	向けた交流自治		
				体を周知する機会	会とします。			

5-①-ア 都市交流フェスタ【再掲】

事業概要

外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通じて、国際交流、国内交流のそれぞれの魅力を体験するイベントを実施します。

			『市交流フェスク	の来場者数(.		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標(P) 1,300 1,350			1,400	1,450	1,500
	実績(D)	1,300	4,785	6,079		
	瓦	t果·評価(D·C	;)	次年度	をに向けた取組	[等(A)
	4年振りに対面	面での国際交流フ	ェスタを実施	国際交流のみな	ならず、国内交流	の魅力発信を充
	し、前回(令和テ	元年度)より来場	者数が200人増加	実させ、双方の対	て化に触れてもら	うイベントへと
	しました。また、	国内交流自治体	の物産展を実施	規模を拡大します	├。そのため、在 [∕]	住・在学外国人
R4	する等国内の魅力	り発信も併せて行	いました。	をはじめ新たな参	参加者を誘客でき、	、かつ、交流自
	文化体験コーナー	- が特に好評であ	り、文化体験等	治体の認知度向」	こへつながる出展	を検討し、内容
	を通じた異文化な	 交流の機会とする	ことができまし	の充実を図ります	t.	
	た。					
	礫川公園でのき	キッチンカー出店 [.]	や、道路を一部	開催期間の見画	直しなど、より参え	加者の方が楽し
	規制しトラックス	ステージを設置す	るなど、事業内	みながら文化体駅	食等ができるイベ	ントとなるよ
	容の大幅なリニューアルに伴い、前回より来場者 う、内容の充実を図ります。引き続き、区内団体					
R5	が約3,500人増加	しました。また、	交流自治体のご	との協働により住民間の交流促進につながる出展		
	当地キャラクタ-	-とのふれあいや	国内外の文化体	を検討し、本区の魅力を再発見・再確認できる機		
	験などを通じて、	交流自治体の認	知度向上や異文	会とします。		
	化交流の機会とす	することができま	した。			
	初の2日間開催	崖とし、前回より	来場者が約1,300	区及び交流自治	合体の魅力発信の	強化として、観
	人増加しました。	初日は、熊本県流	縁の竹あかりの	光及び文化等の位	▶験内容の充実を	図ります。ま
	ライトアップを乳	実施し、交流自治(本の特産品及び	た、交流自治体と	:協働し、来場者	に区及び交流自
	グルメを来場者に	こ楽しんでもらう	ことができまし	治体の魅力を多角	角的に発信できる	イベントへと発
R6	た。2日目は、前	前年度に引き続き	文京シビックセ	展させていきます	Γ.	
	ンター及び礫川な	公園を一体的に活力	用し、国内外の			
	文化体験及び交流	充自治体による物 が	産展等多様なプ			
		て、より多くの方				
	力を体感してもら	らうことができま	した。			

イ 国内交流自治体との交流の活性化

5-①-イ 交流自治体主催の区民向け事業への協力

事業概要

くまモンファン感謝祭、上天草フェアの後援、モリハチ祭りの共催などを行い、事業に協力します。

	指標:後援•共催事業数(件)									
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	目標(P)	1	3	3	3	3				
	実績(D)	0	3	1						
	瓦	t果·評価(D·C	;)	次年度	Eに向けた取組	.等(A)				
	4年度は新型コ	コロナウイルス感	染症の影響で、	5年度以降、名	ら 自治体が事業が	活発になること				
	各自治体と連携し	した後援等の事業	の実施はありま	から、徐々に後接	爰等の依頼の増加:	が見込まれま				
R4	せんでした。			す。依頼等があっ	った場合は、事業	趣旨の精査を				
				し、後援等する際は、情報発信等に積極的に協力						
				します。						
	盛岡市の文士劇	則及びモリハチ祭	りの共催及び現	今後も交流自治体から後援等の依頼があれば、						
	代版組踊「肝高の	の阿麻和利」の後	爰をし、文化芸	引き続き事業趣旨を精査し、各自治体と連携し、						
R5	術及び物産展等を	を通じて交流都市の	の魅力を発信し	情報発信に協力します。また、共催及び後援等に						
	ました。			かかわらず交流自治体との事業連携を活発化させ						
				ていきます。						
	盛岡市とモリィ	ヽチ祭りを共催し、	物産展等を通	今後も交流自治	台体から後援等の位	依頼があれば、				
	じて交流都市の鬼	魅力を発信しまし <u>:</u>	た。その他、玉	引き続き事業趣旨	旨を精査した上で:	各自治体と連携				
R6	名市とミニトマト	ト苗植え体験事業	及び金沢市と氷	し、情報発信に協	協力します。また、	、共催及び後援				
	室の雪氷展示等協	協定締結等自治体	との交流事業を	等にかかわらずる	を流自治体との事	業連携を活発化				
	実施しました。			させていきます。						

5-①-イ 区事業における物産展等の出店

事業概要

文京博覧会、花の5大まつり、藩校サミット、時代まつり等への交流自治体物産展の出店により、周知を します。

U									
		指標	票:物産展等の	出店日数(日)					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	目標(P)	45	50	50	50	50			
	実績(D)	45	75	99					
	瓦	^{找果・} 評価(D・C	;)	次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	[等(A)			
	各イベントに交	で流自治体が物産	展を出店し、誘	今後も交流自治	台体の参加を促し、	、その地域の観			
	客につなげること	こができ、併せて	区民に国内交流	光資源や物産を広	なくPRすることで	、国内の魅力を			
	自治体の魅力を応	なく発信し、周知 [・]	することができ	区民に広く周知し	ノ、交流を継続す _。	るとともに、よ			
R4	ました。			り自治体同士の関	関係を強固にし、	さらに自治体間			
	物産展の出店を	を通じ、交流自治	本との関係構築	交流の促進につな	ょげていきます。				
	に寄与し、さらな	なら自治体同士の	連携強化につな						
	げることができて	ています。							
	盛岡文士劇等交流自治体が実施するイベント等			協定締結等自治体をはじめ、交流自治体との連					
		りに物産展を開催		携を強化し、より自治体同士の関係を強固にして					
	業と連携し、物産			いきます。また、その地域の観光資源や物産を広					
R5	民に交流自治体制			くPRすることで、国内の魅力を区民に広く周知					
		ちとともに物産展:		し、住民間の交流を促進します。					
	体PRだけでなく、		する趣旨での事						
	業を展開すること	こができました。 							
	Sky View Lour	nge BAR等各種事	業での機会をと	交流自治体と導	連携し、交流自治位	体の観光資源や			
	らえて、交流自治	台体による物産展	を開催しまし	物産を広くPRす	ることで、その魅	力を区民に広く			
	た。また、都市交	ど流フェスタでは、	. 15自治体の出	周知し、認知度向上を図るとともに、住民間の交					
R6	展があり、区民に				事業を実施しまっ				
	_	また、令和5年		事業を共同で実施することで、より自治体同士の					
	沢市とともに震災	災復興を支援する	駆旨で物産展を	関係を強固にしていきます。					
	開催しました。								

ウ 横断的な交流事業の展開

5-①-ウ 文京博覧会(ぶんぱく)【再掲】

事業概要

区内産業・商業・消費者団体などによる展示・実演・販売を行います。併せて交流自治体物産展の出店を 行います。

		指標:文京	専覧会(ぶんぱ	く)への来場者	数(人)						
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
	目標(P)	8,000	9,000	10,000	11,000	12,000					
	実績(D)	8,507	10,625	14,256							
	月	t果·評価(D·C	;)	次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	[等(A)					
	区内企業・産業	美団体・区内大学:	などによる展	区内産業や伝統	充工芸等を文京区	内外により広く					
	示・実演・研究剤	発表・販売などを?	行い、区内産業	知ってもらうため	り、積極的な情報	発信を行ってい					
R4	等について広く፟፟፟፟	区内外に情報発信	を行うことによ	きます。							
	り、文京区内外に広く周知することができまし										
	た。										
	コロナ禍以前と	こ同規模で開催し、	区内企業・産	開催内容の充実	星を図るとともに、	、各種SNSを活					
R5	業団体・区内大学	学などによる展示	・実演・研究発	用した効果的な情報発信を行うことで、区内産業							
Ro	表・販売などを行	けい、区内産業等 にんしん アイス	について文京区	や伝統工芸等の更なる認知度向上を目指します。							
	内外に広く情報剤	発信をすることが [.]	できました。								
	昨年度に引き総	昨年度に引き続き、区内企業・産業団体・区内			来場者が楽しみながら区内産業や伝統工芸への						
R6	大学などによる風	大学などによる展示・実演・研究発表・販売など			理解を深められるよう、内容の充実を図っていき						
KO	を行いました。②	区内産業等につい	て文京区内外に	ます。							
	広く情報発信をす	することができま	した。								

5-①-ウ「文の京文化発信プロジェクト」【再掲】

事業概要

文京区らしさを活かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働(共催)により、特色を活かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールします。

京・	京・文京を広くアピールします。								
		指標	票:事業参加者	数の合計(人)					
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	目標(P)	374	498	623	623	623			
	実績(D)	228	1214	846					
	瓦	t果·評価(D·C	;)	次年度	間に向けた取組	[等(A)			
	コロナ禍のため	か一事業は中止を	令和5年度は参	参加者数をコロナ [;]	禍前の8割の水				
	が、他の事業は再	 開しました。		準に戻すことを目	目標とします。				
	コロナ禍前の2	2年間(平成30年	、令和元年)の	盛岡市と友好都	『市提携5周年を	迎えるため、両			
R4	平均值623人(終	了事業の実績を除	除く)の6割であ	自治体で互いのス	と化を発信する事	業を開催し、交			
	る374人の参加を	目標としましたた	ド、例年500人近	流を活発化させる	ます。ミスさんさ	派遣委託等の事			
	い参加者がある石	5見神楽公演の中.	止の影響もあ	業を開催して区	民に盛岡市の文化	に触れる機会を			
	り、達成率は6割	削でした。		提供していきます	t.				
	盛岡市友好都市	方提携 5 周年記念	事業を開催した	令和6年度は会	企 沢市友好交流都	市提携5周年のた			
	ため、目標を大き	きく上回る実績が	ありました。	め、金沢市でも盛んな能楽関係の事業やその他の					
	啄木学級ではロバート キャンベル氏を講師に迎			共催事業を記念事業として充実させた内容で開催					
	え、270人の参加がありました。また3,500人の集			していきます。					
	客があった時代ま	まつりの時代行列	にミスさんさ踊						
	りを派遣しました	た。盛岡さんさ踊	り体験ワーク						
R5	ショップでは2回	回のワークショッ	プを開催し希望						
	者22人が都市交流	流フェスタの舞台	で踊りを披露し						
	ました。また盛岡	岡市主催「盛岡文:	士劇」東京公演						
	を共催しました。								
	その他、かなさ	ざわ講座の共催や	沖縄県うるま市						
	主催の現代版組路	桶「肝高の阿麻和	利」を後援しま						
	した。								
	各事業の参加者	皆数合計を成果指	票としており、	引き続き、啄っ	大学級やかなざわ	講座等を通じて			
	目標を達成するご	ことができました。		交流自治体の文化に触れる機会を提供し、さらな					
	令和6年度は津	津和野町東京事務)	所開所10周年記	る交流の活性化に繋がるような事業にしていきま					
R6	念として石見神楽	※公演を実施しま	した。また、能	す。					
ΚU	プロジェクトでは	は、金沢市友好交流	流都市提携5周						
	年記念事業として	て、加賀宝生の能	楽師の登壇や、						
	前田家から宝生会	会に贈られた能装!	束等をロビーに						
	展示しました。								

(2)分野別基本方針② 国際理解を育み定着に向けた機会づくりア 海外都市との交流の活性化

5-2-ア 海外都市との交流の活性化

事業概要

これまで交流のなかった新たな都市も含めて、機会をとらえて積極的に海外都市との交流を行い、友好を 深めるとともに、行政間の交流を区民に広げ、さらに活性化させるよう取り組みます。

	目標(P)	指標 令和4年度											
	目標(P)	令和4年度	今和5年由		指標:訪問団の派遣等交流件数								
	目標(P)												
		1	1	2	2	3							
	実績(D)	0	2	4									
	月	战果∙評価(D•C	;)	次年度に向けた取組等(A)									
	新型コロナウィ	イルス感染の流行り	以降、海外都市	姉妹都市等交流	流自治体とは、対応	面での交流の再							
	との交流は中止し	しています。新たれ	な交流都市の検	開の検討を進める	らとともに、オン [・]	ラインを活用し							
D4	討をするため、英	英語圏の視察を行	う等、円滑な対	たハイブリッド型	型の交流の在り方	を検討します。							
R4	面での交流が再開	見できるように、3	交流の在り方を	新たな都市との多	₹流については、	自治体だけでは							
	検討しました。			なく、教育機関等	いまれる こうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅう かんしょう しゅう かんしょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	い、友好関係を							
				構築します。									
	交流が検討されていた大韓民国ソウル特別市松			松坡区との本格的な交流を開始し、交流事業の									
	坡区と、職員の相互派遣を行い、今後の交流の在			在り方等の検討を進めます。また、令和5・6年									
R5	 り方について前向きに議論が進展しました。その			で姉妹都市等の3都市の首長が新任されるため、									
		 他の都市とも、オンライン等を活用し、人的交流			さらなる友好関係の構築目指し、人的交流を活性								
	の再開について、	検討しました。		化させます。									
	1 日 L - 松坡区片		訪問団を受け λ	松協区区民ツラ	ァー及が静国文化	講成を宇施し							
				新たな姉妹都市である松坡区への理解及び認知度									
	t- 松坡区職員+			凹土で図りまり。 提携10周年を迎えるベイオウル区等各友好都市									
R6		/ 匹子米に田瓜 ダ゙		等についても、引き続き関係団体と連携しながら									
		を促進しました。 パリ市5区及びベイオウル区については、写真			交流活性化に取り組んでいきます。								
				次元百年111に取り組んでいさまり。									
	周知を図りました		→ /□ /弁 ▽ノ/町/ ∫ ▽ノ										
R6	れ、覚書を締結し 団を派遣して姉好た、松坡区職員だた、松坡区職員だ を促進しました。 パリ市5区及び 展及び文化講座等	穿を通じて、交流	区へ区公式訪問 しました。ま る等、人的交流 ついては、写真	新たな姉妹都市で向上を図ります。 提携10周年を選	迎えるベイオウル き続き関係団体。	理解及び認定 区等各友好 と連携しな							

5-2-ア ホームステイ生徒交換事業

事業概要

姉妹都市のカイザースラウテルン市と交流の一環として、隔年で中学生、高校生の派遣受け入れを実施しています。姉妹都市での生活体験を通じて、市民交流を図り、異文化理解を推進します。

_		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	目標(P)	4	4	4	4	4				
	実績(D)	0	3	4						
	厄	战果∙評価(D•C	(;)	次年度	まに向けた取組 かんかん しゅうしょう かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	l等(A)				
	交換生徒の受力	しれは新型コロナ	ウイルス感染症	ホームステイダ	E徒の受入れを再	開し、対面での				
	の影響で延期しま	としたが、代替事	業として、オン	交流事業を実施し	ノ、段階的に対面	での交流を再開				
R4	ライン交流会を算	ミ施しました(11	人参加)。コロ	します。また、今	予和6年度の派遣	に向けて、次期				
	ナ禍の学校生活に	こついて意見交換	をし、姉妹都市	交換生徒の募集を	とするとともに事	業の検討を進め				
	間の交流を継続す	けることができま	した。	ます。						
	平成31年度に》	派遣した生徒が、	令和5年度は受	第20回ホームス	ステイ生徒交換事	業の参加者を募				
	入れ側として、カ	カイザースラウテ	ルン市生徒を迎	集し、7~8月の約2週間、カイザースラウテル						
	え入れました。4	年ぶりに対面で	の事業を実施	ン市へ日本生徒を派遣します。姉妹都市であるカ						
R5	し、互いの理解を	と深め、姉妹都市	間の学生同士の	イザースラウテノ	レン市の文化を体	験する機会を提				
KO	交流ができました	こ。派遣後から期間	間が空いたた	供することで、参加者の国際理解を促進するとと						
	め、各家庭の事情	情等により、区及 ^で	びカイザースラ	もに、姉妹都市との友好関係を深めます。						
	ウテルン市ともに	こ全家庭の参加と	はなりませんで							
	した。									
	令和6年度は、	区内の中高生を	対象に第21回参	次年度は、令和	日6年度参加のカ	イザースラウテ				
	加生徒を募集し、	派遣しました。	令和元年度以来	ルン市生徒を区の	D家庭で受け入れ	る形で交流を実				
	5年ぶりにカイサ	ザースラウテルンT	市の家庭にホー	施します。ドイツ	7の生徒が日本で	の生活や文化を				
	ムステイをし、対	対面での交流が実	現しました。令	深く体験できるよう、ホスト家庭へのサポートを						
R6	和5年度に実施る	された第20回目の	ドイツ生徒受入	強化し、円滑な受け入れ体制を整えます。						
	れに続く形で、ス	又方向の交流が再	び定着しつつあ	また、区内案内等区の公式行事を通じて、姉妹						
	ることが確認でき	き、今後の継続的	な交流に向けた	都市であるカイザースラウテルン市との友好関係						
	好循環が生まれて	ています。		を一層深め、国際理解を促進することを目指しま						
				す。						

イ 国際理解に向けた情報の収集・発信・共有

5-2-イ 生涯学習講座での国際理解推進

事業概要

アカデミア講座において、語学、外国文化、歴史等をテーマにした各種の講座を開催することで、幅広い 国際理解の機会を提供していきます。

指標:受講者数(人)								
	令和7年度	令和8年度						
	目標(P)	535	550	600	650	650		
	実績(D)	485	565	590				
	月	は果∙評価(D•C	3)	次年度	まに向けた取組 かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	.等(A)		
	年間を通じて帕	冨広い分野の講座	を提供が叶った	最新の話題を的確に把握するとともに、生涯学				
R4	ほか、アカデミブ	アサポーターの協力	力により、充実	習支援者区内大学と連携を図り、充実した講座内				
K4	した講座運営に繋がりました。			容を企画します。				
	引き続き、諸外国の人々や文化について学び、			引き続き、諸タ	国の歴史や文化、	、習慣等を理解		
R5	理解することや、	多様な価値観の	尊重、外国語に	するほか、外国語によるコミュニケーション能力				
Ro	よるコミュニケ-	ーション能力向上	等、世界情勢も	向上等、国際的な視野を持ち、多文化共生の意識				
	踏まえた講座を実	尾施しました。		のの普及を図ります。				
	各期において、	諸外国の歴史や	文化、外国語に	引き続き、外国の歴史や文化の理解、外国語に				
R6	よるコミュニケ-	ーション能力向上質	等、多くのメ	関する講座を実施するとともに、国外の交流都市				
	ニューの提供が呼	十いました。		に関する講座の実施についても検討します。				

5-2-イ 都市交流フェスタ

事業概要

外国人と日本人が日本や世界各国の様々な文化体験を通じて、国際交流、国内交流のそれぞれの魅力を体験するイベントを実施します。

_	指標:都市交流フェスタの来場者数(人)								
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	目標(P)	1,300	1,350	1,400	1,450	1,500			
	実績(D)	1,300	4,785	6,079					
		^{找果・} 評価(D・C	•		まに向けた取組				
	4年振りに対面	面での国際交流フ	ェスタを実施	国際交流のみな	ならず、国内交流の	の魅力発信を充			
	し、前回(令和テ	元年度) より来場	者数が200人増加	実させ、双方の対	と化に触れてもら	うイベントへと			
	しました。また、	国内交流自治体	の物産店を実施	規模を拡大します	す。そのため、在1	住・在学外国人			
R4	する等国内の魅力	力発信も併せて行り	いました。	をはじめ新たな参	参加者を誘客でき、	、かつ、交流自			
	文化体験コーナ	トーが特に好評でる	あり、文化体験	治体の認知度向」	上へつながる出展	を検討し、内容			
	等を通じた異文化	と 交流の機会とす	ることができま	の充実を図ります	τ 。				
	した。								
	礫川公園でのキ	Fッチンカー出店 ⁻	や、道路を一部	開催期間の見画	重しなど、より参え	加者の方が楽し			
	規制しトラックス	ステージを設置す	るなど、事業内	みながら文化体圏	倹等ができるイベ	ントとなるよ			
	容の大幅なリニューアルに伴い、前回より来場者 う、内容の充実を図ります。引き続き、区内団体								
R5	が約3,500人増加しました。また、交流自治体のごとの協働により住民間の交流促進につながる出展								
	当地キャラクター	-とのふれあいや[国内外の文化体	を検討し、本区の	D魅力を再発見・	再確認できる機			
	験などを通じて、	交流自治体の認	知度向上や異文	会とします。					
	化交流の機会とす	けることができま	した。						
	- 初の2日間開催	i i i i i i i i i i i i i i	来場者が約1.300	 区及び交流自治	台体の魅力発信の	 強化として、観			
		初日は、熊本県			*験内容の充実を[
		ライトアップを実施し、交流自治体の特産品及び			た、交流自治体と協働し、来場者に区及び交流自				
		こ楽しんでもらう。		 治体の魅力を多角	角的に発信できる.	イベントへと発			
R6	た。2日目は、育	介年度に引き続き	文京シビックセ	展させていきます	t.				
	┃ ンター及び礫川4	公園を一体的に活力	用し、国内外の						
	文化体験及び交流	充自治体による物 <i>i</i>	産展等多様なプ						
	ログラムを通じて	て、より多くの方(に交流都市の魅						
	力を体感してもら	ううことができま	した。						

5-②-イ 国際理解促進事業

事業概要

姉妹都市・友好都市に因んだ文化講座の開催及びやさしい日本語による交流会、区内関係団体との連携事業を実施します。

指標:区内関係団体との連携事業数(件)/事業への参加者数(人)								
		令和4年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	目標(P)	6/350	7/370	7/380	8/390	8/400		
実績(D) 6/350 6/1,771			10 /753					
	月	t果·評価(D·C	;)	次年度	とに向けた取組	[等(A)		
	オンラインを用いた交流会を実施するととも			対面及びオンラ	対面及びオンラインを活用したハイブリット型			
	に、対面での講座	座を再開すること:	ができました。	の連携事業を検討	寸するとともに、	区民ニーズを的		
	しかし、交流事業	美内容及び実施状況 かんしゅう かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんしん かんし	況によって参加	確に把握し、対象	象者含めた講座内?	容の精査等を行		
R4	者は年度によって	て大きく増減して	います。	い、参加者増加る	と図ります。			
	参加者アンケー	-トからオンライ	ンの有効性もあ					
	るものの、対面実	尾施のニーズがあ	ることも確認し					
	ました。							
	トルコ文化講座	座を新規開設し、	区民が多様な文	前年度同様、対面実施のニーズが高いため、講				
	化に触れる機会を	を創出しました。」	司年事業とし	座内容及び開催	時間帯等区民ニー	ズを的確に把握		
	て、トルコ写真屈	展を開催したため、	参加者が大幅	し、参加者増加る	と図ります。また、	、オンラインを		
R5	に増加しました	(トルコ写真展参	加者:1,426	活用した講座の男	と についても、	引き続き検討し		
	人)。また、留学	学生との交流会を	拡充する等住民	ます。				
	間の交流の機会を	を促進することが [.]	できました。					
	友好都市提携1	0周年を迎えるべ	イオウル区等、	引き続き、講座	E内容や開催日時	等の区民ニーズ		
	 交流自治体に関わる文化講座等を実施しました。			を的確に把握し、参加者数の増加を図ります。特				
	 トルコ文化講座では、ワークショップ及び古典音			に、講座内容はターゲットに合わせた内容を検討				
	楽コンサート等位	本験を通じて、多	くの区民がトル	するとともに、SNSの活用等の効果的な事業周知				
R6	コ文化に触れる機	幾会を提供しまし	た。	を行います。				
	また、観光担当	当と協働して留学:	生との交流会を					
	拡充する等、日本	 	流の機会を促進					
	することができま	ました。						

ウ 横断的な交流事業の展開

5-2-ウ 国際理解促進事業【再掲】

また、観光担当と協同して留学生との交流会を 拡充する等、日本人と外国人の交流の機会を促進

することができました。

事業概要

姉妹都市・友好都市に因んだ文化講座の開催及びやさしい日本語による交流会、区内関係団体との連携事業を実施します。

指標:区内関係団体との連携事業数(件)/事業への参加者数(人)									
	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○								
	目標(P)	6/350	7/370	7/380	8/390	8/400			
	実績(D) 6/350 6/1,771			10/753					
	成果·評価(D·C)			次年度	Eに向けた取組 かっこう こうかん こうかん だいかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	[等(A)			
	オンラインを月	用いた交流会を実	施するととも	対面及びオンラ	ラインを活用した.	ハイブリット型			
	に、対面での講座	に、対面での講座を再開することができました。			すするとともに、	区民ニーズを的			
	しかし、交流事業	業内容及び実施状況	況によって参加	確に把握し、対象	は者含めた講座内!	容の精査等を行			
R4	者は年度によって	て大きく増減して	います。	い、参加者増加る	と図ります。				
	参加者アンケー	-トからオンライ	ンの有効性もあ						
	るものの、対面第	実施のニーズがあ	ることも確認し						
	ました。								
	トルコ文化講座	座を新規開設し、	区民が多様な文	前年度同様、対	対面実施のニーズ	が高いため、講			
	化に触れる機会を	を創出しました。	周年事業とし	座内容及び開催	時間帯等区民ニー	ズを的確に把握			
R5	て、トルコ写真屈	展を開催したため.	参加者が大幅	し、参加者増加る	E図ります。また、	、オンラインを			
NJ	に増加しました(トルコ写真展参加者:1,426			活用した講座の第	≷施についても、	引き続き検討し			
	人)。また、留学生との交流会を拡充する等住民			ます。					
	間の交流の機会を	と促進することが	できました。						
	友好都市提携1	0周年を迎えるべ	イオウル区等、	引き続き講座内	7容、開催日時等	の区民ニーズを			
	交流自治体に関わ	つる文化講座等を	実施しました。	的確に把握し、参加者数の増加を図ります。特					
	トルコ文化講座で	では、ワークショ	ップ及び古典音	に、講座内容はターゲットに合わせた内容を検討					
	楽コンサート等位	本験を通じて、多	くの区民にトル	するとともに、SNSの活用等の効果的な事業周知					
R6	コ文化に触れてい	いただける機会を	提供することが	を行います。					

(3)分野別基本方針③ 外国人が活躍できる環境づくりア 多言語及びやさしい日本語を活用した情報発信の充実

5-3-ア 外国人の日常生活支援のための多言語化

事業概要

外国人住民の日常生活に必要な行政文書の多言語化を進め、区窓口での手続きの効率化を図っています。

	指標:全庁調査により多言語化した文書数(件)								
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	目標(P)	30	30	30	30	30			
	実績(D) 30 31			32					
	月	战果∙評価(D•C	;)	次年度に向けた取組等(A)					
	各課で外国人の)日常生活支援の	ための多言語化	これまで8言語	吾の翻訳をしまし:	たが、多くの文			
	を促進するために	こ、全庁の翻訳希望	望文書を集約	書の翻訳は英語、	中国語、韓国語	に留まっていま			
R4	し、令和4年度は	は11課において、	7 言語、30文書	す。今後、各課において多言語化の必要性を認識					
	を翻訳しました。	更新を含め、最初	多の文書を翻訳	した際に機動的に対応できるように、体制を構築					
	し、各課で活用を	としました。		します。					
	各課で外国人の)日常生活支援の	ための多言語化	多言語化の必要性を認識した際に機動的に対応					
	を促進するために	こ、全庁の翻訳希望	望文書を集約	できるように、名	S課でそれぞれ多 ^っ	言語化を実施し			
R5	し、令和5年度に	は16課において、	6 言語、31文書	ます。引き続き名	予課からのニーズ	に応じて、必要			
	を翻訳しました。	更新を含め、最初	多の文書を翻訳	な支援を行います。					
	し、各課で活用を	としました。							
	令和6年度から各課でそれぞれ多言語化を実施			引き続き、全庁の行政文書の多言語化を推進す					
	しています。13詞	果において、新た	に 9 言語、32文	るために、各課の行政文書の翻訳について、必要					
R6	書の翻訳を実施し	書の翻訳を実施し、行政文書を多言語化しまし			な支援を行っていきます。				
110	た。また、各課だ	が翻訳を実施する[際には、実施方						
	法等について希望	型に応じて必要な?	支援を行いまし						
	<i>た</i> 。								

5-③-ア 国際理解促進事業【再掲】

事業概要

やさしい日本語を活用した留学生との交流会を開催

指標:交流会への参加者数(人)								
	令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度							
目標(P) 30 30 30 30 30								
実績(D) 31 70			81					
	瓦	战果∙評価(D•C	;)	次年度に向けた取組等(A)				
	やさしい日本語	唇を活用した留学	生との交流会	対面及びオンラ	ラインを活用した.	ハイブリット型		
	を、Zoomを用い	たオンラインでの	開催をし、区民	の連携事業を検討	寸するとともに、	区民ニーズを的		
R4	と留学生の交流す	片る機会を提供す	ることができま	確に把握し、難易度及び対象者を含めた講座内容				
114	した。参加者アン	ノケートからオン	ラインの有効性	の精査等を行い、参加者増加を図ります。				
	もあるものの、タ	対面実施のニーズ:	があることも確					
	認しました。							
	やさしい日本語を活用した留学生との交流会を基礎編及び発展編と体系的に学ぶことで、区民							
	拡充し、基礎編及び発展編の2回連続講座を開催の満足度が高まり、留学生含め参加者の交流が活							
R5	しました。やさしい日本を学び、実践するととも発になることがアンケートからわかりました。今							
	に区民と留学生の)交流する機会を	是供することが	後も取り組みを糾	迷続します。			
	できました。							
	やさしい日本語	語を活用した留学!	生との交流会を	昨年度と同様に	こ、やさしい日本	語を体系的に学		
	拡充し、基礎編及び発展編の2回連続講座を年2 ぶことで区民満足度が高まることがわかりまし							
	回開催しました。やさしい日本語を学び実践するた。区民が国籍問わず交流					会として、引き		
R6	とともに、区民と	と留学生が交流す	る機会を提供す	続き取組を継続し)ます。また、観	光分野等の連携		
	ることができまし	した。また、区民	と留学生が区内	を強化し、更なる	る内容の充実を図	ります。		
	の観光スポットを	とテーマに交流す <i>。</i>	る等内容の充実					
	を図りました。							

イ 外国人の活躍できる場の提供支援

5-③-イ 区内大学、ボランティア団体等との協働・連携

事業概要

「外国人のための専門家相談会」の共催をはじめ、区内の大学や団体の実施する事業を後援等することで、情報を広く発信していきます。

指標:協働・連携した事業数(件)									
	令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 令和8年度								
目標(P) 1 2 2 2 3									
	実績(D)	1	1	2					
	瓦	战果∙評価(D•C	;)	次年度	Eに向けた取組 かっぱん こうがっこう だいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいか	[等(A)			
	外国人にとって	て異国の地で慣れた	た言語で相談で	区内在住外国人支援につながる後援等事業につ					
	きる場所を提供す	けることに一定の !	需要がありまし	いて、情報を積極的に発信していくとともに、関					
R4	た。区の手続き <i>0</i>)際にチラシを見	たり、紹介を受	係団体との協働の在り方を検討していきます。					
	けて知ったりとし	、う案件があり、	共催の効果が見						
	られました。								
	令和4年度と同	司様に実施をし、マ	相談者も7組か	引き続き区内在	E住外国人支援に [・]	つながる後援等			
R5	ら9組へと増加し	ノ、一定の需要がる	あることが改め	事業について、愉	青報を積極的に発作する かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん	信していくとと			
Ro	て確認でき、共作	崖の意義をあった。	と考えられま	もに、関係団体と	この協働の在り方	を検討していき			
	す。			ます。					
	令和5年度に引	令和5年度に引き続き外国人のための専門家相			E住外国人支援に [・]	つながる事業に			
	談会を実施し、2	談会を実施し、20人の参加がありました。			ついて、情報を積極的に発信していくとともに、				
R6	また、Bチャレ	また、Bチャレ事業の一環として区内団体と協働			関係団体等との協働について、関係部署等と改め				
	し、日本文化の位	់験を通じ区内在1	全外国人と日本	て検討します。					
	人が交流する機会	会を創出しました。	•						